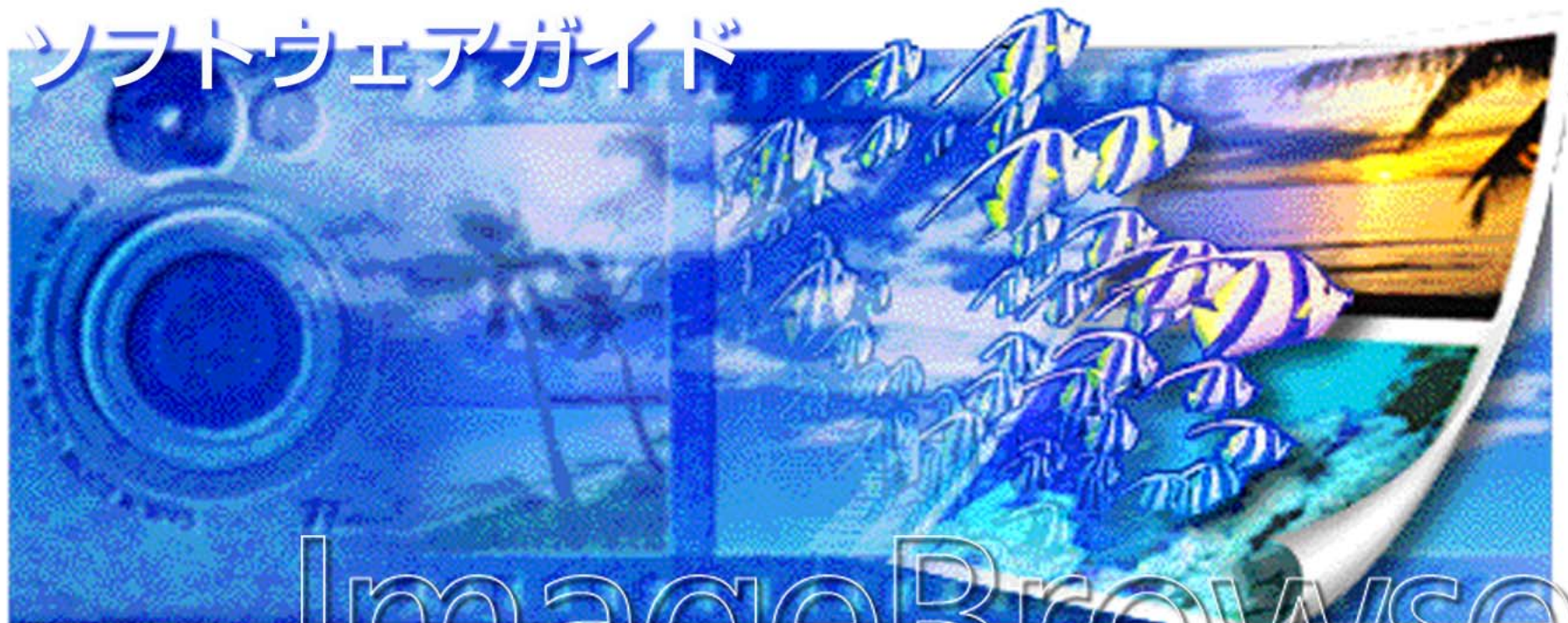


Canon Utilities

ImageBrowser

ソフトウェアガイド



ImageBrowser

「目次」を見たいときは、このボタンをクリックします。

「索引」を見たいときは、このボタンをクリックします。

「次のページ」に進むときは、このボタンをクリックします。

「前のページ」に戻るときは、このボタンをクリックします。（このページは先頭ページですので、[戻る] ボタンは使えません）

目次 (1 / 2)

第1章 体験！ ImageBrowser

ImageBrowser を起動する	4
画像をパソコンに取り込む	9
画像をプリントする	12
少しだけ補足	14

第2章 ImageBrowserって？

ImageBrowser でできること	15
画像の保存場所	17
ブラウザウィンドウについて	18
ブラウザウィンドウの表示方法の変更	19
コンテキストメニューを使った操作について	22

第3章 画像を管理する

画像を移動、コピーする	23
画像をゴミ箱に入れる	26
画像を回転する	27
画像を複製する	28
画像の名前を変える	29
画像の情報を見る	30

フォルダを作る	31
フォルダの名前を変える	32
フォルダをゴミ箱に入れる	33

第4章 画像を見る

フォルダを選ぶ	34
画像を開く	35
表示倍率を変える	36
画像を編集する	37
他のソフトウェアで画像を編集する	41

第5章 カメラウィンドウを使う

カメラウィンドウを開く	42
画像を取り込む	43
画像を削除する	45
画像を回転する	46
パソコンの画像をカメラに追加する	47
カメラの設定を確認、変更する	49
カメラウィンドウのその他の機能	50

目次 (2 / 2)

第6章 いろいろな機能を活用する

電子メール用の画像を作成する	51
画像を書き出す	53
スライドショーで再生する	55
画像にサウンドを付ける	58
カメラにマイカメラコンテンツを登録する	60
画像をプリントする	71
画像を分割してプリントする	79
画像を日時順に表示する - TimeTunnel	80
動画を再生する	82
動画を編集する (Mac OS X の場合のみ)	83
RAW 画像を現像する	86
パソコンからシャッターを操作する	90
パノラマ画像を合成する - PhotoStitch	94

第7章 インターネットを活用する

CANON iMAGE GATEWAY について	95
会員登録をする	96
画像をアップロードする	98
アルバムを活用する	102
画像や音声ファイルをダウンロードする	104

付録

対応しているファイル形式	106
ImageBrowser を自動起動する (Mac OS X の場合のみ)	107
自動起動を解除する (Mac OS 9 の場合のみ)	108
起動時の自動実行機能 (Mac OS 9 の場合のみ)	109
環境設定について	113
カメラ上でのスライドショーの設定	116
プリント指定	117
困ったときには	119

索引

索引	120
----	-----

ご注意

- ・本書では、Mac OS X (v10.2) の画面と操作手順を使って説明を進めています。お使いの Mac OS のバージョンによっては、実際の画面や操作手順が多少異なる場合があります。
- ・本書では、用語を次のように使用します。
Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3) → Mac OS X
Mac OS 9.0 ~ 9.2 → Mac OS 9
CF カード、SD カード、PC カード → メモリーカード

この章では、「ImageBrowserの起動」「カメラの画像の取り込み」「画像のプリント」という、ImageBrowserの一連の基本操作を順を追って説明していきます。

ここでは、ImageBrowserを起動する方法について説明します。

重要

- ・このソフトウェアガイドは、すでに各ソフトウェアやドライバが正しくインストールされていることを前提に説明を進めていきます。まだソフトウェアのインストールがお済みでない場合には、製品に付属の説明書をご覧ください、ソフトウェアのインストールを行ってください。

Mac OS X の場合の起動方法

重要

- ・Mac OS Xでメモリーカードリーダーをお使いの場合も、この方法でImageBrowserを起動します。

- 1 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続します。
カメラとパソコンの接続方法については製品に付属の説明書をご覧ください。
カメラの機種によっては、再生モードなどにしないとパソコンと通信できない場合があります。このような機種の場合は、製品に付属の説明書をご覧くださいの上、通信できる状態にします。
- 2 iPhoto またはイメージキャプチャが起動した場合は、起動したソフトウェアを終了します。
- 3 デスクトップの「Canon ImageBrowser」アイコンをダブルクリックします。



これで、ImageBrowserが起動します。

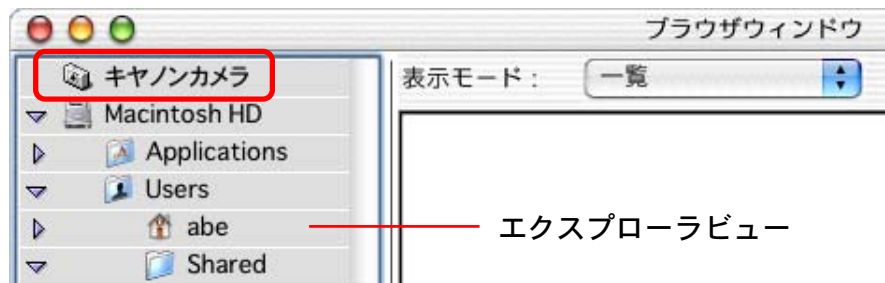
ImageBrowser を起動する (2 / 5)

参 考

- ・カメラをパソコンに接続したとき、iPhoto またはイメージキャプチャを起動せずに、ImageBrowserを自動起動することもできます。この操作については、付録の「ImageBrowserを自動起動する (Mac OS X の場合のみ)」をご覧ください。
- ・インストール時の選択によっては、デスクトップに「Canon ImageBrowser」アイコンが表示されないこともあります。この場合には、次の順番でディスク、フォルダを開き、ImageBrowser を起動してください。

インストール先のディスクをダブルクリック→
[Canon Utilities] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] アイコンをダブルクリック

- 4 エクスプローラビューで、[キヤノンカメラ] をクリックします。



次のようなウィンドウが表示されます。(このウィンドウは、最初の1回目にだけ表示されます)



ここには、お使いのカメラの機種名または [Canon Camera] + USB ポートの番号 (例: @1) が表示されます

- 5 [ポート選択] には [USBポート] が、[検出されたカメラ] にはお使いのカメラの機種名または [Canon Camera] が選択されていることを確認し、[設定] をクリックします。

- 6 iPhoto またはイメージキャプチャが起動した場合は、起動したソフトウェアを終了します。

カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像が表示されます。

Mac OS 9 の場合の起動方法

■ カメラを接続することで起動する方法

パソコンにカメラを接続し、通信可能な状態にすることで、ImageBrowser を自動起動する方法です。

重 要

- ・ この方法は、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続する場合にのみ使用可能です。(お使いのカメラの機種によっては自動起動しない場合もあります)
- ・ メモリーカードリーダーをお使いの場合には、「ImageBrowser を起動する (5 / 5)」の「アイコンから起動する方法」をご覧ください。

参 考

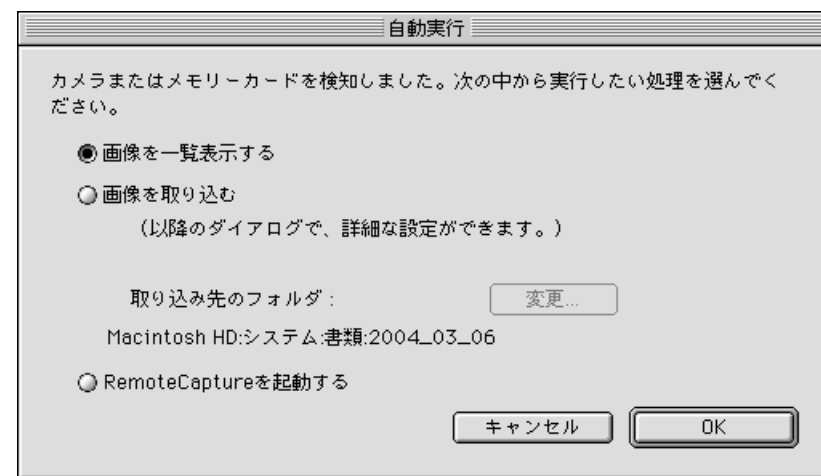
- ・ ImageBrowserの自動起動を解除する場合は、付録の「自動起動を解除する (Mac OS 9 の場合のみ)」をご覧ください。

1 カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続します。

カメラとパソコンの接続方法については製品に付属の説明書をご覧ください。

カメラの機種によっては、再生モードなどにしないとパソコンと通信できない場合があります。このような機種の場合は、製品に付属の説明書をご覧の上、通信できる状態にします。

はじめてImageBrowserを起動すると、次のような自動実行のウィンドウが表示されます。



このウィンドウでは、ImageBrowserが起動したときに、続けて行いたい自動処理を選択することができます。

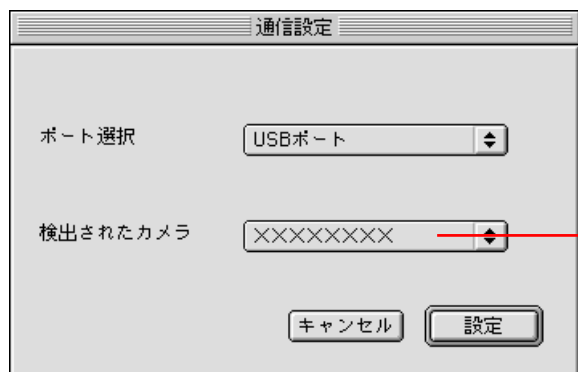
もし、上のような自動実行のウィンドウが表示されないときは、付録の「困ったときには」をご覧ください。

2 ここでは、「画像を一覧表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

参 考

- ・「画像を取り込む」や「RemoteCapture を起動する」については、付録の「起動時の自動実行機能(Mac OS 9の場合のみ)」をご覧ください。

次のようなウィンドウが表示されます。(このウィンドウは、最初の1回目だけに表示されます)

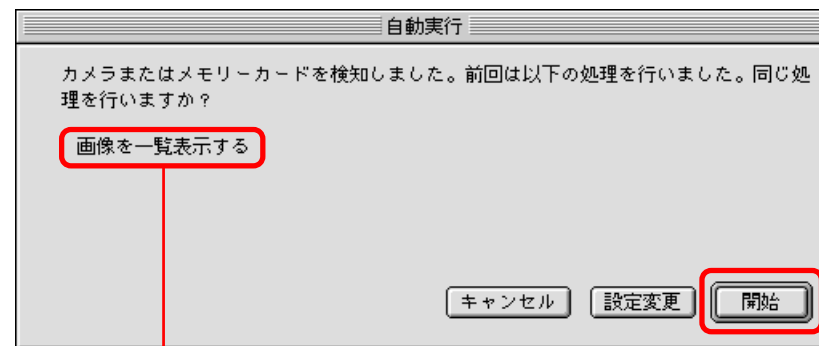


ここにはお使いのカメラの機種名が表示されます

3 「設定」をクリックします。
カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像が表示されます。

参 考

- ・2回目以降にImageBrowserを起動したときは：
次回ImageBrowserを起動したときは、前回選択した自動処理の設定が表示されます。そのままの設定を実行するときは「開始」を、何も実行しないときは「キャンセル」を、設定を変更するときは「設定変更」をクリックします。



前回の設定が表示されます

- ・設定の変更については、付録の「起動時の自動実行機能 (Mac OS 9の場合のみ)」をご覧ください。

重 要

- ・自動実行のウィンドウはカメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続してImageBrowserを起動した場合にのみ表示されます。次ページで説明するアイコンからImageBrowserを起動した場合には、表示されません。

■ アイコンから起動する方法

メモリーカードリーダーをお使いの場合には、この方法で ImageBrowser を起動します。

また、カメラを接続しないまま ImageBrowser を使いたい場合や、ImageBrowser を一旦終了した後、もう一度起動する場合なども、この方法で ImageBrowser を起動します。

1 デスクトップの「Canon ImageBrowser」アイコンをダブルクリックします。

これで、ImageBrowser が起動します。



参 考

- ・インストール時の選択によっては、デスクトップに「Canon ImageBrowser」アイコンが表示されないこともあります。この場合には、次の順番でディスク、フォルダを開き、ImageBrowser を起動してください。

インストール先のディスクをダブルクリック→
[Canon Utilities] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] フォルダをダブルクリック→
[ImageBrowser] アイコンをダブルクリック

カメラの画像を、パソコンに取り込む方法を説明します。

カメラウィンドウ

■ Mac OS X の場合

エクスプローラビューで [キヤノンカメラ] をクリックすると、次のような「カメラウィンドウ」が表示されます。



■ Mac OS 9 の場合

パソコンにカメラを接続してImageBrowserを起動し、自動実行のウィンドウで [画像を一覧表示する] または [画像を取り込む] を選択すると、カメラウィンドウが表示されます。

参考

- ・アイコンから ImageBrowser を起動した場合、カメラウィンドウは表示されませんが、カメラを接続し、通信可能な状態にすると、カメラウィンドウが表示されます。通信可能な状態にしてもカメラウィンドウが表示されない場合には、ブラウザエリア左下にある [キヤノンカメラ] をクリックし、ポートとカメラの機種を選択します。



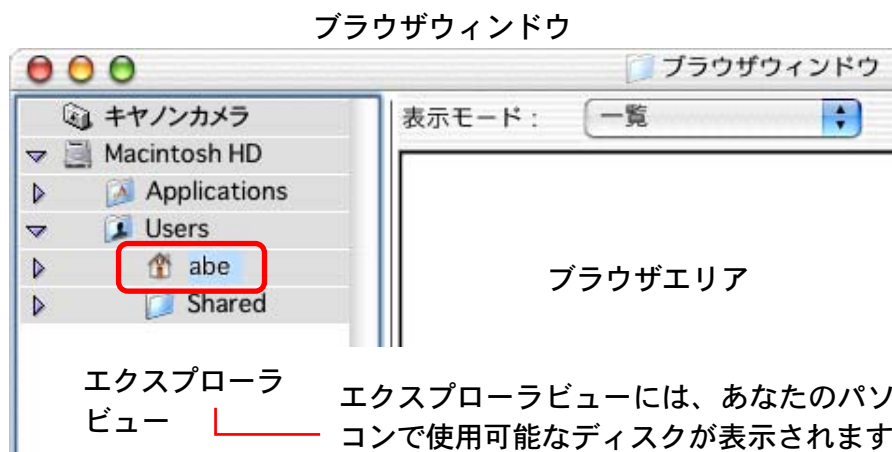
メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックします。

取り込み先となるフォルダを作成する

カメラの画像の取り込み先として利用するフォルダを新しく作成しましょう。

- 1 「ブラウザウィンドウ」と表示されているウィンドウをクリックし、前面に出します。

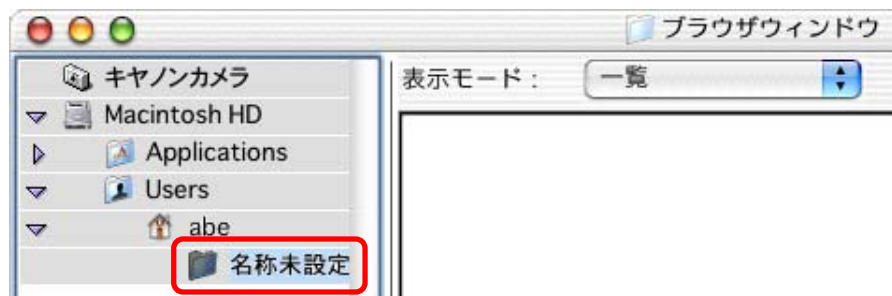
- 2 起動ディスクの [Users] の [自分の名前 (ログインしているユーザ名)] を選択します。
ここで選択したディスクの中に、新しいフォルダを作成します。



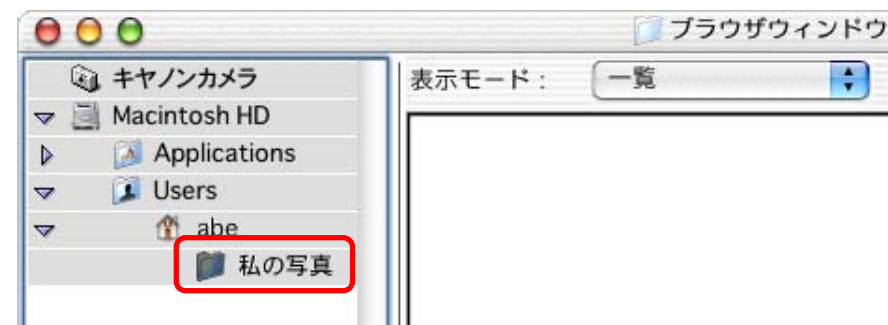
参考

- ・ Mac OS 9 の場合には、エクスプローラビューで [Macintosh HD] を選択します。

- 3 [ファイル]メニューから[新規フォルダ]を選択します。
新しいフォルダが作成されます。



- 4 新しいフォルダ名を入力し [return] キーを押します。
新しいフォルダの名前が入力されました。



カメラの画像を取り込む

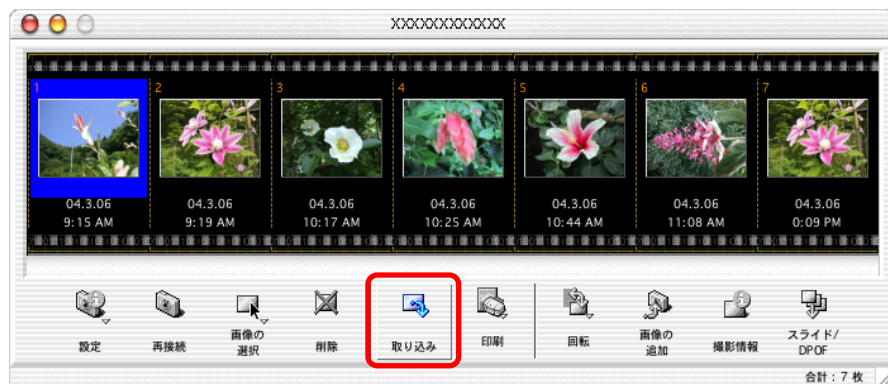
新しく作成したフォルダに画像を取り込みます。

- 1 カメラウィンドウをクリックし、前面に出します。
- 2 取り込みたい画像をクリックします。
選択した画像が青い枠で表示されます。

参考

- ・ [shift] キーを押しながら画像をクリックすることで、複数の画像を選択することができます。また、[option] キーと [shift] キーを同時に押しながら画像をクリックすることで連続して並んでいる画像をまとめて選択することができます。

3 [取り込み] をクリックします。



これで、選択した画像が、先ほど作成したフォルダの中にコピーされ、その縮小画像がブラウザウィンドウのブラウザエリアに表示されます。



カメラから取り込まれた画像

適当にいくつかの画像を取り込んでみましょう。



次はプリントの操作に進みましょう。

参 考

- ・カメラウィンドウの使い方については、第5章で詳しく説明しています。

フォルダの中に取り込んだ画像を、プリンターでプリントする操作を説明します。

参考

- ・ Adobe RGB 色空間（カラースペース）で撮影した画像を ImageBrowser でプリントすると、低彩度なプリント結果になります。（色空間の設定は、一部の機種でのみ行えます）

1 プリントしたい画像をクリックします。
選択した画像が青い枠で表示されます。

参考

- ・ [shift] キーを押しながら画像をクリックすることで、複数の画像を選択することができます。また、[option] キーと [shift] キーを同時に押しながら画像をクリックすることで連続して並んでいる画像をまとめて選択することができます。

2 [印刷] をクリックし、表示されたメニューから [レイアウト印刷] を選択します。



レイアウト選択ウィンドウと印刷ウィンドウが開きます。

印刷ウィンドウでは、選択した画像が、自動的に並べられて表示されます。

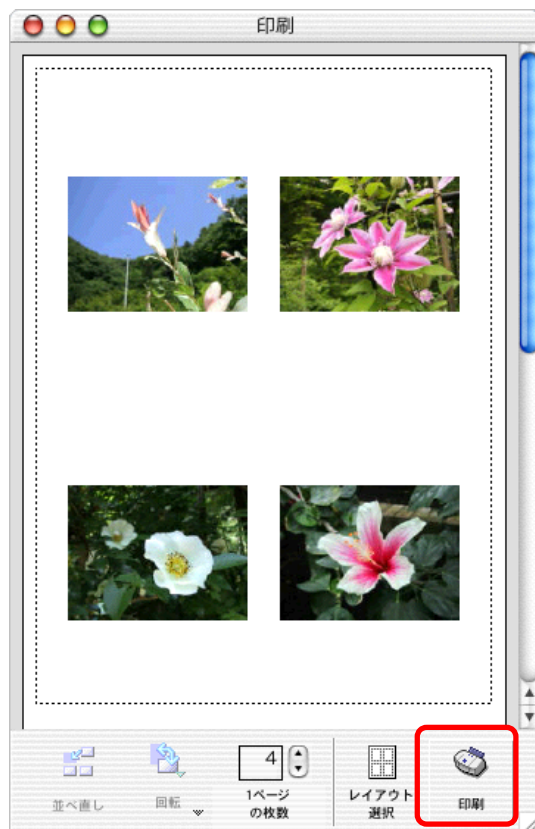
レイアウト選択ウィンドウではレイアウトを選択することができます。ここでは、このままプリントします。

3 レイアウト選択ウィンドウで、「自由に並べて印刷」を選択したまま、[次へ] をクリックします。



- 4 用紙設定のウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックします。
レイアウト選択ウィンドウが閉じられます。

- 5 印刷ウィンドウで、[印刷] をクリックします。



これで、印刷（またはプリント）の設定を行うダイアログが表示されます。プリントの各種設定を行い、プリントを実行します。

参 考

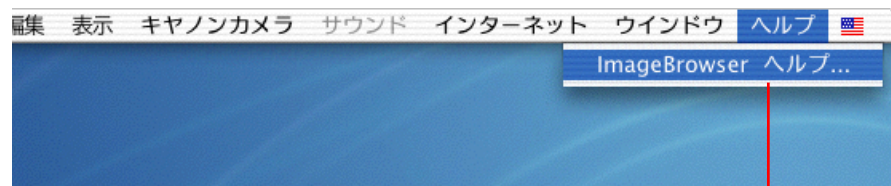
- ・レイアウト選択ウィンドウが表示されている間は印刷ウィンドウの [印刷] をクリックすることはできません。
- ・プリントの操作の詳細については、第6章の「画像をプリントする」で説明しています。

ここでは、はじめにぜひ覚えておいて欲しいことを説明します。

困ったときは

ImageBrowserには、便利な「ヘルプ機能」が用意されています。操作方法がわからなくなってしまった場合やどんな機能があるか知りたい場合などにご活用ください。

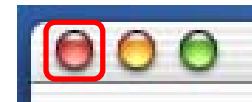
ヘルプを見たいときは、[ヘルプ]メニューから [ImageBrowser ヘルプ] を選択します。



ヘルプを表示します

ImageBrowser の終わり方

Mac OS Xの場合は、[ImageBrowser]メニューから [ImageBrowser を終了] を選択するか、ブラウザウィンドウの赤いボタンをクリックします。



Mac OS 9の場合は、[ファイル]メニューから [終了] を選択するか、ブラウザウィンドウの [クローズボックス] をクリックします。



この章では、ImageBrowserを使いこなすために必要な、さまざまな基礎知識を説明していきます。ここでは、ImageBrowserの主な機能を、簡単に紹介しておきましょう。

カメラとパソコンを接続すると

- ・カメラ内の画像の一覧をパソコン上で見ることができます。
- ・カメラ内の画像をパソコンに取り込むことができます。
- ・カメラ内の画像の情報(撮影日時や撮影時の各種設定など)をパソコン上で見ることができます。
- ・カメラでのスライドショーやDPOF(プリント指定)を、パソコン側で設定することができます。(一部の機種を除きます)
- ・パソコンの画像をカメラに保存することができます。
- ・インターフェースケーブルで接続されたカメラのシャッターを、パソコン側で操作して撮影ができます。また、撮影間隔と撮影枚数を指定し、インターバルタイマー撮影ができます。(リモート撮影に対応した機種のみ)
- ・RAW形式の画像を現像(TIFFやJPEG形式に変換して保存)できます。現像時には、明るさやコントラスト、色合いなどの調整を行うことができます。(一部の機種を除きます)

ファイル管理の機能を利用して

- ・パソコン上の画像を、さまざまに分類、仕分けし、簡単な操作で画像管理を行うことができます。
- ・画像の移動やコピーができます。
- ・画像の切り抜きや色の調整など、簡単な編集ができます。

- ・画像を、画面いっぱいに順番に表示する「スライドショー」機能が使えます。
- ・撮影日時順に、画像をトンネルのように表示する「タイムトンネル」機能が使えます。
- ・動画や静止画をつなげたり、タイトルなどの文字やBGMを挿入したり、さまざまな効果を付けた動画を作成、編集することができます。(Mac OS Xのみの機能です)

マイカメラコンテンツの管理機能を利用して

- ・マイカメラコンテンツをカメラに登録することができます。また、カメラに登録されているマイカメラコンテンツをパソコンのディスクに保存することもできます。
- ・新しく作成した画像や音声ファイルをマイカメラコンテンツとして管理することができます。
- ・インターネット上のオンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からダウンロードしたマイカメラコンテンツのファイルを管理することができます。

参 考

- ・カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音などのファイルをマイカメラコンテンツと呼んでいます。
- ・製品に付属のキヤノン製CD-ROMには、あらかじめいくつかのマイカメラコンテンツ用ファイルが用意されていますこれらのファイルは、ImageBrowserのインストール時に自動的にパソコンに保存されます。

他のソフトウェアを利用して

ImageBrowserは、他のソフトウェアと連携することで、さらに高度な活用ができるようになっています。(各ソフトウェアはImageBrowserから起動できます)

■ PhotoStitch

- ・カメラのスティッチアシストモードなどを使って複数に分割して撮影した画像を合成し、1枚の大きなパノラマ写真を作ることができます。
- ・合成は横方向、縦方向ともに可能です。
- ・周囲360度の撮影をしておけば、360度の円筒状の合成ができます。この画像をQuickTime VR形式で保存すれば、あたかもそこに立って、回りを見回すかのような表示が可能です。

CANON iIMAGE GATEWAYに接続すると

- ・画像をオンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」にアップロードして、保管することができます。保管した画像を使って「アルバム」(ホームページ上の写真集のようなもの)を作成し、知人(お友達やご家族)に見せたり、オンラインプリントサービスに注文することができます。
- ・画像に付けたコメントや音も「CANON iIMAGE GATEWAY」にアップロードできます。
- ・「CANON iIMAGE GATEWAY」に用意されているカメラ用の起動画面やシャッター音などのマイカメラコンテンツをダウンロードできます。ダウンロードしたコンテンツは、カメラに登録することができます。

参 考

- ・「CANON iIMAGE GATEWAY」は、本製品を購入された方に提供するオンラインサービスです。
- ・はじめてサービスを利用するときには、会員登録が必要です。(製品に付属のキヤノン製CD-ROMのインストーラーパネル、または、ImageBrowserのメニューから会員登録が行えます)

ImageBrowserでカメラから画像を取り込んだり、移動やコピーを行ったとき、実際の画像ファイルは、どのように処理されるのでしょうか。

画像はどこに保存されている？

次の操作をしてみてください。

- 1 Finder上で、画像の取り込み先として作成したフォルダをダブルクリックします。
次のように画像ファイルが入っていることがわかります。

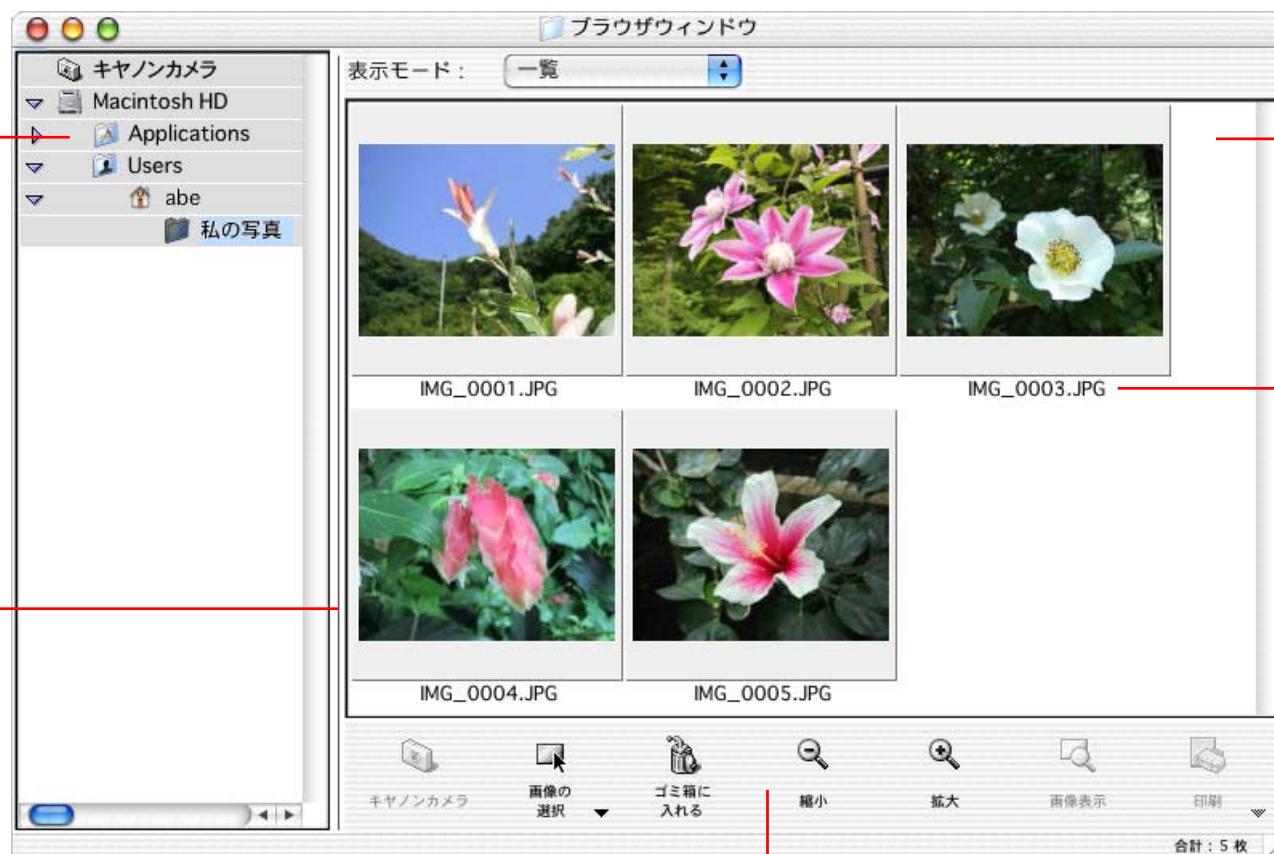


一方、ImageBrowserのブラウザウィンドウで、「私の写真」を選択すると、次のように画像が表示されます。



完全に、画像ファイル名が一致していますね。
このように、ImageBrowserのブラウザエリアに表示される画像は、実際に選択したフォルダに入っている画像ファイルです。ImageBrowser上で画像を移動したり、コピーしたりすると、パソコンのFinder上でも、まったく同じように画像ファイルの移動やコピーが行われます。

ここでは、ブラウザウィンドウの画面について、まとめておきます。



【エクスプローラビュー】
お使いのパソコンで使用可能なディスクやフォルダが表示されます
左端の三角マークをクリックすると、下位のフォルダの表示/非表示を変更することができます

この部分をドラッグすることで、エクスプローラビューと、ブラウザエリアの境界の位置を変えることができます

【ブラウザエリア】
選択したフォルダに入っている画像のサムネイル(縮小された画像)が表示されます

【画像のファイル名】
各画像のファイル名が表示されます

【コントロールパネル】
さまざまな機能を実行するためのボタンが表示される部分

この部分をドラッグすることでブラウザウィンドウの大きさを変えることができます

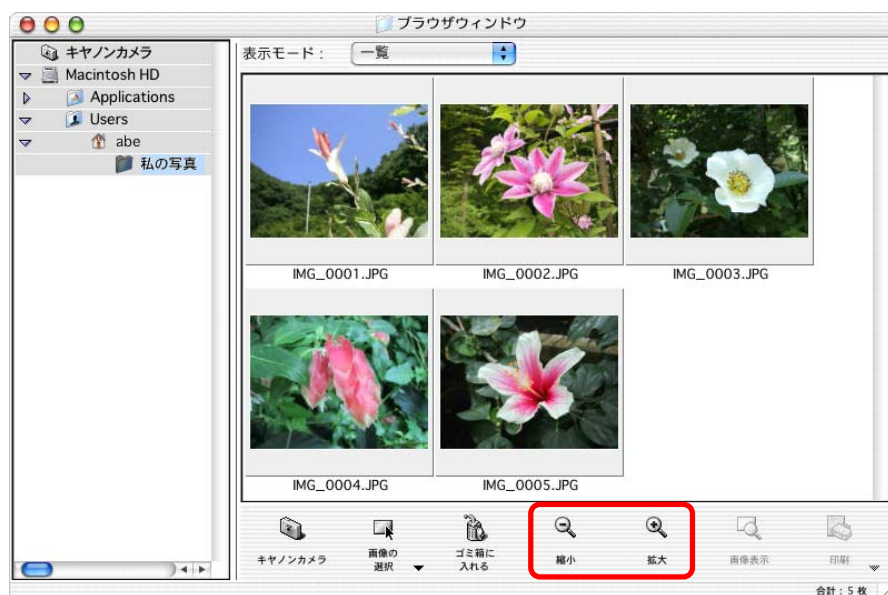
参考

- ・ Adobe RGB 色空間 (カラースペース) で撮影した画像を ImageBrowser で表示すると、低彩度な画像表示になります。(色空間の設定は、一部の機種でのみ行えます)

ブラウザウィンドウは、使いやすいように表示方法を変更することができます。ここではその方法を説明します。

サムネイルの大きさを変更する

🔍 🔍 をクリックすることで、ブラウザエリアに表示される縮小画像 (サムネイル) の大きさを変更することができます。



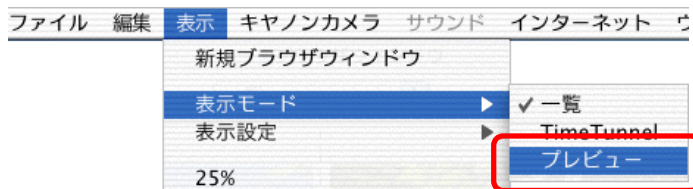
表示モードを変更する

ブラウザエリア上部の [表示モード] から [プレビュー] を選択すると、縮小画像の上部にプレビュー画像が表示されます。プレビュー画像を非表示にするときは、[表示モード] から [一覧] を選択します。



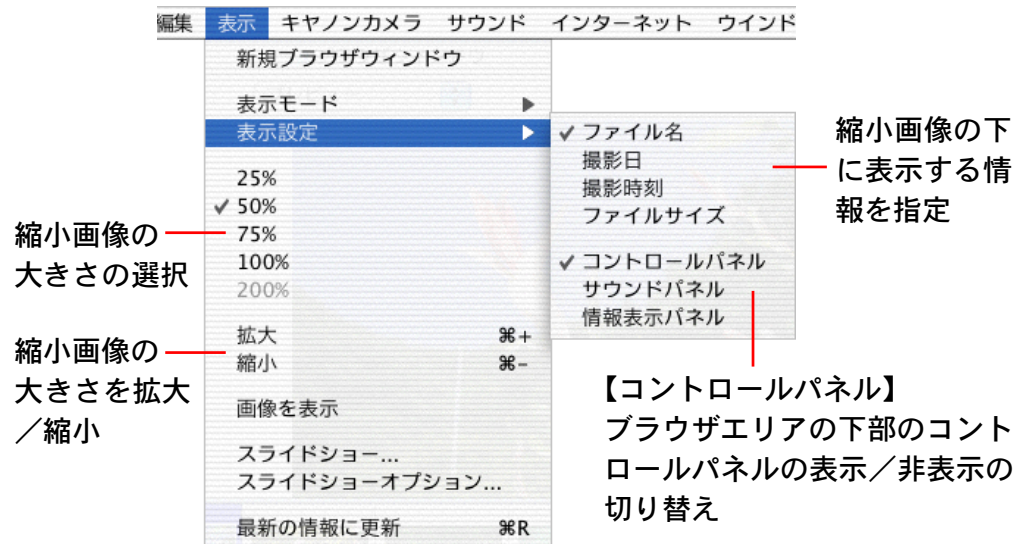
参 考

- ・ [表示] メニューの [表示モード] サブメニューから [プレビュー] を選択することでも、プレビュー画像を表示することができます。



表示方法を変更する

[表示] メニューで、ブラウザウィンドウの表示方法をさらに細かく設定することもできます。



【コントロールパネル】
ブラウザエリアの下部のコントロールパネルの表示/非表示の切り替え

【サウンドパネル】
音声メモの録音、再生を行うパネルの表示/非表示の切り替え

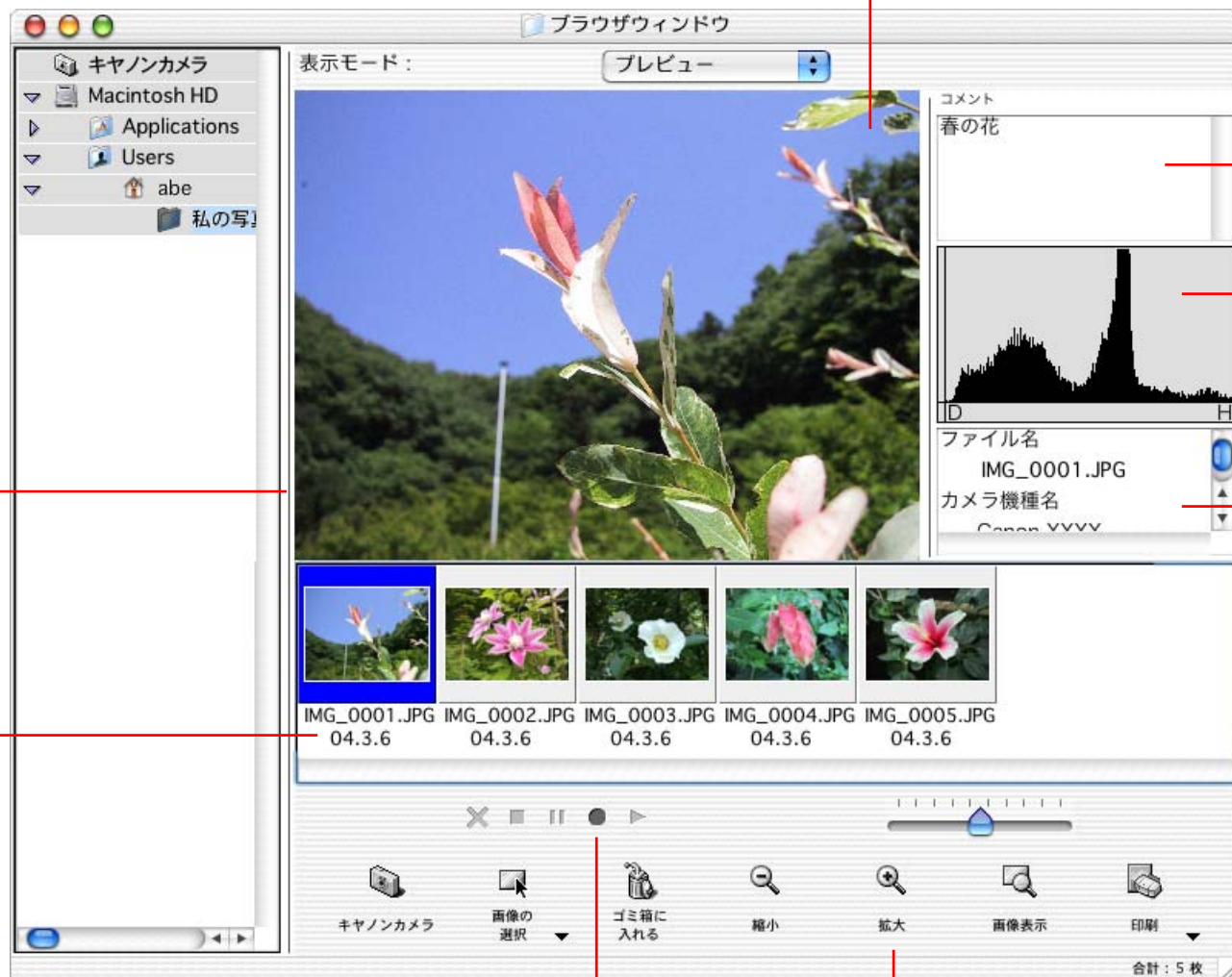
【情報表示パネル】
画像に加えたコメント、ヒストグラム（明るさの分布のグラフ）、撮影情報の表示/非表示の切り替え

参 考

- ・ 情報表示パネルは、表示モードで [プレビュー] が選択されているときに選択できます。

例えば、次のようなブラウザウィンドウにすることができます。

プレビュー画像の表示



コメント

ヒストグラム
(明るさの分布のグラフ)

撮影情報

この部分をドラッグすることで、プレビュー画像の大きさを変更することができます

「ファイル名」に加えて「撮影日」も表示

サウンドパネル

コントロールパネル

[control] キーを押しながら、マウスのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。このメニューのことを「コンテキストメニュー」と呼びます。

ImageBrowserは、いろいろな場面でコンテキストメニューを使うことができます。

例えば、画像にポインタを合わせ、[control] キーを押しながら、マウスのボタンをクリックすると、次のようなコンテキストメニューが表示されます。



このコンテキストメニューに表示される項目は、ブラウザウィンドウのボタンやメニューに用意されている機能の中から現在利用可能な機能や、便利な機能を集めたものです。

コンテキストメニューを活用することで、ImageBrowserをより効率的に使いこなすことができるようになります。

ImageBrowserの操作に慣れてきたら、いろいろな場面でコンテキストメニューを試して、機能や便利さを体感してみてください。

なお、この説明書では、原則としてコンテキストメニューを使った操作は説明しません。（これは、表示されるメニューのバリエーションを追っていくだけで大変なページ数になってしまうためです）

コンテキストメニューを使った操作について説明が必要な場合は、該当ページできちんと説明します。

画像を移動、コピーする (1 / 3)

ここでは、フォルダ間で画像を移動したり、コピーしたりする操作を説明します。

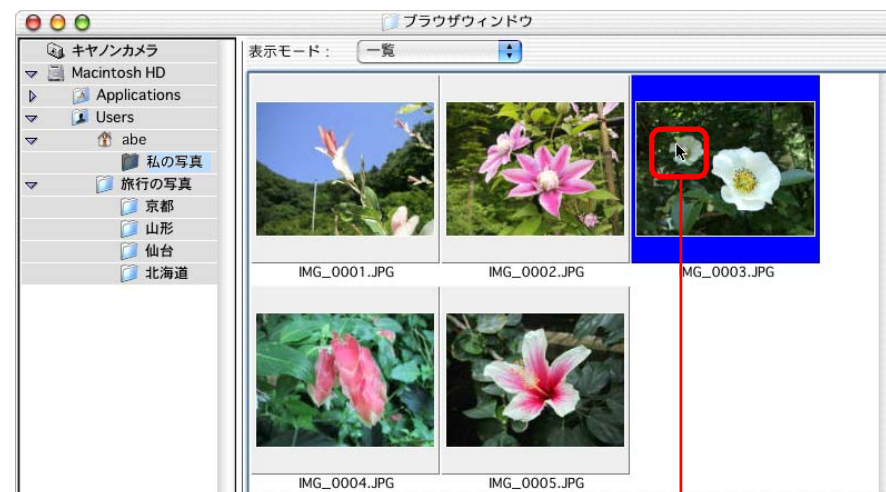
参考

- ・ ImageBrowserで画像の移動やコピーを行うと、実際の画像ファイルの保存場所も変更されます。
- ・ ImageBrowserを起動した状態で、Finderを使ってファイルやフォルダの操作を行った場合、その変更がImageBrowserの画面に反映されないことがあります。このような場合には、[表示]メニューから[最新の情報に更新]を選択してください。

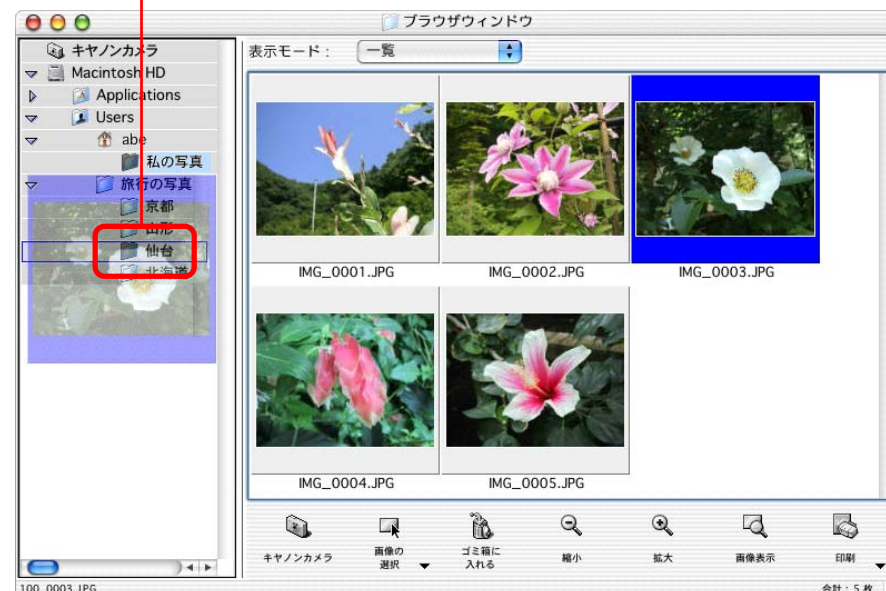
エクスプローラビューを使って移動、コピーする

画像を移動するときは、移動元の画像をブラウザエリアに表示させ、その画像をエクスプローラビューの移動先フォルダにドラッグアンドドロップします。

画像をコピーするときは、ドロップする前に[option]キーを押し、キーを押したまま、マウスのボタンを離します。



移動したい画像をドラッグして、
移動先のフォルダの上でドロップ



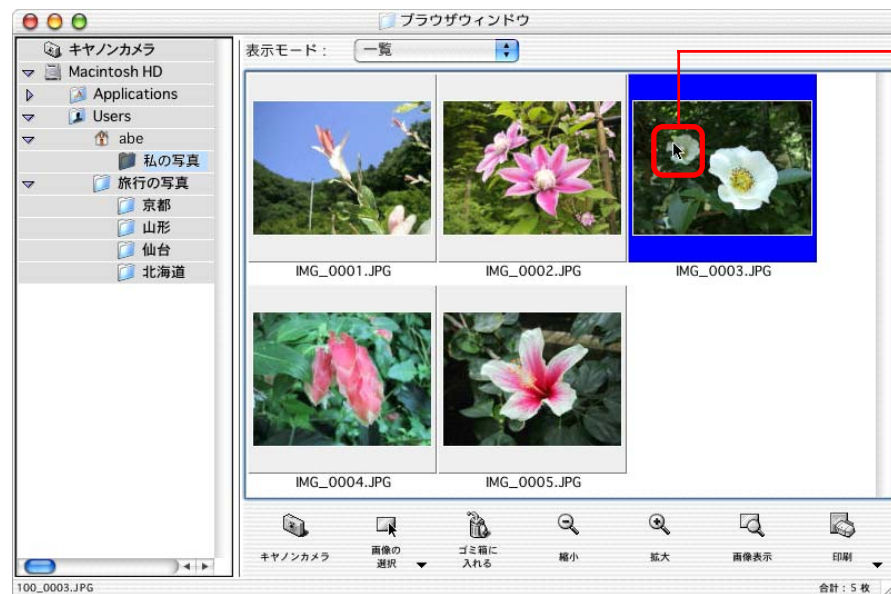
2つのブラウザウィンドウを使って移動、コピーする

[表示]メニューから、[新規ブラウザウィンドウ]を選択すると、新しいブラウザウィンドウが表示されます。

それぞれの、ブラウザウィンドウに異なるフォルダを表示させておき、片方のブラウザウィンドウから、もう片方のブラウザウィンドウにドラッグアンドドロップすることで、フォルダ間の移動、コピーが行えます。

参考

- ・ 前述の操作と同様、画像をコピーするときは、ドロップする前に [option] キーを押し、キーを押したまま、マウスのボタンを離します。
- ・ ブラウザウィンドウは、同時に2つまで開くことができます。



1つ目のブラウザウィンドウ



2つ目のブラウザウィンドウ

移動したい画像をドラッグして、
移動先でドロップ

その他の方法

■ 複数の画像を移動、コピーする

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、ドラッグアンドドロップを行えば、複数の画像を一度に移動、コピーすることができます。


■ フォルダごと移動、コピーする

エクスプローラビューでフォルダをドラッグし、他のフォルダにドロップすれば、フォルダごと移動、コピーすることができます。

■ カメラにコピーする


カメラウィンドウを開き、ブラウザエリアの画像をカメラウィンドウにドラッグアンドドロップすると、カメラに画像を追加することができます。この機能については第5章の「パソコンの画像をカメラに追加する」で説明します。

参 考

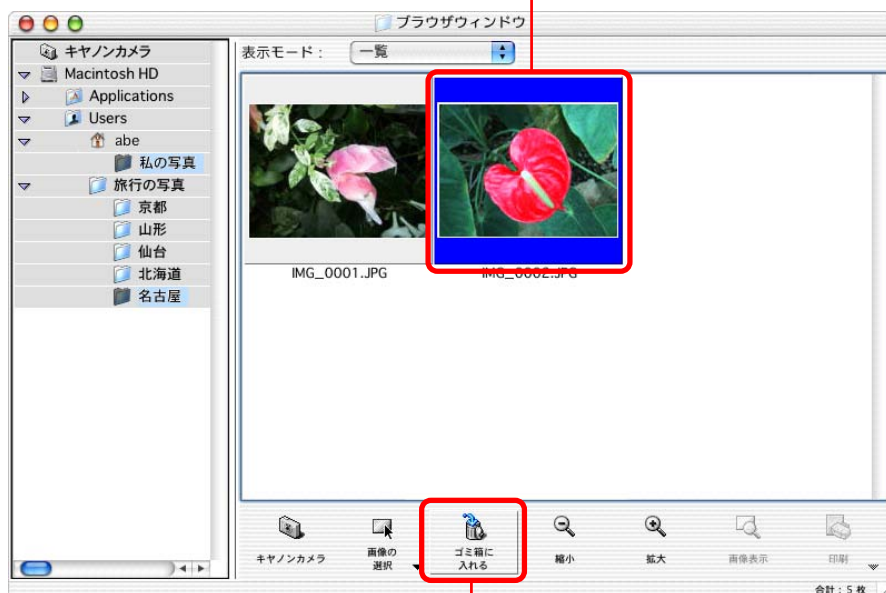
- ・ブラウザエリアの下部にある  (画像の選択) をクリックし、表示されたメニューから [すべてを選択] を選択すると、全画像を一度に選択することができます。また、[すべての選択を解除] を選択すると、画像の選択がすべて解除されます。
- ・[編集] メニューから [すべてを選択] または [すべての選択を解除] を選択することで、全画像の選択／選択解除を行うこともできます。

不要な画像をゴミ箱に入れる（削除する）操作を説明します。

画像をゴミ箱に入れる

不要な画像を選択した後、（ゴミ箱に入れる）をクリックします。

削除したい画像を選択して




これをクリック

参 考

- ・間違っって必要な画像をゴミ箱に入れてしまった場合にはゴミ箱をダブルクリックしてウィンドウを開き、ゴミ箱に入っている画像ファイルを、元のフォルダ（エクスプローラビューのフォルダではなく、Finder上のフォルダ）にドラッグアンドドロップしてください。

その他の方法

■ 複数の画像をゴミ箱に入れる

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、（ゴミ箱に入れる）をクリックすれば、複数の画像を一度にゴミ箱に入れることができます。

■ メニューを使ってゴミ箱に入れる

画像を選択して、[ファイル]メニューから[ゴミ箱に入れる]を選択することでも、画像をゴミ箱に入れることができます。

参 考

- ・これらの操作の後、[Finder]メニューの[ゴミ箱を空にする]（Mac OS 9の場合はFinderの[特別]メニューから[ゴミ箱を空にする]）を実行すると、画像が完全に削除されます。

ここでは、カメラを縦位置にかまえて撮った画像を、正しい向きに回転する操作を説明します。

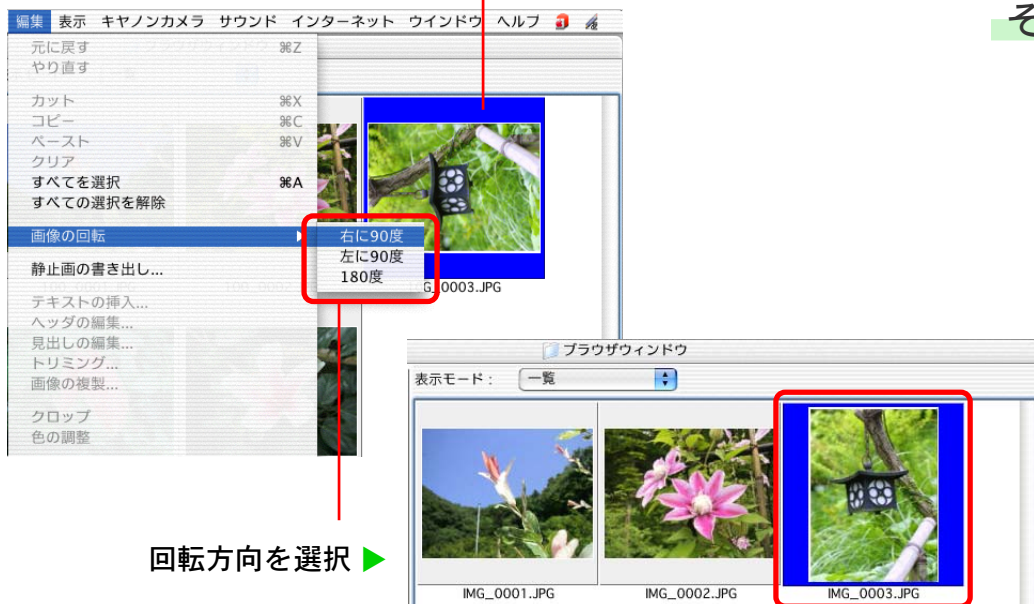
重要

- ・ ImageBrowser上で画像を回転すると、ディスクに入っている実際の画像ファイルも回転したものに書き換えられます。

画像を回転する

回転する画像を選択した後、[編集]メニューの[画像の回転]にマウスポインタを合わせ、目的の回転方法をクリックします。

回転したい画像を選択して



参考

- ・ [右に90度] は時計回り、[左に90度] は反時計回りとなります。
- ・ 画像の回転には2種類の方法があります。初期状態では、オリジナルの画像が回転するように設定されています。
- ・ [ImageBrowser] メニューの [環境設定] (Mac OS 9 の場合は [編集] メニューの [プレファレンス]) の [ブラウザウィンドウ] の画面で、「JPEG画像の回転時にオリジナルを残しておく」のチェックマークを付けた場合には、オリジナル画像と回転後の画像ファイルの両方が表示されます。
- ・ JPEG形式以外の画像を回転した場合は、回転後の画像だけが表示されます。オリジナル画像は残りません。

その他の方法

■ 複数の画像を回転する

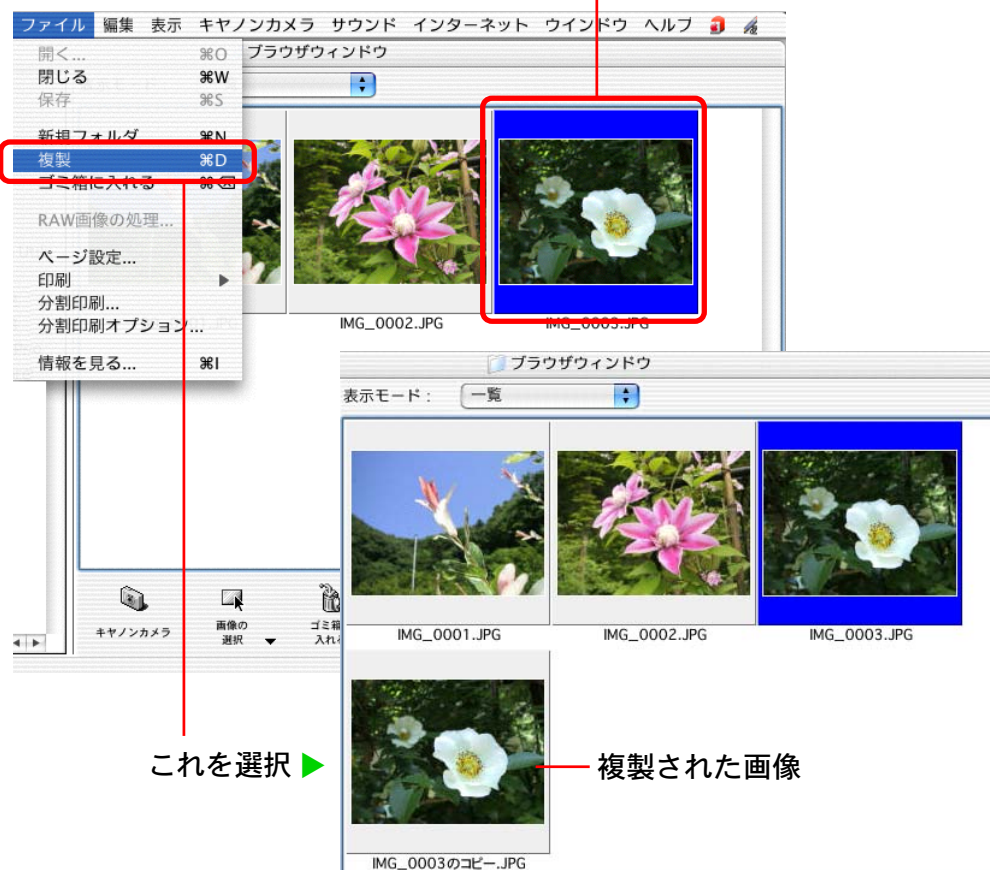
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に回転することができます。

画像を複製する(まったく同じ画像ファイルを作成する)操作を説明します。

画像を複製する

複製する画像を選択した後、[ファイル]メニューから[複製]を選択します。

複製したい画像を選択して



これを選択 ▶

複製された画像

その他の方法

■ 複数の画像を複製する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に複製することができます。

■ フォルダごと複製する

エクスプローラビューでフォルダを選択し、ブラウザエリアで画像が選択されていない状態で、[ファイル]メニューから[複製]を選択すると、フォルダごと複製されます。

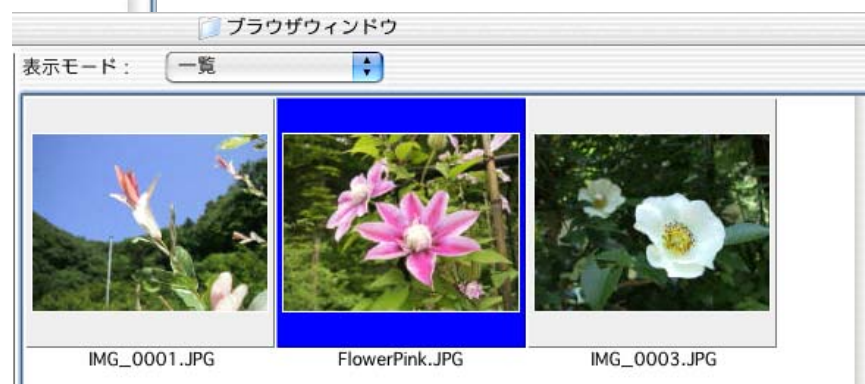
ここでは、画像の名前（画像ファイル名）を変更する操作を説明します。

画像ファイル名を変更する

名前を変更したい画像の「ファイル名の部分」をクリックし、少し待つと、文字入力のできる状態になります。新しいファイル名を入力し [return] キーを押します。



この部分をクリックして、少し待ち、新しい名前を入力して[return] キーを押します



重要

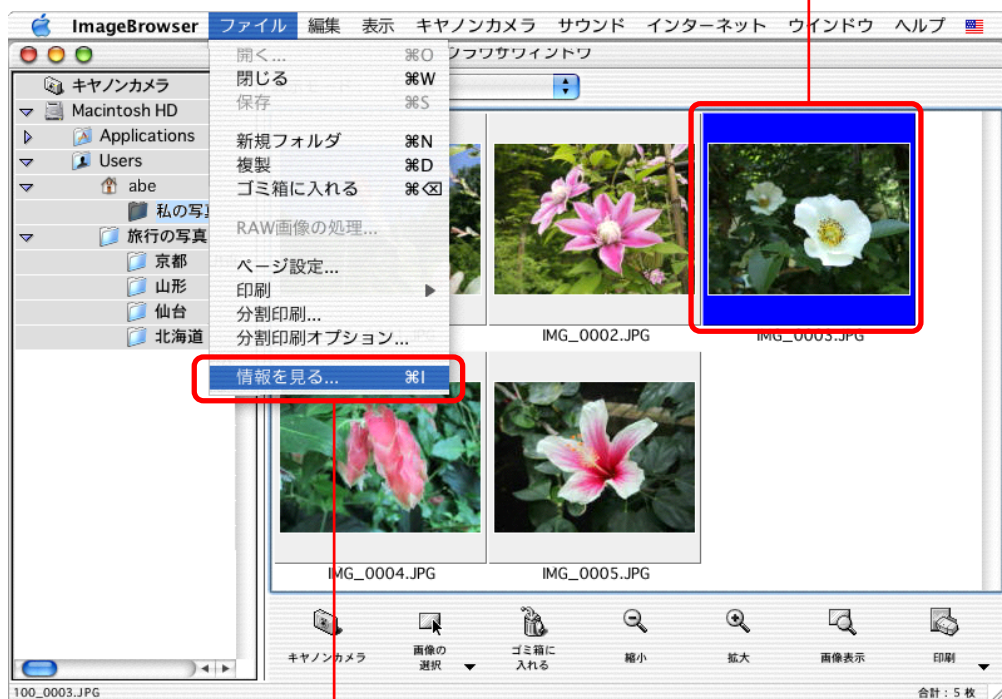
- ・ファイルの種類を示す「拡張子」は変更しないでください。変更すると、ブラウザウィンドウに表示されなくなる場合があります。（拡張子とは、ファイル名の最後にある、例えば「.JPG」の部分です）

選択した画像の撮影情報を見る操作です。

情報を見る

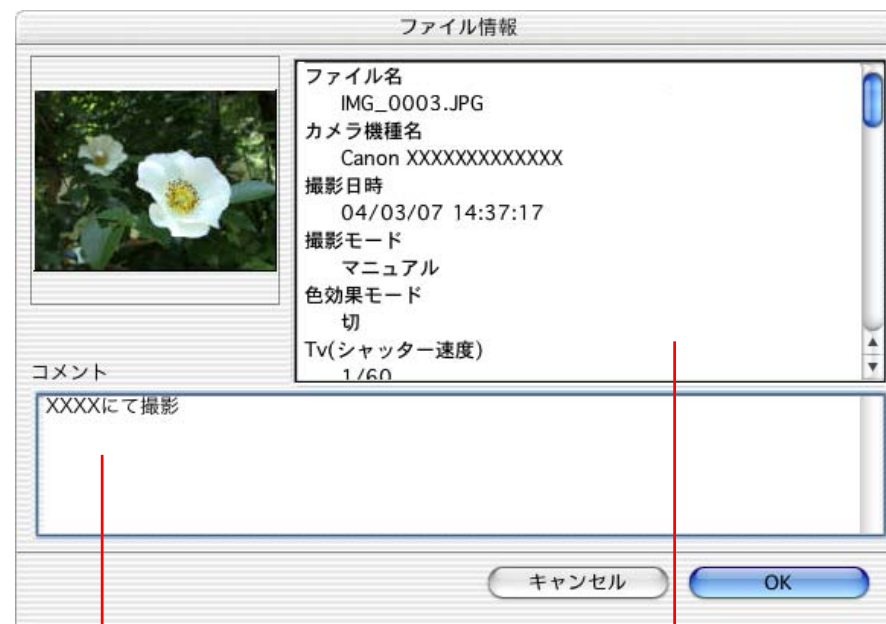
ブラウザエリアで画像を選択した後、[ファイル]メニューから[情報を見る]を選択すると、ファイル情報のウィンドウが表示されます。

情報を見たい画像を選択して



これを選択

ファイル情報ウィンドウでは、カメラ名や撮影日時、撮影時のカメラの設定など、さまざまな情報を見ることができます。ファイル情報のウィンドウを閉じるときは、[OK] をクリックします。



ここにはコメントを入力することができます

ここに表示される情報は、お使いのカメラによって異なります

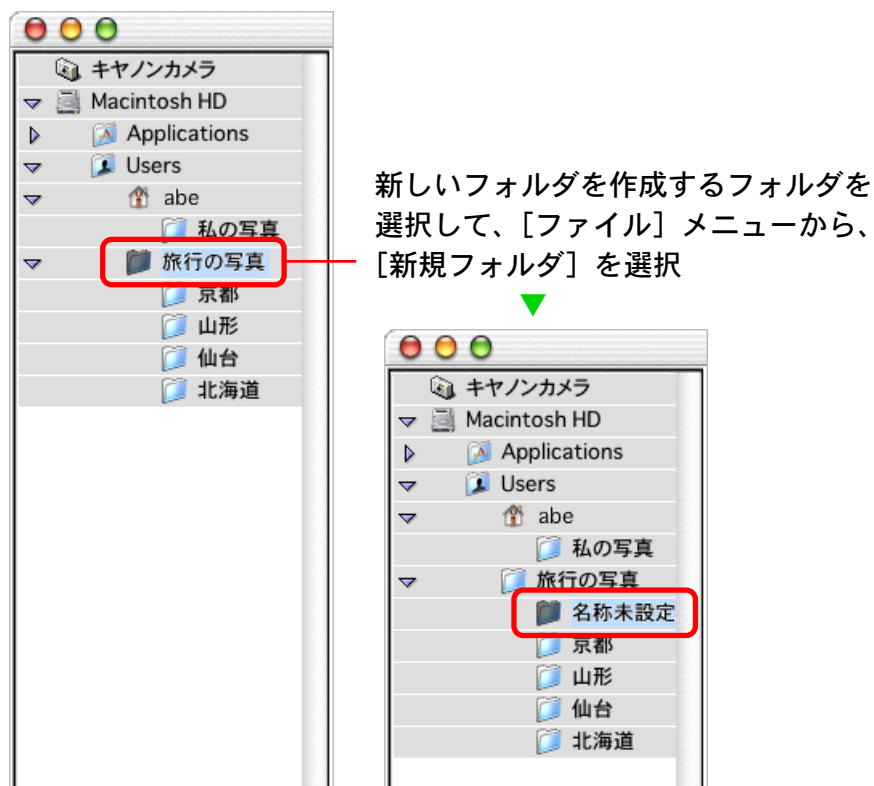
参考

- ・ブラウザエリアの表示モードが[プレビュー]になっている場合は、ヒストグラムの下側にもファイル情報が表示されます。
- ・カメラで撮影した画像を、他の画像編集ソフトウェアで加工して保存した場合には、撮影に関する情報やコメントが失われる場合があります。

ディスクやフォルダの中に新しいフォルダを作る方法を説明します。

フォルダを作成する

エクスプローラビューで、フォルダを作成するディスクまたはフォルダを選択した後、[ファイル]メニューから、[新規フォルダ]を選択します。これで「名称未設定フォルダ」という名前のフォルダが作成されます。



参考

- ・フォルダの名前を変更する操作については、次ページをご覧ください。
- ・ImageBrowserでフォルダを作成すると、Finder上でも、同じ名前のフォルダが作成されます。



新しく作成したフォルダ

フォルダの名前を変える

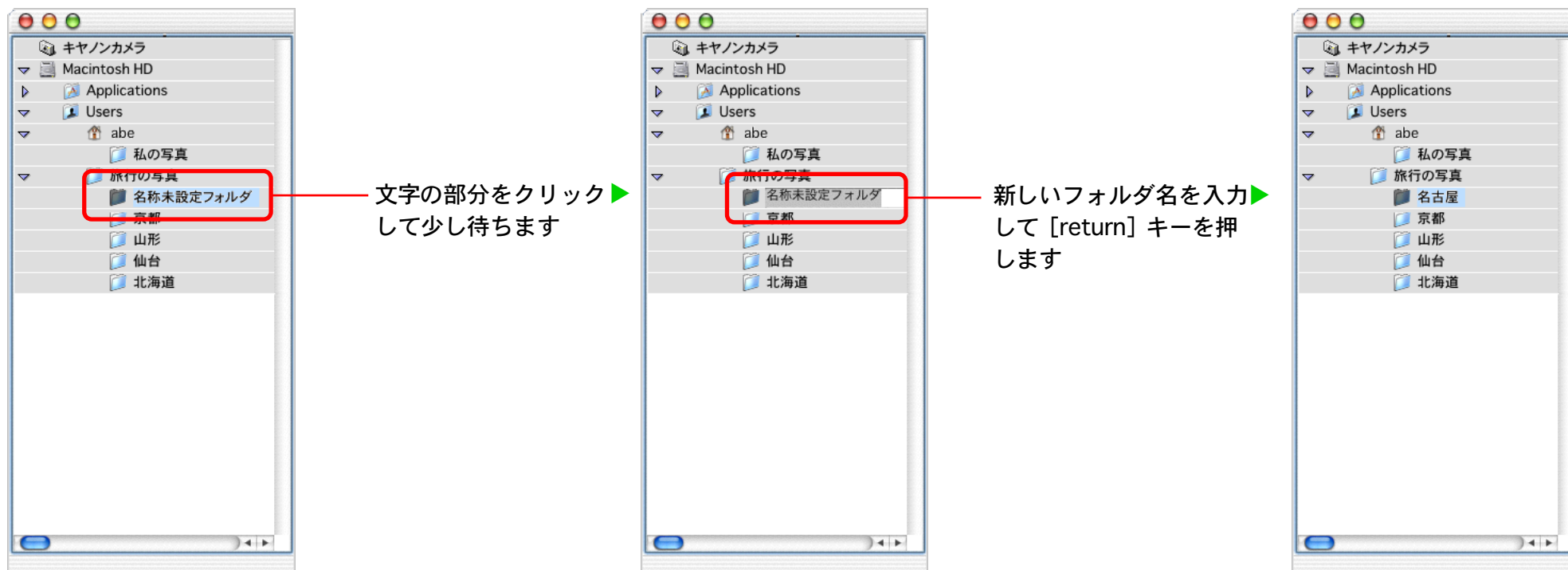
ここでは、フォルダの名前を変更する操作を説明します。

フォルダ名を変更する

エクスプローラビューで名前を変更するフォルダの文字の部分をクリックし、少し待つと、文字入力のできる状態になります。新しいフォルダ名を入力し [return] キーを押します。

参考

- ・ ImageBrowser上で、フォルダの名前を変更すると、ディスク上のフォルダ名も変更されます。



不要なフォルダをゴミ箱に入れる(削除する)操作を説明します。

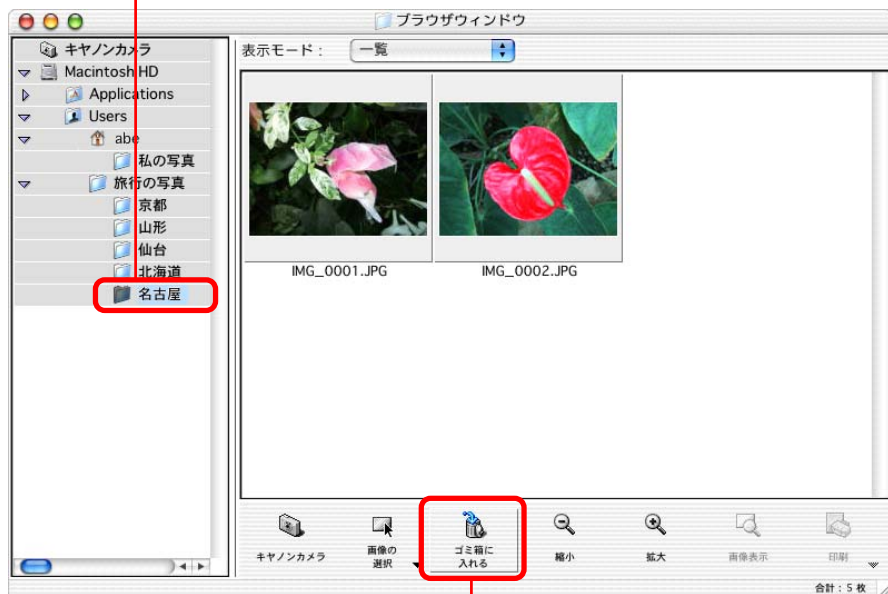
重要

- ・ゴミ箱を空にすると、その中に入っていた画像やフォルダがすべて削除されます。ディスク上から画像ファイルやフォルダが削除されますのでご注意ください。

フォルダをゴミ箱に入れる

不要なフォルダを選択した後、 (ゴミ箱に入れる) をクリックします。

削除したいフォルダを選択して



これをクリック

その他の方法

■ メニューを使ってゴミ箱に入れる

フォルダを選択して、[ファイル] メニューから [ゴミ箱に入れる] を選択することでも、フォルダをゴミ箱に入れることができます。

参考

- ・これらの操作の後、[Finder] メニューの [ゴミ箱を空にする] (Mac OS 9の場合はFinderの [特別] メニューから [ゴミ箱を空にする]) を実行すると、フォルダが完全に削除されます。

この章では、ImageBrowserに入っている画像を見たり、編集したりする方法を説明していきます。

ここでは、エクスプローラビューを使って、見たい画像の入っているフォルダを選択する方法を説明します。

フォルダを選択する

エクスプローラビューで、開きたいフォルダをクリックします。すると、ブラウザエリアにそのフォルダに入っている画像一覧が表示されます。

選択したフォルダ

選択したフォルダに入っている画像が表示されます

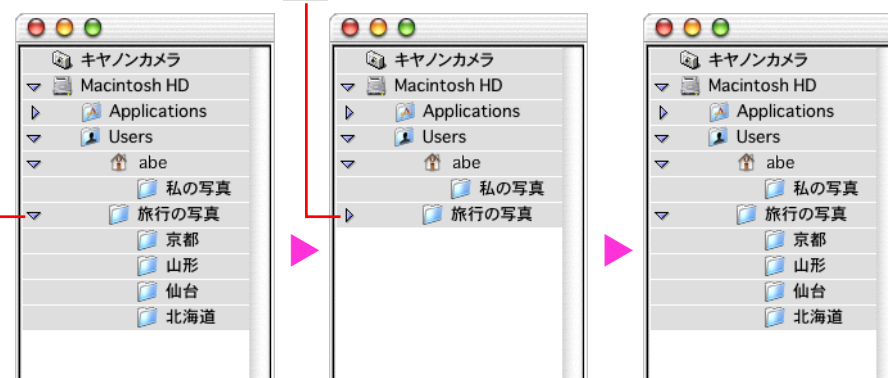


フォルダを開閉する

▼ ▲ のボタンを使って、ディスクやフォルダの内容の表示を閉じたり、開いたりすることができます。

フォルダを閉じる場合は ▼ をクリック

フォルダを開く場合は ▲ をクリック



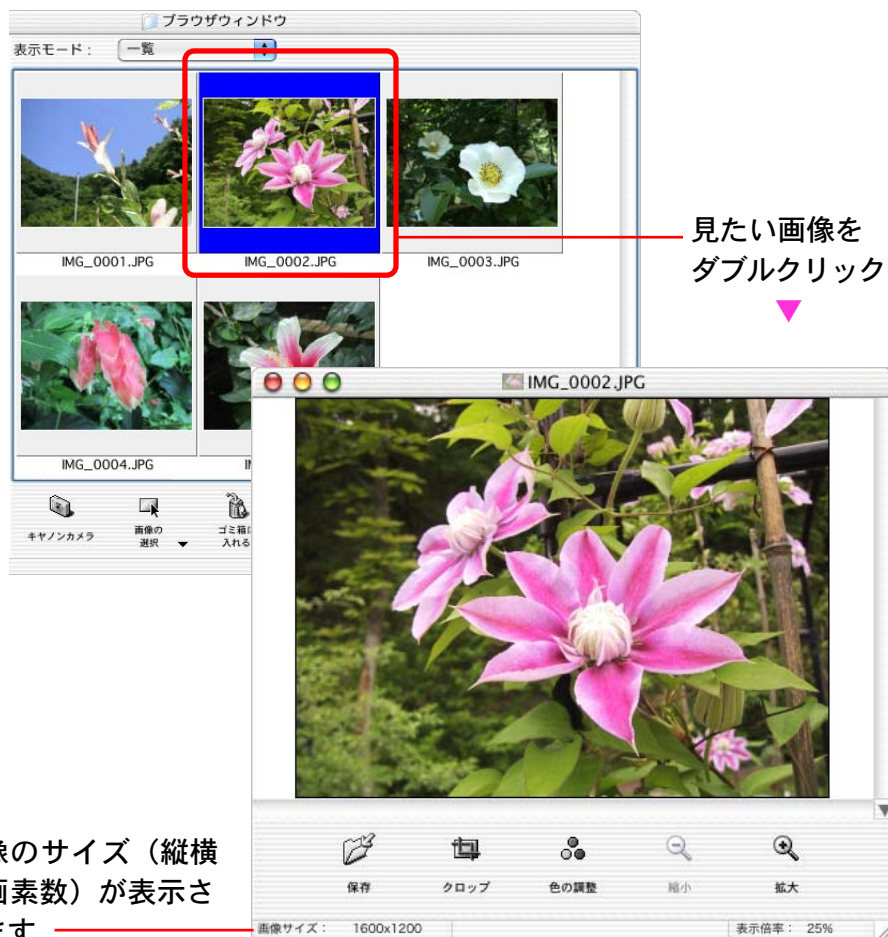
参考

- ・エクスプローラビューの [キヤノンカメラ] をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます (カメラが接続され、通信できる状態になっているときに限ります)。メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックするとカメラウィンドウが表示されます。

ブラウザエリアに表示された画像を開く操作です。


1つの画像を開く

ブラウザエリアの開きたい画像をダブルクリックします新しいウィンドウが開き、画像が表示されます。




画像のサイズ（縦横の画素数）が表示されます

参考



- ・開きたい画像を選択した後、（画像表示）をクリックすることでも画像を開くことができます。
- ・画像を選択した後、[表示]メニューから[画像を表示]を選択することでも画像を開くことができます。

複数の画像を開く

複数の画像を一度に開くときは、次の操作を行います。

- ・ブラウザエリアで [shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくと、複数の画像を選択することができます。そして （画像表示）をクリックします。

画像を閉じる

開いた画像のウィンドウを閉じるときは、（Mac OS Xの場合）、または （Mac OS 9の場合）をクリックします。また、[ファイル]メニューから[閉じる]を選択することでも、画像を閉じることができます。

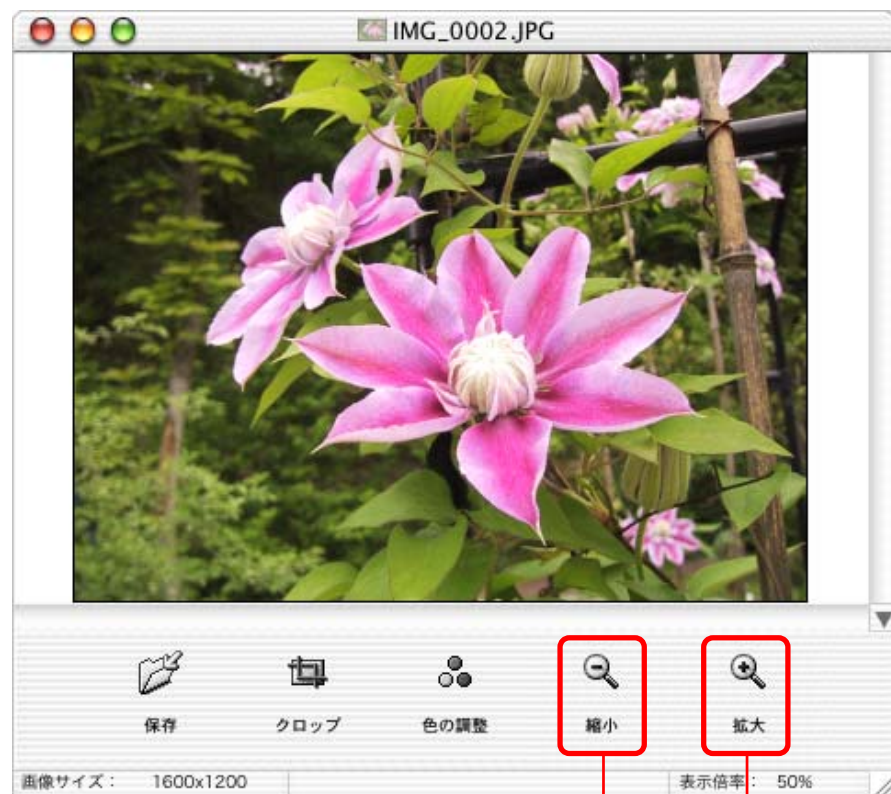
ここをクリックすることで、ボタンの部分の表示/非表示を選択することができます

表示倍率を変える

開いた画像の表示倍率を変える操作です。

ボタンで表示倍率を変更する

🔍 🔍 をクリックすることで、画像の表示倍率を変更することができます。



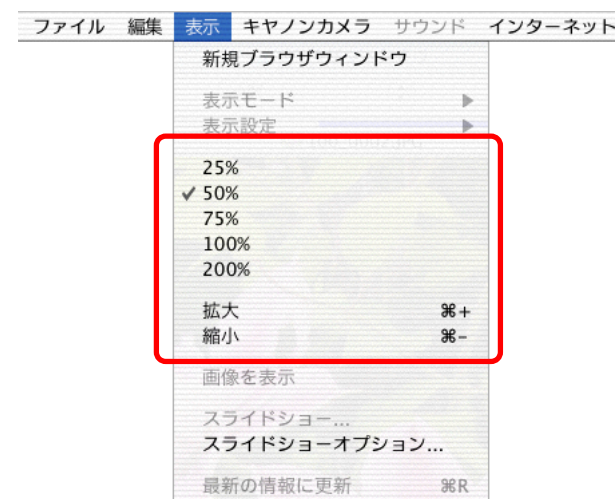
縮小

拡大

現在の表示倍率

メニューで表示倍率を変更する

[表示] メニューから、[25%] ~ [200%] や、[拡大] [縮小] を選択することでも画像の表示倍率を変更することができます。



参考

- ・表示可能な倍率は、25% ~ 200% です。

開いた画像を編集する機能について説明します。

編集機能

ImageBrowserでは、次のような編集作業を行うことができます。



■ クロップ

画像の一部を切り出します。周囲の不要な部分をカットするときに使います。

■ 色の調整

色相（色調）、彩度（鮮やかさ）、明度（明るさ）を調整することで、画像のイメージを大きく変化させることができます。

■ 保存


編集した画像を保存するときに使います。

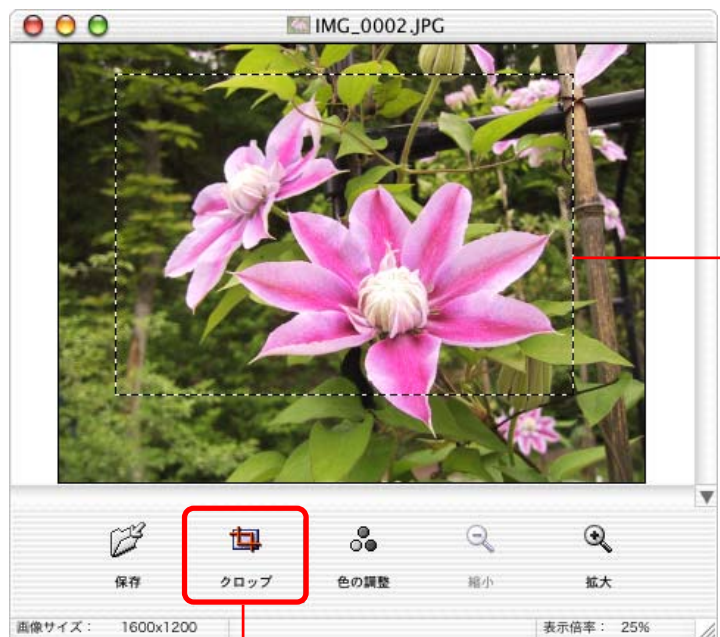
次のページからこれらの操作を詳しく説明していきます。

参考

- ・ クロップや色の調整を行った後、「あ、失敗した!」と思ったら、[編集]メニューから[元に戻す]を選択してください。直前に行った編集操作を取り消し、操作の前の状態に戻ります。さらに[元に戻す]を選択すると、そのたびに1つずつ前の状態に戻ります。
[元に戻す]で前の状態に戻した後、「やっぱり今のでいいや!」と思ったら、[編集]メニューから[やり直す]を選択してください。編集後の状態に戻ります。

クロップ (切り抜き)

周囲の不要な部分を削除し、必要な部分だけを切り出します。画像内にマウスポインタを置き、ドラッグすると、四角い枠で切り出す範囲が表示されます。続いて、 (クロップ) をクリックすると、指定した範囲が切り出されます。

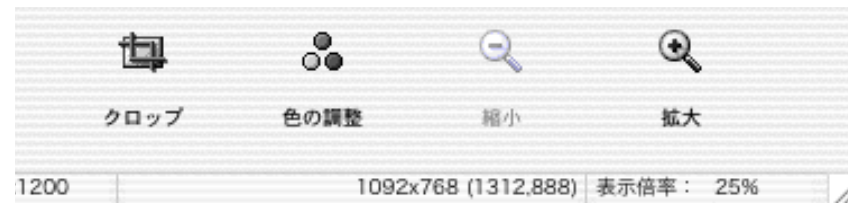


ドラッグで範囲を指定して

このボタンをクリック ▶

参考

- ・ 範囲を指定するとき、ウィンドウ下端に次のような情報が表示されます。




選択した範囲の大きさ
(横と縦の画素数)

現在のポインタの位置



色の調整

 (色の調整) をクリックすると、「色の調整」のウィンドウが表示されます。「色の調整」ウィンドウで色相、彩度、明度を調整した後、[OK] をクリックします。



これをクリック



色相を
下げる



色相を
上げる



彩度を
下げる



彩度を
上げる



明度を
下げる




明度を
上げる



保存

編集した画像を別の名前で保存します。

画像の編集を終えた後、 (保存) をクリックすると、保存のダイアログが表示されます。ファイル名やファイルの種類を指定して、[保存] をクリックしてください。

編集を終えた画像を、オリジナルの画像に上書きする形で保存したい場合は、「保存」の操作で表示される保存ダイアログで、オリジナル画像と同じファイル名を指定して保存します。



このボタンをクリック



参考

- ・編集作業を終えた後、「保存」の作業をすることなく、画像のウィンドウを閉じようとするとき、編集した画像を保存するかを尋ねるメッセージが表示されます。



保存する場合は [保存] をクリックし、保存のダイアログでファイル名やファイルの種類を指定して、[保存] をクリックしてください。

保存しない場合は [保存しない] をクリックしてください。

- ・「Exif JPEG 形式」は、JPEG 形式の画像ファイルに、撮影データなどの情報を付加したファイル形式です。一般に JPEG 形式の画像ファイルと同様に扱うことができます。

ImageBrowserで選択した画像を、別の画像編集ソフトウェアを使って編集する操作を説明します。

参 考

- ・製品に付属している画像編集ソフトウェア（Solution Disk 以外の CD-ROM に収納）がインストールされている場合は、自動的に ImageBrowser のメニューに登録されます。
- ・他のソフトウェアを登録したい場合には、[ImageBrowser] メニューの [環境設定]（Mac OS 9 の場合は [編集] メニューの [プレファレンス]）を選択し、[ブラウザウィンドウ] の [アプリケーションの登録] で、登録してください。

他のソフトウェアで画像を編集する

画像を選択した後、[編集]メニューの[登録したアプリケーションを起動]のサブメニューから、使用するソフトウェアを選択します。



編集したい画像を選択して

ここからアプリケーション
を選択（ソフトウェア名は
お使いのカメラによって異
なります）

これで、画像編集ソフトウェアが起動し、選択した画像が開かれます。

カメラウィンドウを開く

この章では、ImageBrowserのカメラウィンドウの使い方を説明していきます。

ここでは、カメラウィンドウの3種類の開き方を説明します。

重要


- ・この操作を行う前に、カメラとパソコンがインターフェースケーブルで接続され、通信可能な状態になっていることを確認しておいてください。
- ・メモリーカードリーダーをお使いの場合には、メモリーカードリーダーにメモリーカードがセットされているのを確認してから行ってください。

エクスプローラビューの [キヤノンカメラ] を使う

エクスプローラビューにある[キヤノンカメラ]をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます。



[キヤノンカメラ] ボタンを使う

 (キヤノンカメラ) をクリックすると、カメラウィンドウが表示されます。



これをクリック

メモリーカードリーダーをお使いの場合には、エクスプローラビューに表示されたメモリーカードを開き、[DCIM] フォルダをダブルクリックするとカメラウィンドウが表示されます。

自動的に開く (Mac OS 9 の場合のみ)

カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続し、カメラを通信可能な状態にすると、自動的にImageBrowserが起動し、ブラウザウィンドウとともに自動実行のウィンドウが表示されます。このウィンドウで、[画像を一覧表示する]を選択すると、カメラウィンドウが表示されます。


すでにImageBrowserが起動している状態でも、同じ操作でカメラウィンドウを開くことができます。

参考

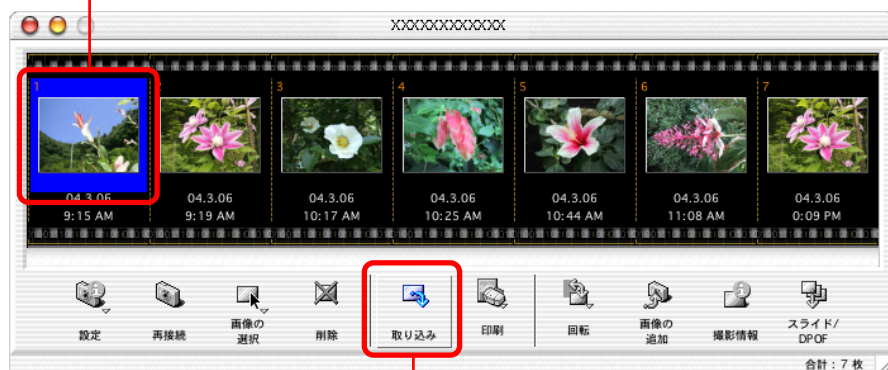
- ・ [Canon ImageBrowser Auto Launch] コントロールパネルで、[カメラ接続時に以下のアプリケーションを起動する] のチェックマークが外されている場合には自動起動は行われません。

ここでは、カメラ（メモリーカード）に保存されている画像を、パソコンのディスクに取り込む操作を説明します。

画像を取り込む

取り込みたい画像をクリックで選択し、（取り込み）をクリックします。

画像を選択して



これをクリック



取り込まれた画像

参考

- ・ 画像は、ブラウザウィンドウで選択されているフォルダに取り込まれます。

その他の方法

■ ダブルクリックで取り込む

カメラウィンドウの画像をダブルクリックすることで、画像を取り込むことができます。

画像を取り込む (2 / 2)


■ ドラッグ アンド ドロップで取り込む

カメラウィンドウの画像をドラッグし、ブラウザウィンドウのブラウザエリアにドロップすることで画像を取り込むことができます。また、カメラウィンドウの画像をドラッグし、ブラウザウィンドウのエキスポージャービューのフォルダにドロップすることで、任意のフォルダに直接画像を取り込むこともできます。

■ 複数の画像を取り込む

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、取り込みの操作を行えば、複数の画像を一度に取り込むことができます。

■ 全画像を取り込む

 (画像の選択) をクリックするとメニューが表示されます。このメニューで [すべてを選択] を選択した後、取り込みの操作を行えば、全画像を一度に取り込むことができます。

参 考

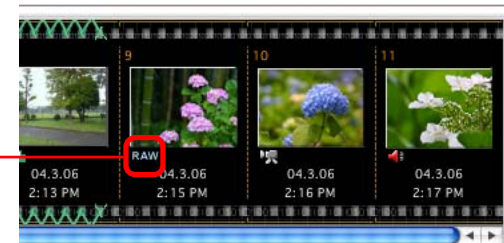
- ・スティッチアシストモードで撮影した画像はカメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

スティッチアシストモードで撮影した画像を示すマーク (波線をクリックすることで、PhotoStitchを起動することができます)



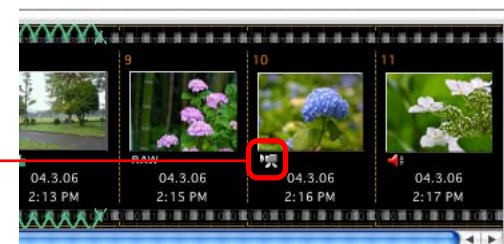
- ・RAWモード(カメラによって搭載していない機種もあります)で撮影した画像は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

RAW モードで撮影した画像を示すマーク



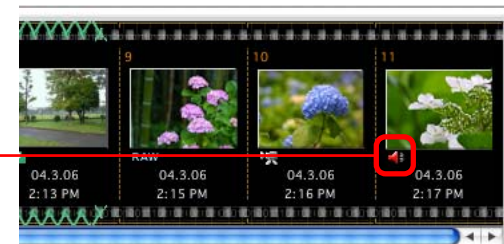
- ・動画モードで撮影した動画は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

動画を示すマーク



- ・音声メモ(カメラによって搭載していない機種もあります)が付いている画像は、カメラウィンドウ上で、次のように表示されます。

音声メモを示すマーク




画像を削除する

ここでは、カメラ（メモリーカード）に保存されている画像を削除する方法を説明します。

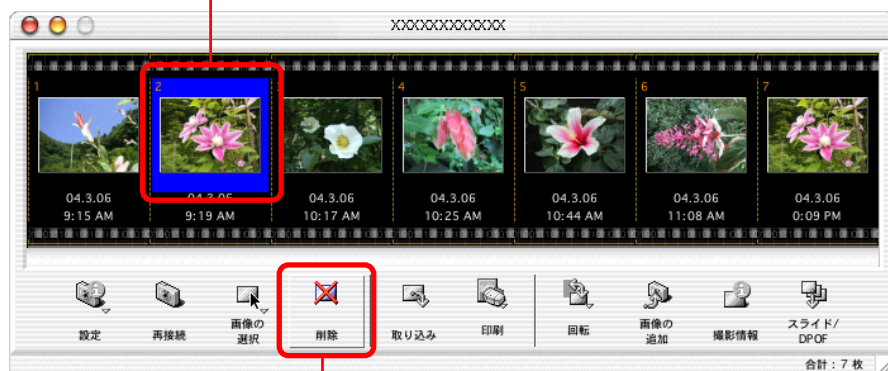
重要

- ・カメラウィンドウで画像を削除すると、メモリーカードに入っている実際の画像が削除されてしまいます。削除すると元に戻すことはできませんので、注意して操作してください。

カメラの画像を削除する

削除したい画像をクリックで選択し、（削除）をクリックします。

画像を選択して



これをクリック


確認のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
これで削除が実行されます。

その他の方法

■ 複数の画像を削除する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で、削除の操作を行えば、複数の画像を一度に削除することができます。


■ 全画像を削除する

（画像の選択）をクリックするとメニューが表示されます。このメニューで [すべてを選択] を選択した後、削除の操作を行えば、全画像を一度に削除することができます。

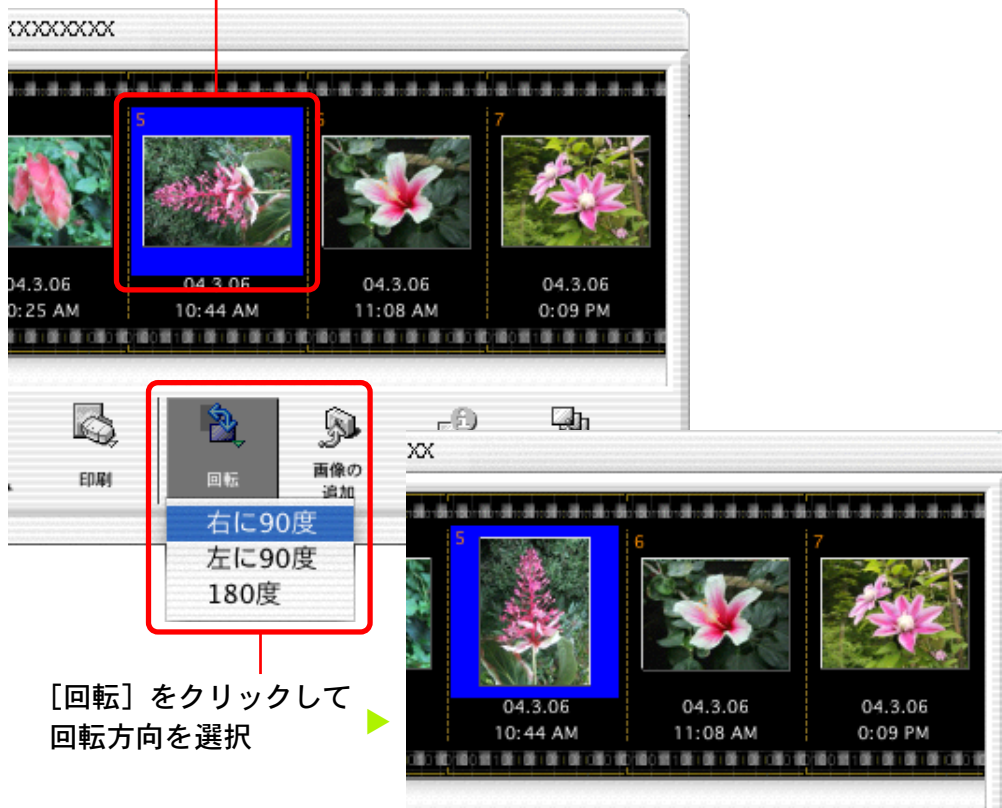


カメラを縦位置にかまえて撮影した画像を正しい向きの表示に直す操作を説明します。

カメラの画像を回転する

回転したい画像をクリックで選択し、 (回転) をクリックします。表示されたメニューで、目的の回転方向をクリックします。

画像を選択して



参考

- ・ [右に90度] は時計回り、[左に90度] は反時計回りです。
- ・ 「回転」は、カメラウィンドウに表示されている画像が回転するだけで、カメラ内に保存されている画像ファイルそのものは何も変更されません。
ただし、その画像を取り込む操作を行うと、実際に画像が回転され、正しい向きの画像ファイルがパソコンに取り込まれます。
- ・ [ImageBrowser] メニューの [環境設定] (Mac OS 9 の場合は [編集] メニューの [プレファレンス]) の [ブラウザウィンドウ] で、「JPEG 画像の回転時にオリジナルを残しておく」のチェックマークを付けると、オリジナル画像と回転後の画像ファイルの両方が取り込まれます。


その他の方法

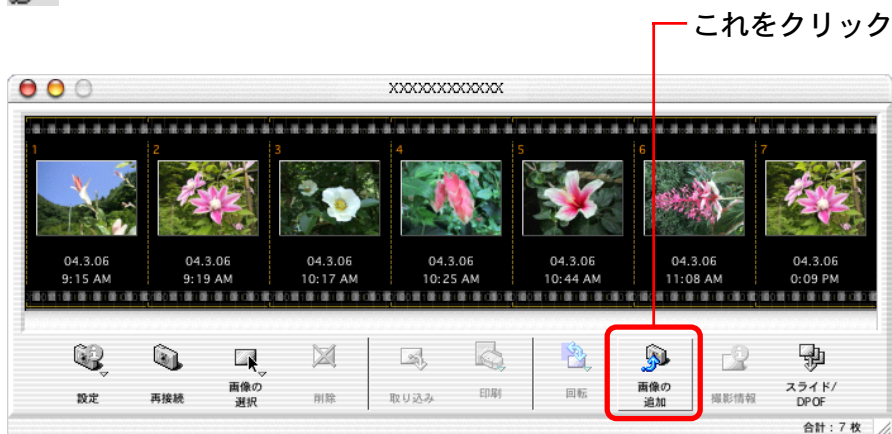
■ 複数の画像を回転する

[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら画像をクリックしていくことで、複数の画像を選択することができます。複数の画像を選択した状態で操作を行えば、複数の画像を一度に回転することができます。

パソコンのディスクに保存されている画像を、カメラ(メモリーカード)に追加する操作を説明します。

カメラに画像を追加する

 (画像の追加) をクリックします。



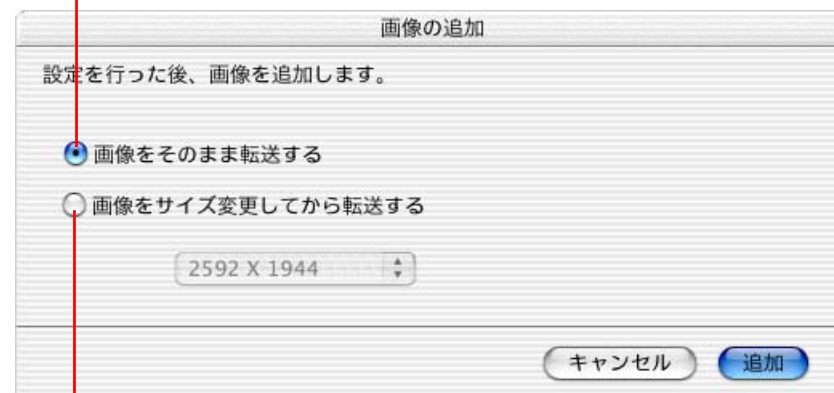
追加する画像ファイルを選択するダイアログが表示されます。追加したい画像ファイルを選択して [開く] をクリックします。

参 考

- ・複数の画像を一度に追加することもできます。

次のようなウィンドウが表示されたら、必要に応じて項目を選択し、[追加] をクリックします。これで画像が追加されます。

画像をそのまま追加する場合に選択します



画像のサイズを変更してから追加の場合に選択します。すぐ下の項目で、変更したい画像サイズを選択します。(メモリーカードリーダーをお使いの場合には、画像サイズを数値で入力します)

参 考

- ・カメラで撮影したJPEG形式の画像は、サイズを変更せずにそのままカメラに追加できます。
- ・BMP、PICT、TIFF形式の画像、および回転した画像は、そのままではカメラに追加できません。サイズを変更してください。
- ・RAW形式および動画ファイル(AVI形式)の画像は、カメラに追加できません。
- ・画像のファイル形式については、付録の「対応しているファイル形式」で詳しく説明しています。

その他の方法

■ メニューを使う

[キヤノンカメラ] メニューから [画像の追加] を選択することでも、画像を追加することができます。


■ ドラッグ アンド ドロップで追加する

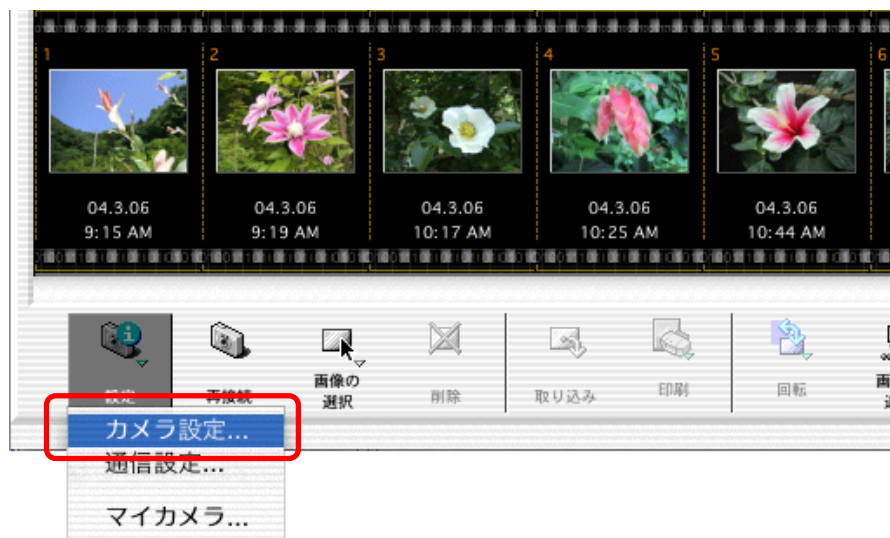
ブラウザエリアの画像をドラッグして、カメラウィンドウにドロップすることでも、画像を追加することができます。

カメラの設定を確認、変更する

カメラの設定をパソコン上で確認することができます。

カメラの設定を確認、変更する

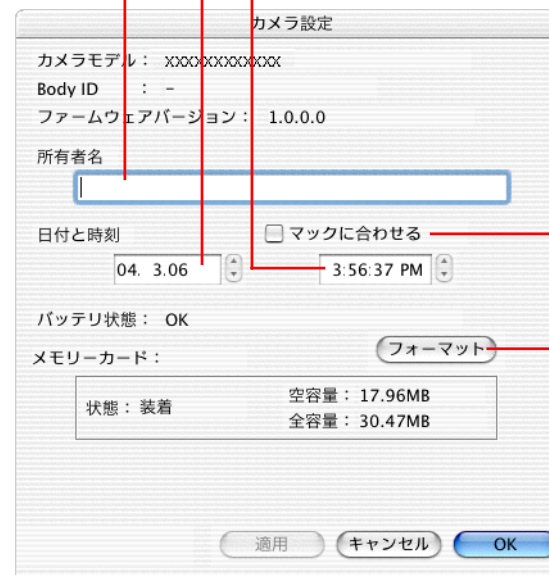
 (設定) をクリックし、表示されたメニューで[カメラ設定] をクリックします。



これで、カメラ設定のウィンドウが表示されます。カメラ設定のウィンドウでは、右のような設定ができます。

カメラの所有者名を入力することができます

カメラの時計を設定することができます



このチェックボックスをクリックすると、カメラの日付と時刻が、パソコンの日付と時刻と同じ設定になります

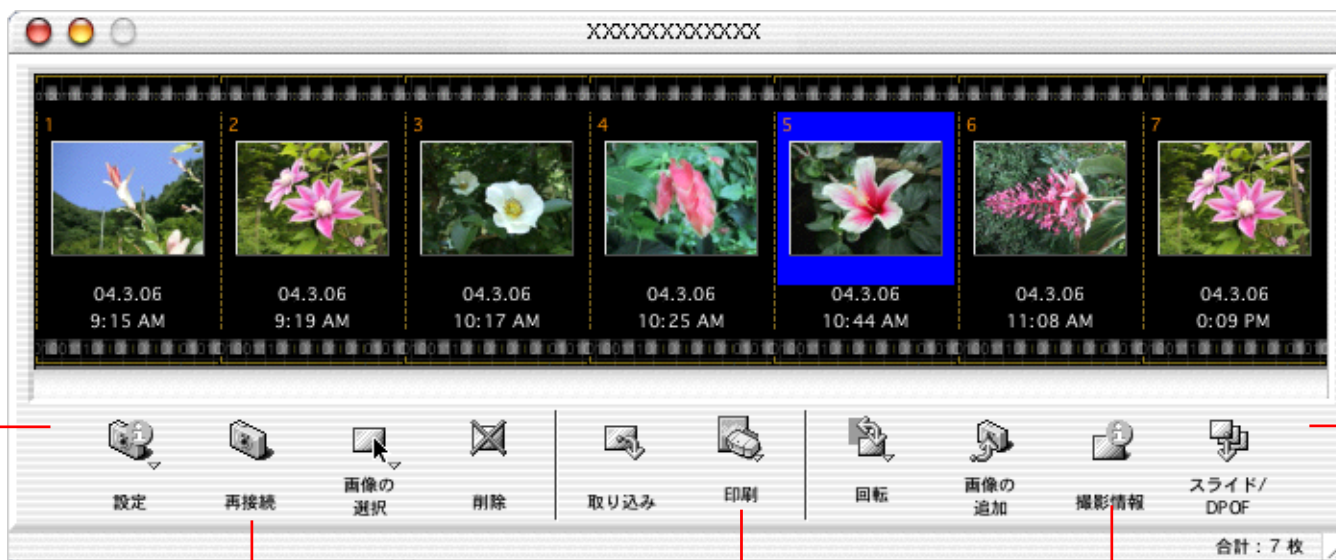
このボタンをクリックすると、カメラのメモリーカードを初期化することができます(機種によっては初期化できない場合もあります)

確認、変更が終わったら、[OK] をクリックします。

これまで説明しなかったカメラウィンドウの機能をまとめて説明します。

[設定] メニューから [通信設定] を選択すると、カメラと通信するポートの設定などを行うことができます

[設定] メニューから [マイカメラ] を選択すると、カメラの起動画面やシャッター音などをカメラに登録するためのウィンドウが表示されます（この操作については第6章の「カメラにマイカメラコンテンツを登録する」で説明します）



カメラとパソコンの接続が途絶えた後、再び接続したいときにクリックします

選択された画像をプリントするときにクリックします（この操作については第6章の「画像をプリントする」で説明します）

撮影時の情報を確認したいときにクリックします

カメラを使ったスライドショーや、DPOF（プリント指定）を行うときにクリックします（この操作については付録の「カメラ上でのスライドショーの設定」、「プリント指定」で説明します）*

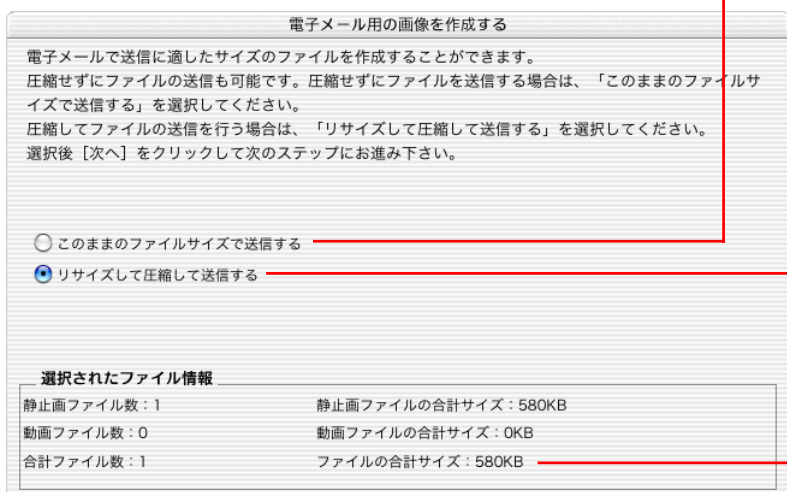
「*」の付いた機能は機種によってはお使いになれません。

この章では、ImageBrowserで保管している画像を、さまざまな場面で活用する方法を説明していきます。
ここでは、電子メール用の画像を作成する方法を説明します。

画像を電子メールで送信する

- 1 ブラウザエリアで送信したい画像を選択します。
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを使って複数の画像を選択することもできます。
- 2 [インターネット] メニューから [電子メール用の画像を作成する] を選択します。
- 3 送信の方法を選びます。

そのままのファイルサイズで送信する場合には選びます



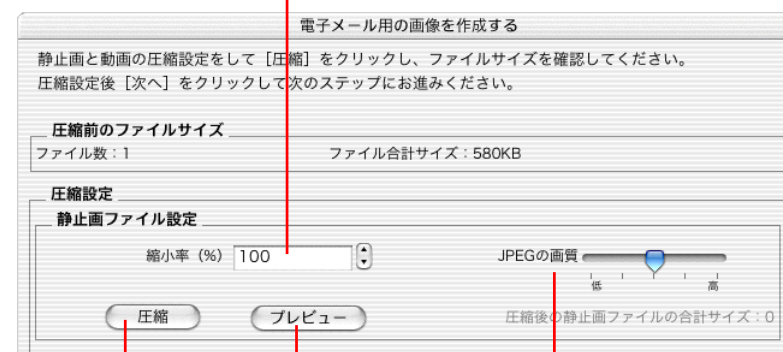
ファイルサイズを小さくする場合には選びます

ここで、送信するファイルの合計サイズを確認します

- 4 [次へ] をクリックします。
画質を設定するウィンドウが表示されます。ただし、[このままのファイルサイズで送る]を選択した場合は、画質設定のウィンドウは表示されませんので、手順7に進んでください。

- 5 縮小率と画質を設定します。

元の画像に対する縮小率を設定します
(50%で縦横とも半分の大きさとなります)



変更後の画像の状態を確認したいときにクリック

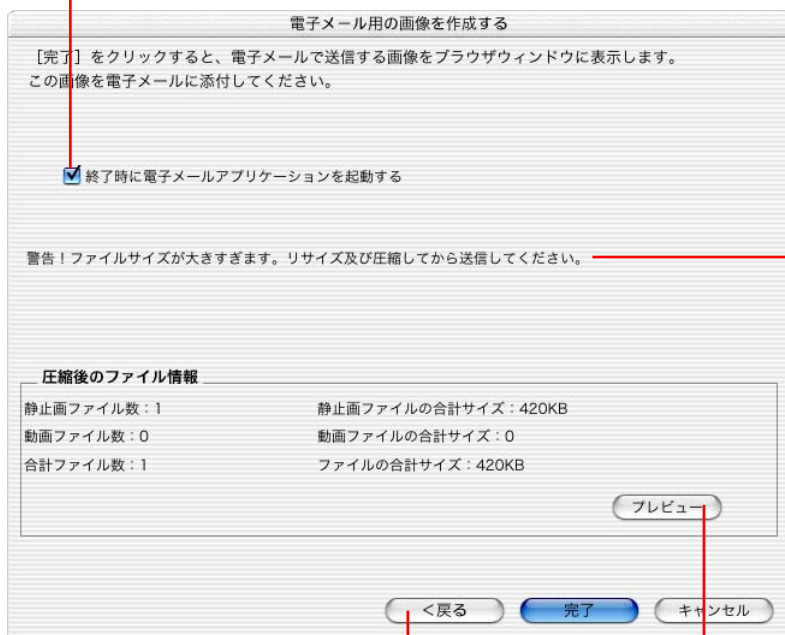
画質を設定します
(低くするほど画像は粗くなりますが、ファイルサイズは小さくなります)

実際に圧縮したときのファイルサイズを確認するときに使います (ファイルサイズは「変更後の合計ファイルサイズ」に表示されます)

- 6 [次へ] をクリックします。
最後のウィンドウが表示されます。

7 画像の保存後に、電子メールのソフトウェアを起動するかどうかを選択します。

画像保存後に、電子メールのソフトウェアを起動させたいときは、ここにチェックマークを付けます



ファイルサイズが大きいときは、警告メッセージが表示されます

ファイルサイズを変更したいときは、[戻る]をクリック

変更後の画像の状態を確認したいときにクリック

8 [完了] をクリックします。

- ・はじめて電子メール用の画像を作成した場合にはエクスプローラビューに「電子メール用画像」というフォルダが作成され、その中に画像が保存されます。すでに「電子メール用画像」フォルダが作成されている場合には、その中に画像が保存されます。

- ・手順7で [終了後に電子メールアプリケーションを起動する] を選択した場合には、この後、自動的に電子メールソフトウェアが起動します。ただし、お使いの電子メールソフトウェアによっては、自動起動できない場合もあります。新しいメールの画面を開き保存したばかりの画像を添付ファイルとして指定すれば、画像付きのメールが送れます。
- ・ブラウザエリアの画像を新規メールのウィンドウ内にドラッグアンドドロップするだけで添付することができます。

参 考

- ・自動起動する電子メールソフトウェアの変更
 - **Mac OS X v10.1/v10.2 の場合**
[システム環境設定]内の[インターネット]を選択し、[メール]タブの画面で設定します。
 - **Mac OS X v10.3 の場合**
起動ディスクの[アプリケーション]フォルダ内の[Mail]をダブルクリックしてMailを起動し、[Mail]メニューから[環境設定]を選択し、[環境設定]内の[一般]タブの画面で設定します。
 - **Mac OS 9 の場合**
コントロールパネルの[インターネット]を選択し、[電子メール]タブの画面で設定します。
- ・「電子メール用画像」フォルダの画像は、起動ディスクの「ユーザ」→「ユーザーのログイン名」→「ライブラリ」→「Preferences」→「ImageBrowserUserData」→「Mail」というフォルダに入っています。Mac OS 9の場合は、ImageBrowserをインストールしたフォルダ、または「書類」フォルダの「ImageBrowserUserData」→「Mail」というフォルダに入っています。

画像を書き出す (1 / 2)

ここでは、選択した画像を、大きさや解像度、ファイル形式などを変えて別の画像ファイルとして書き出す方法や撮影情報をテキストファイルに書き出す方法を説明します。

書き出し形式の種類

画像の書き出しの形式には、次の種類があります。

■ [画像を保存しなおす]

ファイル形式やサイズを変更して保存します。

ファイル形式は、JPEG 形式、PICT 形式、TIFF 形式、BMP 形式の4種類から選択できます。また、ファイル名の先頭に特定の文字を付加することもできます。

■ [撮影情報を書き出す]

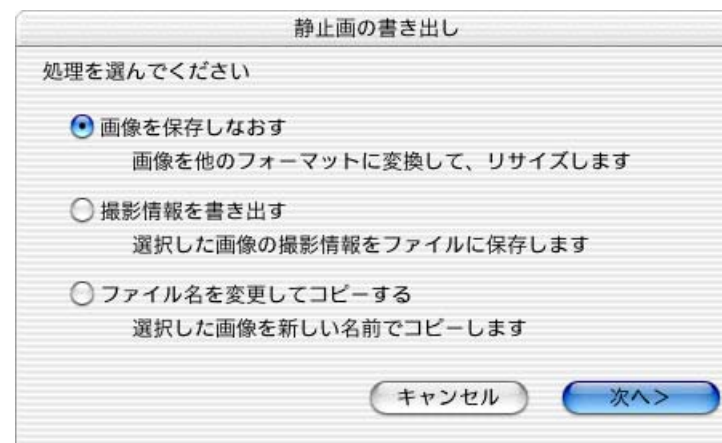
詳細な撮影情報の中から必要な情報を選択してその情報をテキストファイルとして書き出します。

■ [ファイル名を変更してコピーする]

選択している画像のコピーを保存します。このとき、ファイル名の先頭に特定の文字を付加することもできます。

画像を書き出す

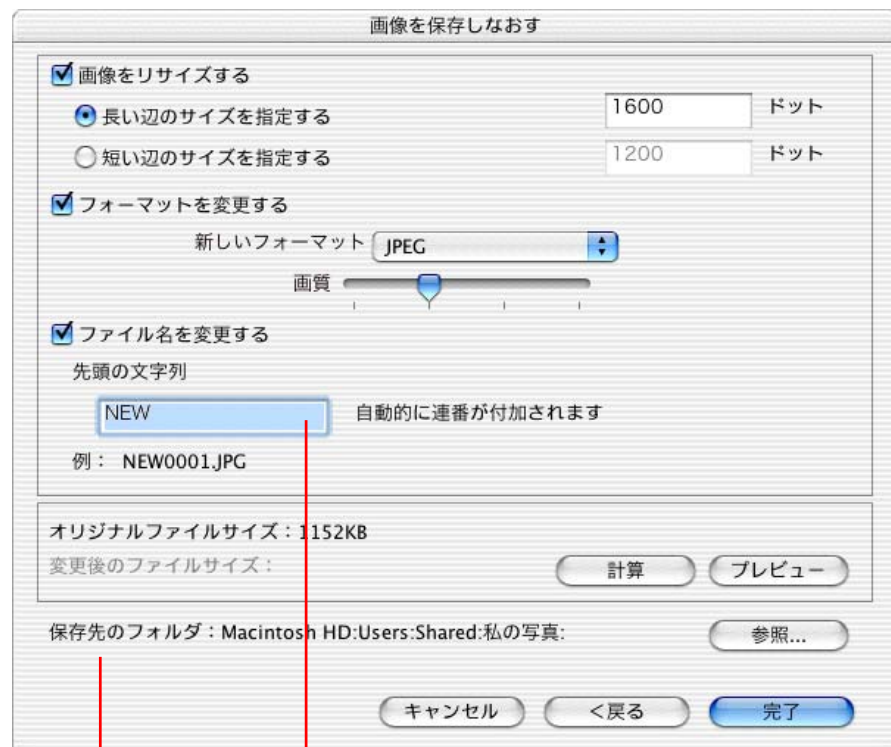
- 1 ブラウザエリアで書き出したい画像を選択します。
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを使って複数の画像を選択することもできます。
- 2 [編集]メニューから[静止画の書き出し]を選択します。
書き出し形式を選択するためのウィンドウが表示されます。
- 3 書き出しの形式を選択し、[次へ] をクリックします。



4 書き出しの設定を行います。
書き出しの設定内容は、書き出し形式によって異なります。画面の表示にしたがって設定を行ってください。

いずれの場合も、書き出し後、どこにファイルが書き出されたかわからなくなってしまうようにファイルの保存先やファイル名を確認しておいてください。

5 [完了] をクリックします。
これで画像が書き出されます。



保存先フォルダ ファイル名

選択した複数の画像を、画面いっぱいに連続して表示する「スライドショー」の使い方を説明します。

スライドショーを設定する

はじめに、どうい方法でスライドショーを進めていくかを設定します。

[表示]メニューから[スライドショーオプション]を選択し、表示方法を設定します。

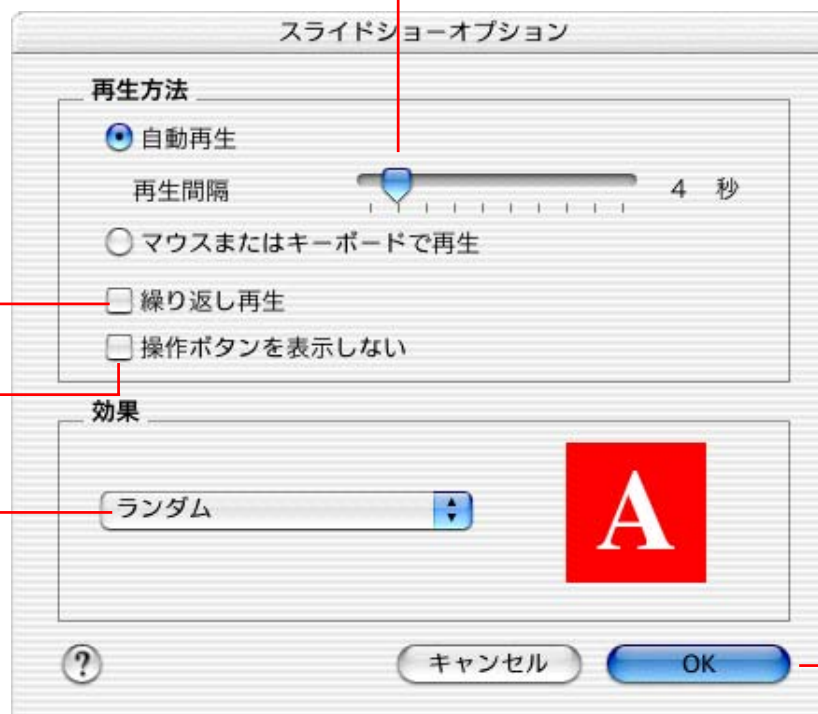
画像が表示された後、自動的に次の画像が表示されるようにする場合は[自動再生]を選択し、再生間隔の秒数を指定します。自動で進行しないようにする場合は[マウスまたはキーボードで再生]を選択します。

一通りのスライドショーが終了した後、再びはじめから開始するようにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます

スライドショーを実行している間、操作ボタンを表示しないようにしたい場合は、ここにチェックマークを付けます

画像の切り替え時に使用する効果を選択します(効果を選択すると、その効果が右のエリアで確認できます)

なお、「ランダム」は「ランダムにいろいろな効果を利用する」という意味です



設定が完了したら[OK]をクリックします


スライドショーを実行する

まず、スライドショーで表示したい画像を、ブラウザエリアで選択します。

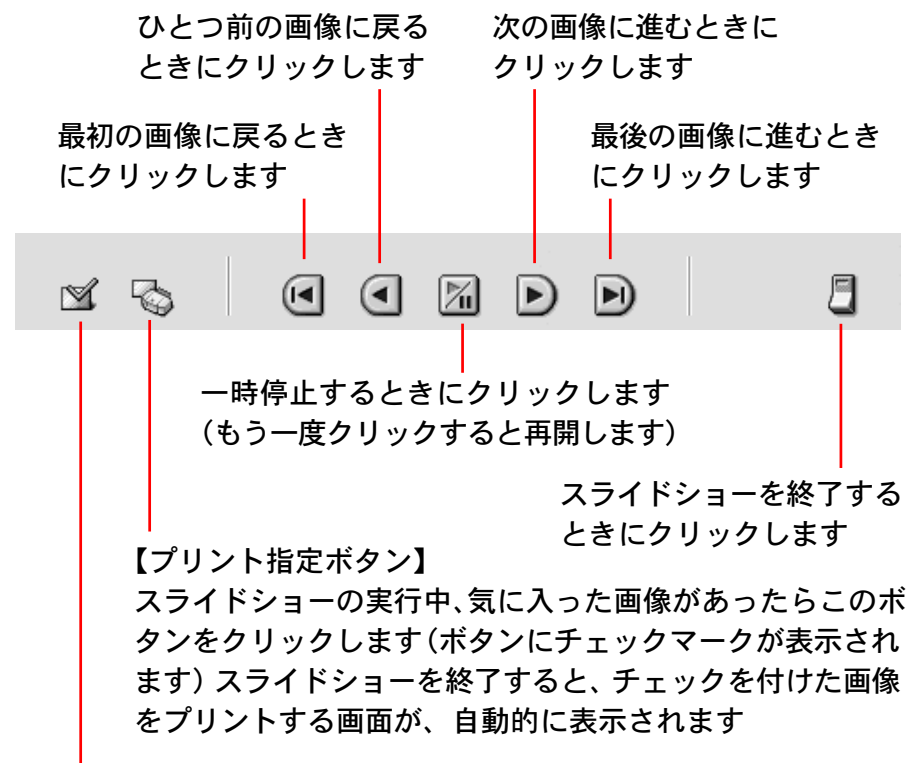
続いて [表示] メニューから [スライドショー] を選択すると、スライドショーがはじまります。



参 考

- ・フォルダの全画像をスライドショーで見る場合には、 (すべてを選択) ボタンを使うと便利です。

スライドショーの実行中には、画面下のボタンを使って次のような操作をすることができます。



【画像選択ボタン】

スライドショーの実行中、画像の選択/選択解除を行うときにこのボ
タンをクリックします(選択されている画像には、ボタンにチェッ
クマークが表示されます) スライドショーを終了すると、選択解除した
画像は、ブラウザウィンドウ上でも選択が解除されています
スライドショーで画像を拡大表示して必要な画像だけにチェックを付
け、スライドショーが終わったら、選択されている画像だけを別の
フォルダに入れるというような使い方ができます

[スライドショーオプション] のウィンドウで、[マウスまたはキーボードで再生] を選択した場合には、次の操作でスライドショーを進行させます。

■ 次の画像に進むとき

[return] キー、[→] キーを押す。
マウスをクリックする。*

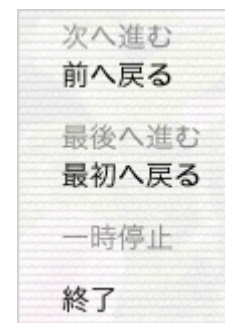
■ 前の画像に戻るとき

[←] キーを押す。
[shift] キーを押しながら、マウスをクリックする。*

■ スライドショーを終了するとき

[esc] キーを押す。

[スライドショーオプション] のウィンドウで、[操作ボタンを表示しない] を選択した場合には、[control] キーを押しながらマウスをクリックしてメニューを表示し、スライドショーを進行させます。([自動再生] を選択した場合でも、この操作は可能です)



参 考

- ・ [スライドショーオプション] のウィンドウで、[操作ボタンを表示しない] を選択した場合のみ、*印のマウス操作ができます。(操作ボタンが表示されているときは、マウス操作ができません)

画像にサウンドを付ける (1 / 2)

画像にサウンドを録音しておき、必要に応じてそのサウンドを再生することができます。

参 考

- ・ ImageBrowserのサウンドの録音は、Mac OSの録音機能を使います。機種によってはマイクなどの機材を用意し、[サウンド]コントロールパネルなどを使って、実際に録音ができる設定になっていることを確認しておいてください。

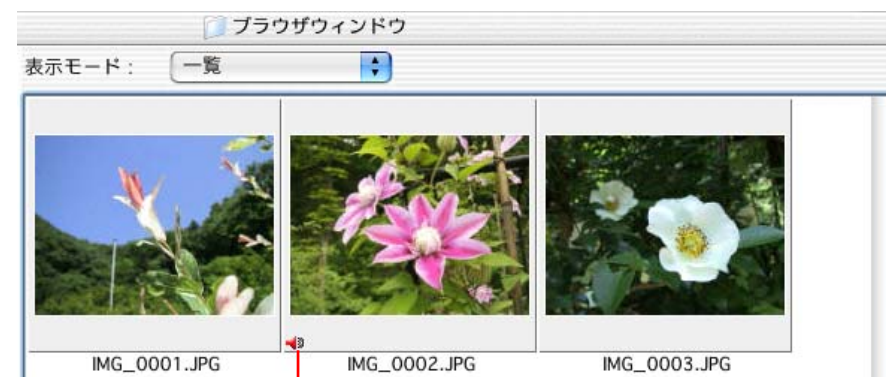
画像にサウンドを録音する

ブラウザエリアで画像を選択した後、[サウンド]メニューから[録音]を選択します。
次のようなウィンドウが表示されます。



● をクリックし、[保存] が表示されたら録音を開始します。
[保存] をクリックすると、録音が終了し、サウンドが保存されます。

これで画像にサウンドが付けられます。
サウンドの付いた画像には、次のようなマークが表示されます。



サウンドが付いていることを示すマーク

画像のサウンドを再生する

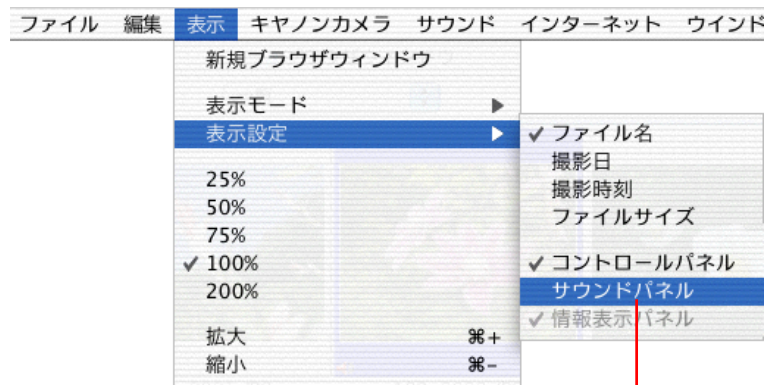
■ メニューを使って再生する

サウンドの付いた画像を選択した後、[サウンド]メニューから[再生]を選択すると、サウンドが再生されます。
また、再生中には[サウンド]メニューの[一時停止]や[停止]を使って、再生をコントロールすることができます。

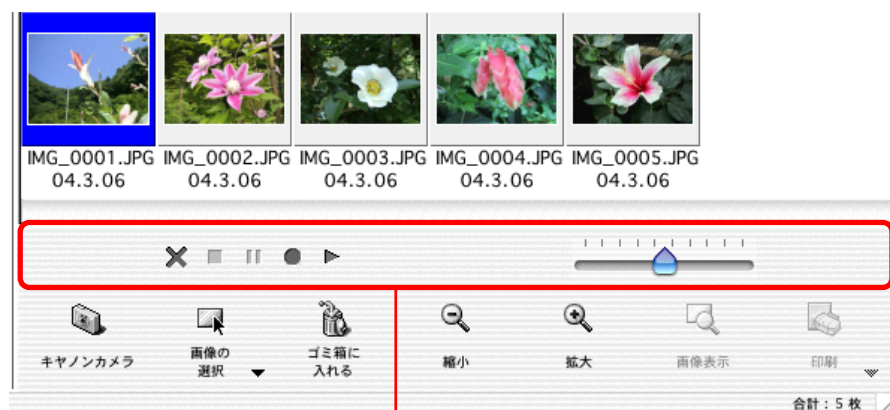
画像にサウンドを付ける (2 / 2)

■ サウンドパネルを使って再生する

[表示]メニューから[表示設定]を選択し、表示されたメニューから「サウンドパネル」を選択します。

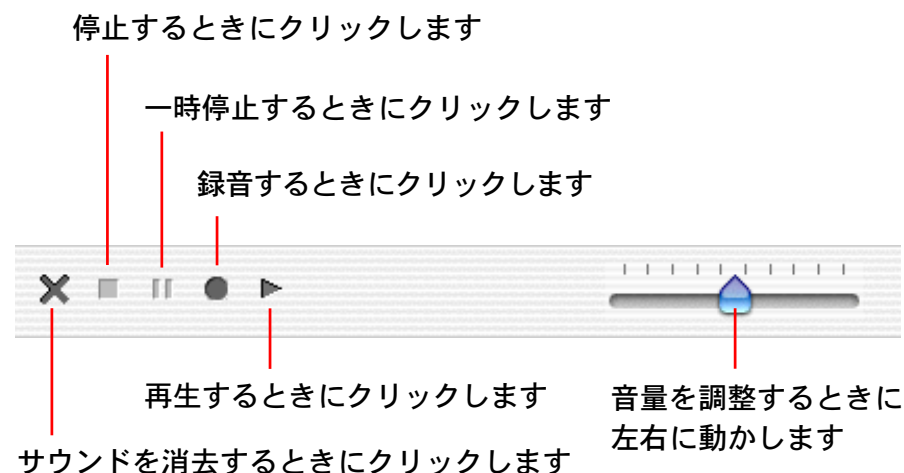


「サウンドパネル」を選択



サウンドパネルが表示されます

サウンドの付いた画像を選択した後、サウンドパネルを使って、次のような操作をすることができます。



参 考

- ・ 録音したサウンドを消去したい場合は、その画像を選択した後、[サウンド]メニューから[ゴミ箱に入れる]を選択するか、サウンドパネルの **X** をクリックします。
- ・ すでにサウンドが付いている画像を選択した後、[サウンド]メニューから[録音]を選択することで、新しいサウンドを録音することができます。
- ・ サウンドを録音すると、その画像ファイルと同じフォルダにサウンドファイル（ファイル名の末尾に「.AIF」という文字が付いたAIFF形式のサウンドファイル）が作成されます。

パソコンの中に保存されている「マイカメラコンテンツ」をカメラに登録したり、カメラに登録されている「マイカメラコンテンツ」をパソコンに保存する方法を説明します。

マイカメラコンテンツって？

カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音のことを「マイカメラコンテンツ」と呼びます。カメラ側のマイカメラコンテンツには好きな画像や音をパソコン側から登録することができます。

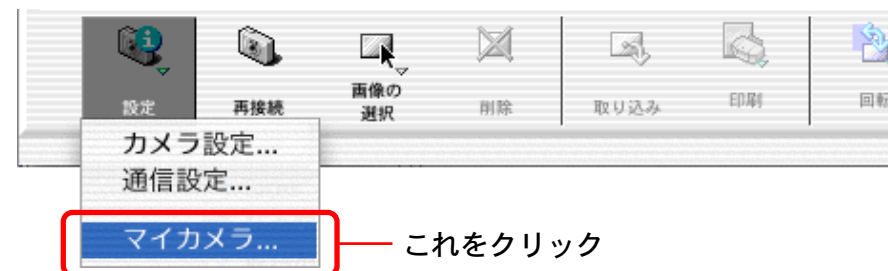
マイカメラコンテンツを表示する

ImageBrowserには、あらかじめいくつかのマイカメラコンテンツが用意されています。まずはじめに、このマイカメラコンテンツを表示してみましょう。

重要

- ・この操作を行う前に、カメラとパソコンがインターフェースケーブルで接続され、通信可能な状態になっていることを確認しておいてください。

- 1 カメラとパソコンを接続し、通信可能な状態にして、カメラウィンドウを表示します。
- 2 [設定] をクリックし、表示されたメニューで [マイカメラ] を選択します。



マイカメラの選択ウィンドウが表示されます。

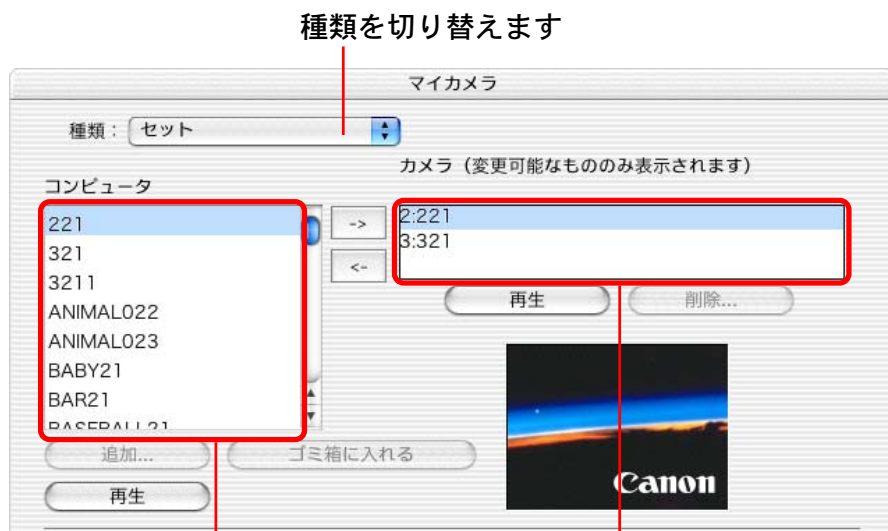
- 3 [起動画面・起動音・操作音・セルフタイマー音・シャッター音] を選択し、[OK] をクリックします。マイカメラウィンドウが表示されます。

マイカメラウィンドウの「種類」を切り替えてみてください。「コンピュータ」の一覧に、用意されているマイカメラコンテンツ（画像や音声ファイル）が表示されます。

また、[カメラ内を見る] をクリックすると、カメラ内のマイカメラコンテンツが表示されます。（変更できるコンテンツだけが表示されます）

参 考

- ・種類の「セット」は、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が、あるテーマにそってまとめられたものです。セットを変更することで、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を一括して変更することができます。



パソコン内にあらかじめ用意されているマイカメラコンテンツが表示されます

カメラ内に入っているマイカメラコンテンツが表示されます

マイカメラウィンドウの「コンピュータ」の一覧に表示されているコンテンツをカメラに登録することができます。

参考

- ・ [編集] メニューの [マイカメラ] を選択することでも、マイカメラウィンドウを表示することができます。
- ・ 種類で「セット」を選び、任意のセットをカメラに登録すると、「起動画面」「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を一括して変更することができます。
- ・ 「コンピュータ」の一覧に、新しいファイルをコンテンツとして追加することもできます。コンテンツを追加する方法については後述します。
- ・ あらかじめ用意されているマイカメラコンテンツは起動ディスクの「ユーザ」→「ユーザーのログイン名」→「ライブラリ」→「Preferences」→「ImageBrowserUserData」→「MyCameraFiles」に入っています。Mac OS 9の場合は、インストールしたドライブの「Canon Utilities」→「ImageBrowser」→「ImageBrowser.Info」→「MyCameraFiles」に入っています。ただし、システムが入っているディスクに「書類」フォルダがある場合は、「書類」→「ImageBrowser UserData」→「MyCameraFiles」に入っています。

コンテンツをカメラに登録する

ここでは、あらかじめ用意されているマイカメラコンテンツを、カメラに登録します。

1 マイカメラコンテンツの「種類」を選択します。

コンテンツの種類を選択します

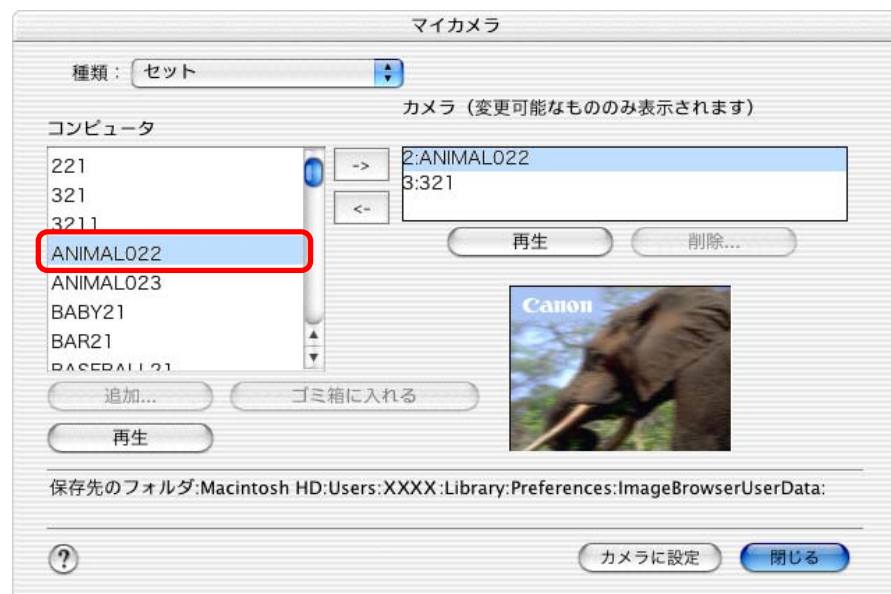


2 「コンピュータ」の一覧から、登録したいコンテンツを選択します。

起動画面の場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示されます。

音の場合は、コンテンツを選択すると、自動的に再生が実行されます。

セットの場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示され、「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が連続して再生されます。



3 「カメラ」で変更したいコンテンツを選択し、-> をクリックします。

確認の画面が表示されたら、[OK] をクリックします。これで「カメラ」のコンテンツが、「コンピュータ」で指定したコンテンツに置き換わります。すでに同じ名前のコンテンツが登録されている場合は上書きされます。

変更したいコンテンツを選択して



これをクリック

必要に応じて、手順1～3を繰り返して、登録したいコンテンツを置き換えます。

この段階では、ウィンドウ上での表示が変わるだけで、カメラ内のコンテンツは変更されていません。

4 [カメラに設定] をクリックします。
「カメラ」のコンテンツが、カメラに登録されます。



5 [閉じる] をクリックして、ウィンドウを閉じます。
これで、カメラへの登録は完了です。

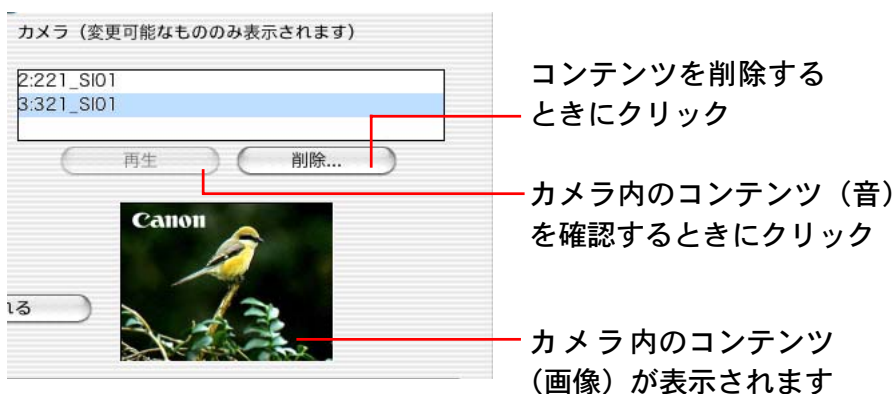
あとは、カメラ側で起動画面や起動音などの設定を変更してください。設定の変更については、カメラの説明書をご覧ください。

重要

- ・コンテンツをカメラに登録している最中は、インターフェースケーブルを抜いたり、カメラの電源を切るなど、通信を切断しないようにしてください。

参考

- ・「カメラ」に登録したコンテンツを削除するときは、削除したいコンテンツを選択し、[削除] をクリックします。
- ・[再生] をクリックすると、カメラ内のコンテンツ（音）を確認することができます。



新しいファイルをマイカメラウィンドウに追加する方法

マイカメラウィンドウに新しくコンテンツを追加するには次の2つの方法があります。

- ・画像や音声ファイルを新しく作成してパソコンに保存しそのファイルをマイカメラコンテンツとして追加する
- ・インターネット上のオンラインフォトサービス「CANON IMAGE GATEWAY」からマイカメラコンテンツ用ファイルをダウンロードして追加する

詳しい操作については、次の項から説明していきます。

ファイルを作成してから追加する

■ ファイルを作成する

はじめに、起動画面となる画像ファイルや起動音などに使う音声ファイルを作成し、パソコンに保存します。

● 起動画面用の画像ファイルを作成する

画像処理ソフトウェアを使って、画像ファイルを作成します。ファイルはJPEG形式で、横320×縦240画素、ファイル容量は20KB以下のサイズにします。

参 考

・画像処理ソフトの操作方法の詳細については各ソフトウェアのヘルプや説明書をご覧ください。

● 音声ファイルを作成する

音声は「11.025kHzまたは8.000kHz、8bit、モノラル」で録音し、ファイルはWAV形式にします。

また、カメラに登録できる音声ファイルの長さは、次の表を目安にしてください。

音の種類	秒数	
	11.025kHzのとき	8.000kHzのとき
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

Mac OS 9の場合は、OSに標準で添付されているSimpleSoundを使って音声を録音することができます。ただし、WAV形式ではファイルを保存できません。SimpleSoundで録音、保存した後、ArcSoft VideoImpressionなどを使って、サウンドをWAV形式に変換します。詳しい作成方法については、次の項で説明しています。

■ 音声ファイルを作成する手順 (Mac OS 9の場合のみ)

ここでは、SimpleSoundを使って音声を録音、保存し、ArcSoft VideoImpressionを使って、保存した音声ファイルをWAV形式に変換する方法を説明します。

- 1 SimpleSoundを起動します。
- 2 [ファイル]メニューの[新規]を選択します。録音パネルが表示されます。
- 3 [録音]をクリックします。



4 録音を終了するときは、[停止] をクリックします。

5 [保存] をクリックします。
保存のダイアログが表示されます。

6 ファイルを保存します。
ファイル名を指定し、[保存] をクリックしてください。
これで、録音した音声ファイルが保存されます。

参 考

- ・作成した音声ファイルは、システムが入っているディスクに保存してください。それ以外のディスクには保存することはできません。

7 [ファイル] メニューの [終了] を選択します。
SimpleSound が終了します。

8 ArcSoft VideoImpressionをインストールした先のディスク→ [VideoImpression] フォルダ→ [VideoImpression] アイコンをダブルクリックします。
ArcSoft VideoImpression が起動します。

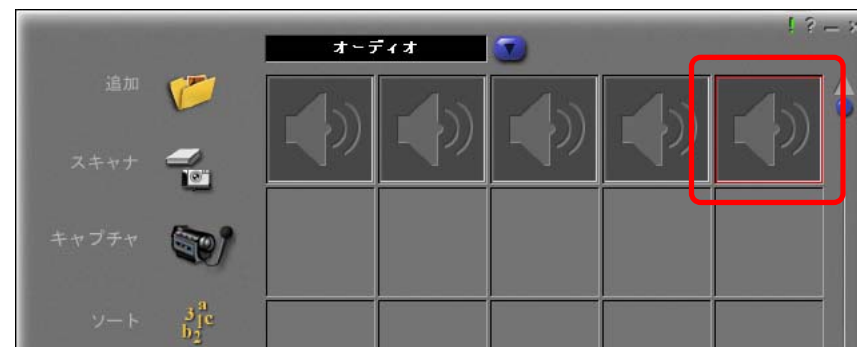
9 [新規] をクリックします。

10 リストボックスから [オーディオ] を選択し、[追加] をクリックします。

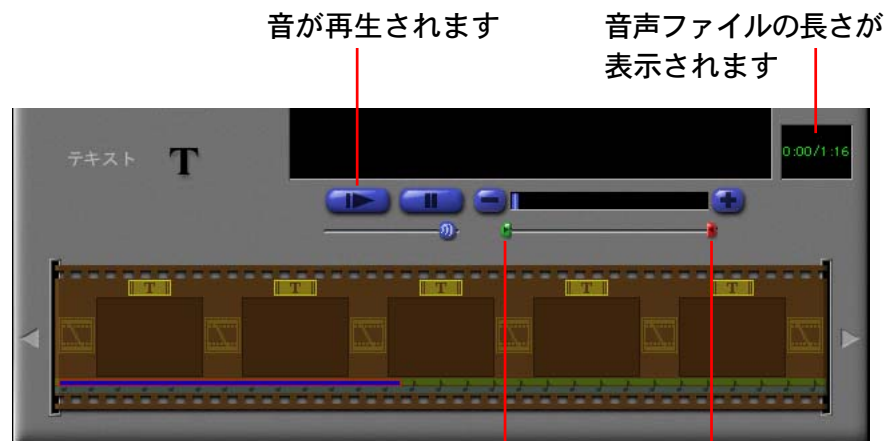


ファイルを開くダイアログが表示されたら、SimpleSoundで作成した音声ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
新しい音声アイコンが追加されます。

11 新しく追加された音声アイコンをダブルクリックします。
音声の編集画面に切り替わります。



- 12 音声ファイルの長さを編集します。
スタートマークとエンドマークの位置を変更し音声ファイルの長さを変更します。



音が再生されます

音声ファイルの長さが表示されます

緑色のスタートマークと赤色のエンドマークを左右に動かして、音声ファイルの長さを調整します

参 考

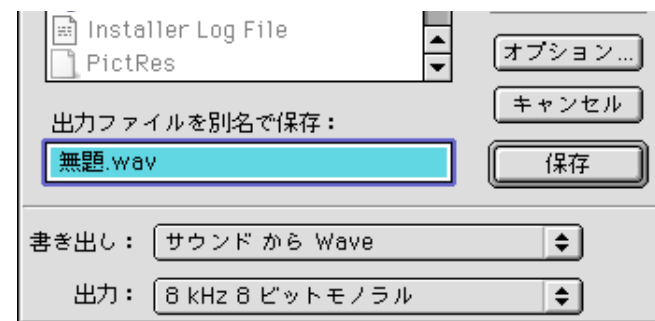
- ・マイカメラコンテンツ用の音声ファイルを作成する場合音の種類によって長さの条件が変わります。詳しくは、前々ページの表をご覧ください。

- 13 [ムービーの再生] をクリックします。
最初の画面に戻ります。

- 14 [保存] をクリックします。

- 15 [QuickTime] をクリックします。

- 16 次のように設定し、[保存] をクリックします。
ファイル名を指定し、「書き出し」では [サウンドから Wave] を選択し、「出力」では [8kHz 8ビット モノラル] または [11.025kHz 8ビット モノラル] を選択します。



17 [アルバムに追加] ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
これで、作成したファイルが保存されます。

18 [ファイル] メニューの [終了] を選択します。
ArcSoft VideoImpression が終了します。

参考

- ・ ArcSoft VideoImpression の操作方法の詳細については、ArcSoft VideoImpression のヘルプ（画面右上の「?」をクリックして開きます）をご覧ください。

- ファイルをマイカメラコンテンツとして追加する
ファイルを作成したら、マイカメラウィンドウに追加します。

1 マイカメラウィンドウを表示し、「種類」で追加したいコンテンツの種類を選択します。



2 [追加] をクリックします。



[追加] をクリック

参考

- ・ 「種類」に [セット] が選択されている場合、[追加] はグレイアウトしていてクリックできません。

3 ファイルを選択するウィンドウが表示されたら、あらかじめ作成してあるファイルを選択し、[開く]をクリックします。

指定したファイルがコンテンツとして「コンピュータ」の中に表示されます。



これで、コンテンツが追加できました。

ここで追加したコンテンツは、「コンテンツをカメラに登録する」と同じ操作でカメラに登録できます。

参 考

- ・コンテンツを削除するときは、削除したいコンテンツを選択し、[ゴミ箱に入れる]をクリックします。
- ・新しく作成したファイルだけでなく、すでに作成してある画像ファイルや音声ファイルも同じような操作でマイカメラコンテンツとして追加することができます。この場合も、追加できる画像ファイルと音声ファイルの条件は、「ファイルを作成してから追加する」の「ファイルを作成する」に記載されている条件と同じです。

CANON iIMAGE GATEWAY からコンテンツをダウンロードする

インターネット上のオンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」からマイカメラコンテンツ用ファイルをダウンロードすることができます（パソコンのディスクに保存できます）。ダウンロードされたコンテンツは自動的にマイカメラウィンドウに表示されます。

参 考

- ・「CANON iIMAGE GATEWAY」からマイカメラコンテンツをダウンロードする方法については、第7章の「画像や音声ファイルをダウンロードする」をご覧ください。

コンテンツをパソコンに保存する

カメラに登録されているマイカメラコンテンツを、パソコンのディスクに保存することができます。

1 マイカメラコンテンツの「種類」を選択します。


2 「カメラ」の一覧から、保存したいコンテンツを選択します。

起動画面の場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示されます。

音の場合は、コンテンツを選択すると、自動的に再生が実行されます。

セットの場合は、コンテンツを選択すると、右のエリアにプレビュー画像が表示され、「起動音」「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」が連続して再生されます。



3  をクリックします。

4 保存するコンテンツに名前を付け、[OK] をクリックします。

コンテンツがパソコンのディスクに保存されます。すでに同じ名前のコンテンツが登録されている場合は上書きされます。

必要に応じて、手順1～4を繰り返して、登録したいコンテンツを保存します。


5 [閉じる] をクリックして、ウィンドウを閉じます。これで、パソコンへの保存は完了です。

重要



- ・コンテンツをパソコンに保存している最中は、インターフェースケーブルを抜いたり、カメラの電源を切るなど、通信を切断しないようにしてください。

ここでは、プリントの操作を説明します。

プリントの設定ウィンドウを表示する

ブラウザエリアで画像を選択した後、 (印刷) をクリックし、表示されたメニューから [レイアウト印刷] を選択します。レイアウト選択ウィンドウと印刷ウィンドウが開きます。印刷ウィンドウでは、選択した画像が、自動的に並べられます。レイアウト選択ウィンドウではレイアウトを選択することができます。

参 考

- ・複数の画像を選択するときは [shift] キーまたは [option] + [shift] キーを押しながら、画像をクリックします。また、フォルダ内の全画像を選択する場合には、 (すべてを選択) ボタンを使うと便利です。
- ・カメラウィンドウの  (印刷) をクリックすることでも、プリントをはじめることができます。
- ・[ImageBrowser] メニューの [環境設定] (Mac OS 9 の場合は [編集] メニューの [プレファレンス]) の [印刷] で、「撮影日」や「ファイル名」などにチェックマークが付けられている場合には、印刷ウィンドウが開いた時点で、画像の「見出し」としてそれらの情報が画像の下に表示されます。



これをクリック

印刷ウィンドウ



レイアウト選択ウィンドウ

レイアウトを選択する

レイアウトには次の5種類があります。

■ 自由に並べて印刷

写真の大きさや位置を自由に指定してプリントします。

■ インデックス印刷

縮小画像 (サムネイル) の大きさを大、中、小のサイズから指定して、インデックスプリントをプリントします。

■ 固定サイズで印刷

すべての画像を指定したサイズ(L判や六つ切りなど) にそろえてプリントします。プリント後、カッターナイフなどで切り離すと、写真プリントのように仕上がります。

■ タイル状に敷きつめて印刷

1ページに何枚という指定に合わせて、紙全体にすきまなく画像をレイアウトしてプリントします。

■ キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷 (Mac OS 9 の場合のみ)

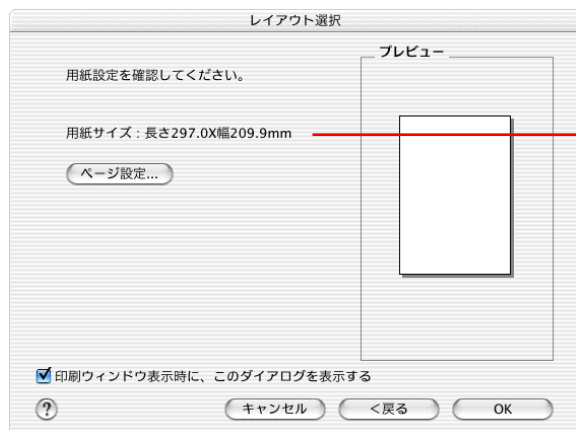
キヤノン純正のミシン目入り用紙に対応したプリンターをお使いの場合は、キヤノン純正のミシン目入り用紙にプリントすることができます。キヤノン純正のミシン目入り用紙はミシン目の入った用紙です。プリント後、ミシン目にそって切り離すことで、簡単に写真プリントのような写真ができあがります。

レイアウトを選択したら、[OK] をクリックします。



レイアウトを選択すると、右のエリアにプリントイメージが表示されます

次に表示されるウィンドウで、さらに細かい設定を行います。

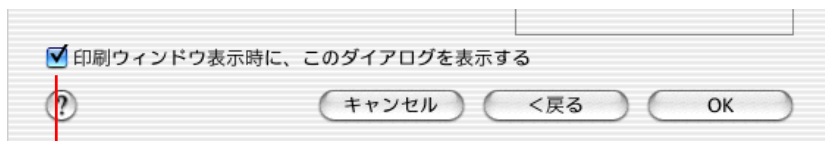


この部分でさらに細かい設定を行います (設定の内容は、選択したレイアウトによって異なります)

設定が終了したら、[OK] をクリックします。レイアウト選択ウィンドウが閉じられ、印刷ウィンドウで、レイアウトの変更やプリントの設定ができるようになります。


参考

- 印刷ウィンドウを表示するときにレイアウト選択ウィンドウを表示したくないときは、レイアウト選択ウィンドウで「印刷ウィンドウ表示時に、このダイアログを表示する」のチェックマークを外します。



このチェックマークを外します

参考

- レイアウト選択のウィンドウを再度表示するときは印刷ウィンドウで  (レイアウト選択) をクリックします。



画像を追加／消去する

ブラウザエリアやカメラウィンドウの画像を印刷ウィンドウにドラッグアンドドロップすると、プリントする画像を追加することができます。

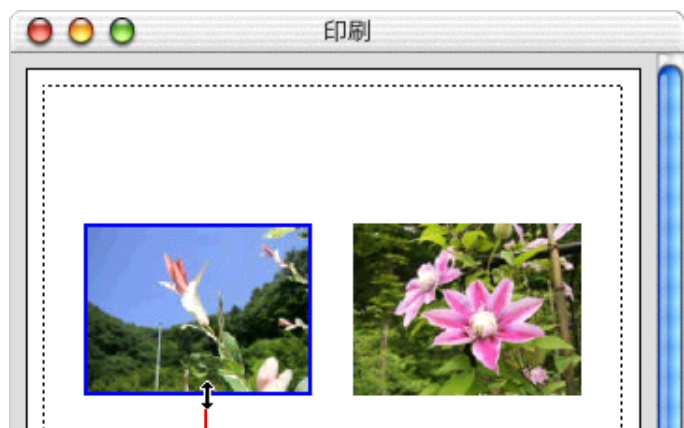
逆に印刷ウィンドウの画像を選択し、[編集]メニューから[クリア]を選択すると、印刷ウィンドウから画像を消去することができます。

画像の位置を動かす / 大きさを変える

「レイアウトの選択」で [自由に並べて印刷] を選択しているときには、次の操作で画像の位置や大きさを変更することができます。



画像をドラッグすることで、画像の位置を動かすことができます



画像の4辺の枠の部分をドラッグすることで、画像の大きさを変えることができます

並べ直す / 回転する / 1 ページの枚数を指定する

「レイアウトの選択」で [自由に並べて印刷] を選択しているときには、次の機能を使うことができます。



画像のサイズをそろえて、まっすぐに並べ直すときにクリックします

1 ページに収まる画像の枚数を指定します
この数値を変更すると画像が並べ直されます

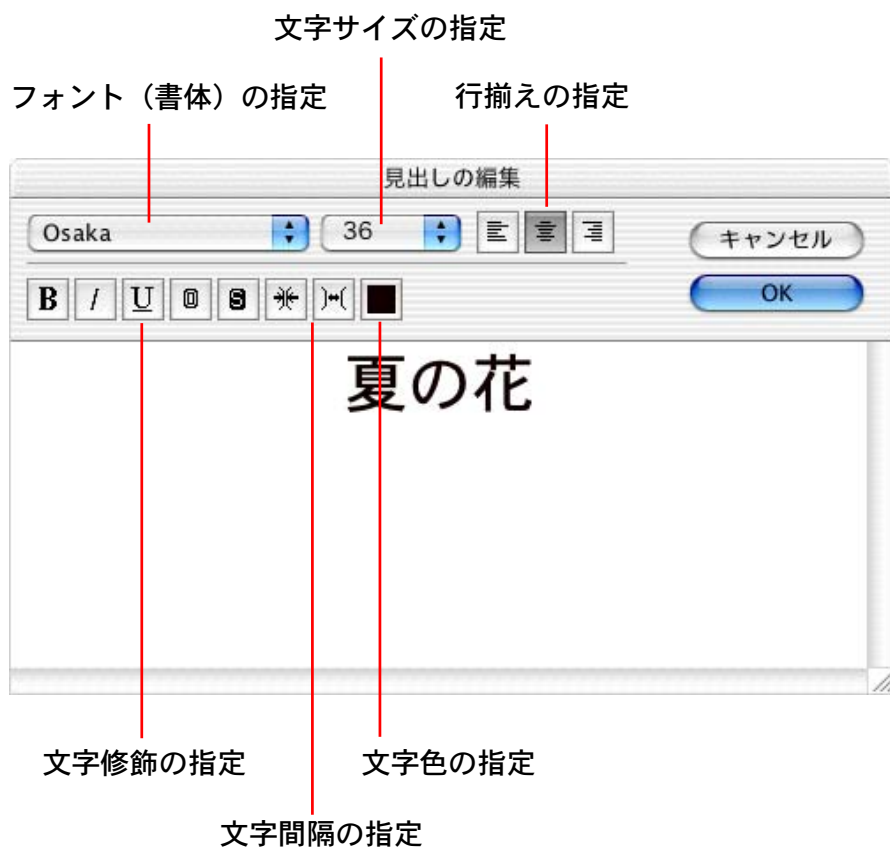
画像の向きを変えるときに使います
画像を選択した後、クリックし、メニューから回転方向を選択します

参 考

- ・ [編集] メニューの [画像の回転] サブメニューから回転方向を選択することもできます。

画像の見出しを入力する

画像の見出し（コメントなど）を入力することができます。画像を選択した後、[編集]メニューから[見出しの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。

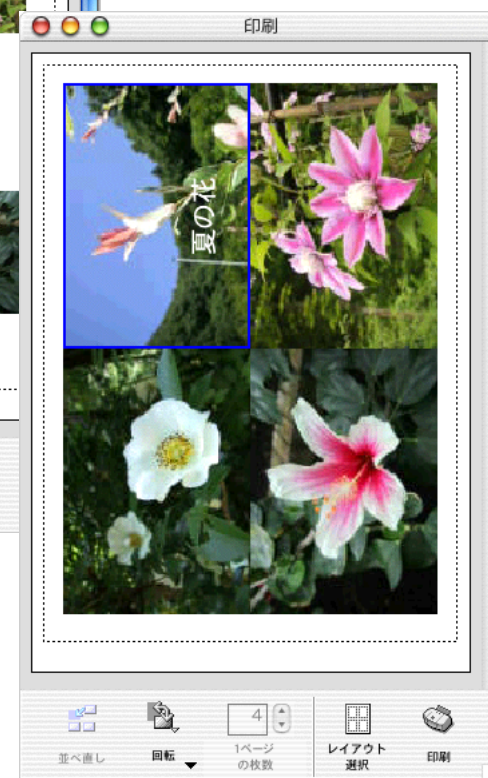


選択されているレイアウトの種類によって、「見出し」の表示される位置が異なります。

〔自由に並べて印刷〕の場合



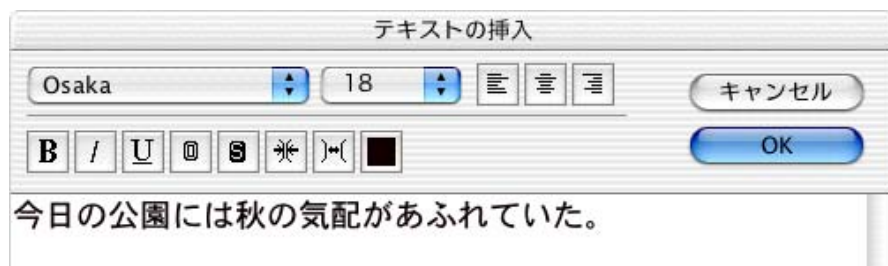
〔固定サイズで印刷〕の場合



文字を入力する

自由な位置に文字を入力します。

画像が何も選択されていない状態で、[編集]メニューから[テキストの挿入]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。



ページ中央に文字が表示されます。



文字の入った枠のことを「テキストボックス」と呼びます。このテキストボックスに対して、次のような操作ができます。

■ 移動する

テキストボックスをドラッグすることで表示する位置を動かすことができます。

■ 大きさを変える

テキストボックスの左右の辺をドラッグすることで、テキストボックスの幅を変えることができます。幅に応じて自動的に行数が変わります。

■ 再編集する

テキストボックスを選択し、[編集]メニューから[テキストの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示され、文字を編集することができます。また、テキストボックスをダブルクリックすることでも文字入力のウィンドウが表示されます。

ヘッダを入力する

ページのヘッダ（ページ全体の題名）を入力します。
画像が何も選択されていない状態で、[編集]メニューから[ヘッダの編集]を選択すると、文字入力のウィンドウが表示されます。文字を入力し、文字の書体や大きさ、飾りなどを指定した後、[OK]をクリックします。





ページの上部にヘッダが表示されます。

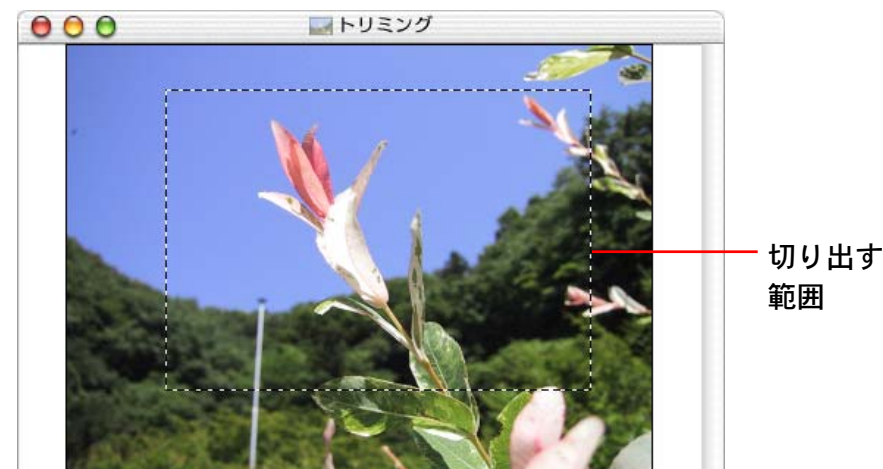


画像を複製する


画像を選択した後、[編集]メニューから[画像の複製]を選択すると、複製のウィンドウが表示されます。このウィンドウで、複製する数を指定し [OK] をクリックすると、選択した画像が指定した数だけ複製されます。

画像をトリミングする

「トリミング」は、画像の一部分を切り出す機能です。
画像を選択した後、[編集]メニューから[トリミング]を選択します。画像が表示されたら、ドラッグで切り出す部分の範囲を指定し、 (Mac OS Xの場合)、または  (Mac OS 9の場合) をクリックします。



プリントを実行する

印刷ウィンドウの設定が完了したら、 (印刷) をクリックします。




印刷 (またはプリント) のダイアログが表示されたら、プリンタの各種設定を行い、プリントを開始してください。

重 要

- ・ 画像の数や大きさによってはかなりプリントに時間がかかる場合があります。

参 考

- ・ [ファイル] メニューの [保存] を選択すると、作成したレイアウトを保存できます。
- ・ ブラウザウィンドウの  (印刷) をクリックし、表示されたメニューから [インデックス印刷] を選択すると、インデックス印刷の設定ウィンドウが表示されますサムネイルの大きさや用紙サイズなどの設定をし [印刷開始] をクリックすると、すぐにインデックス印刷が実行されます。
- ・ [ファイル] メニューの [印刷] サブメニューから [レイアウト印刷] や [インデックス印刷] を選択することでもプリントを開始することができます。

よりきれいにプリントする

ImageBrowser は、Exif 2.2 (愛称「Exif Print」) に対応しています。この機能を利用すると、画像に対して自動で最適な補正がかけられるため、よりきれいなプリントが仕上がります。

この機能を使う場合は、[ImageBrowser] メニューの [環境設定] (Mac OS 9 の場合は、[編集] メニューの [プレファレンス]) を選択し、[印刷] の [画像補正の設定] で、Exif 2.2 の設定を行います。そして、「画像をプリントする (1 / 8)」からの手順で画像をプリントします。

Exif 2.2 の設定については、付録の「環境設定について (3 / 3)」の「印刷」をご覧ください。

参 考

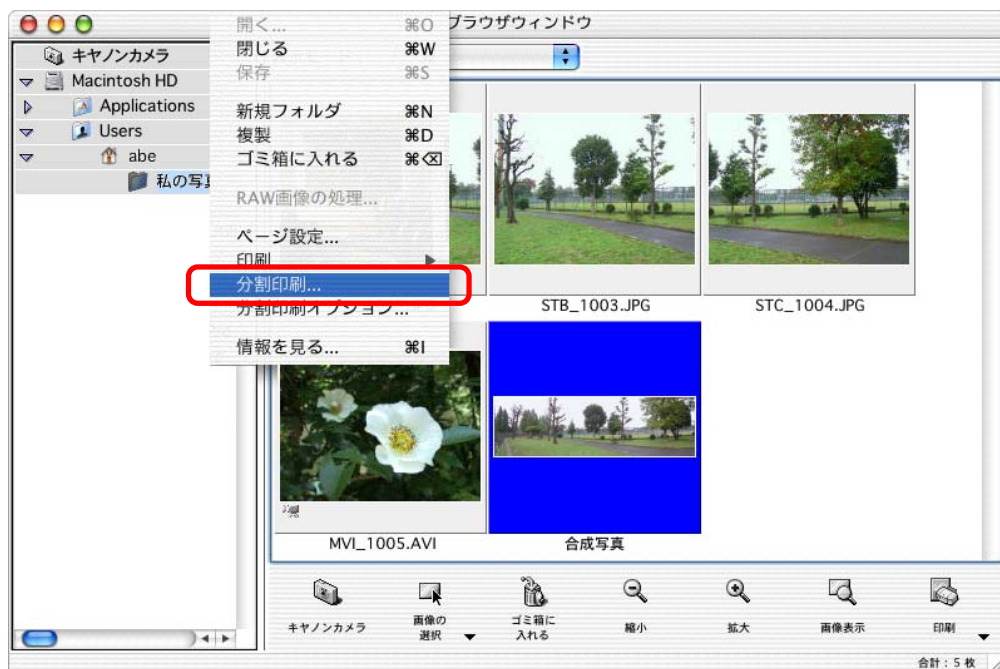
- ・ Exif 2.2 に対応したカメラで撮影した画像には、撮影状況、撮影シーンなど、撮影時の設定情報が埋め込まれています。Exif Print 補正では、これらの情報を使って、撮影時の状況により忠実な画像補正を行います。
- ・ 画像補正の設定は、ImageBrowser からプリントするすべての画像に適用されます。

画像を分割してプリントする

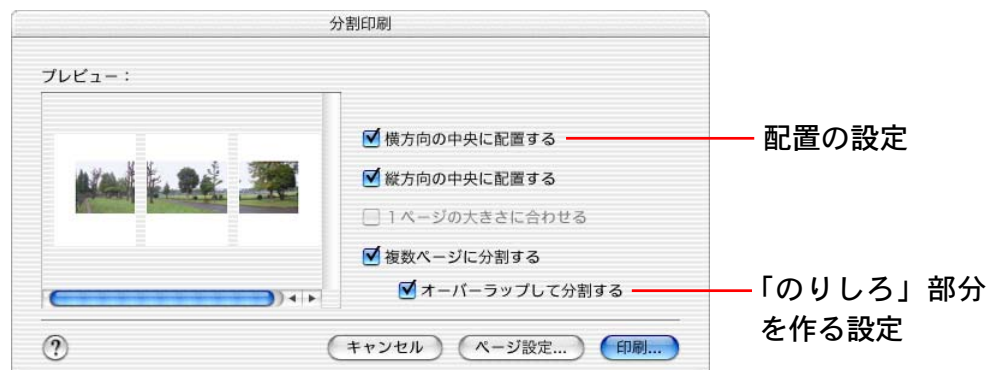
ここでは、「分割印刷」の操作を説明します。
分割印刷は、PhotoStitchなどで作成したパノラマ画像などを、複数のページに分けてプリントする機能です。プリントされた用紙をあとで貼り合わせれば、大きな写真が完成します。

分割印刷を行う

ブラウザエリアでプリントする画像を選択し、[ファイル]メニューから[分割印刷]を選択します。



表示されたウィンドウで設定を行った後、[印刷]をクリックして、プリントを実行します。



参 考

- ・プリントする大きさを変更するには分割印刷を行う前に設定が必要です。[ファイル]メニューから[分割印刷オプション]を選択すると、「印刷解像度」を設定するウィンドウが表示されます。この数値を小さくするほど大きな画像がプリントされます。逆に、この数値を大きくするほど小さな画像がプリントされます。



ここでは、画像を日時順にタイムトンネルのように表示する「TimeTunnel」(タイムトンネル)について説明します。

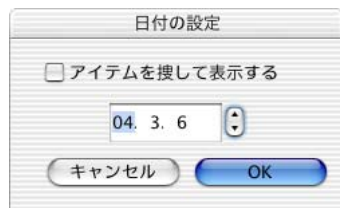
TimeTunnelで表示する

[表示] メニューの [表示モード] サブメニューから [TimeTunnel] を選択します。ブラウザエリアがTimeTunnelの表示に変わります。TimeTunnelを終了し元の表示に戻すときは、[表示モード] サブメニューから [一覧] を選択します。

TimeTunnelの操作

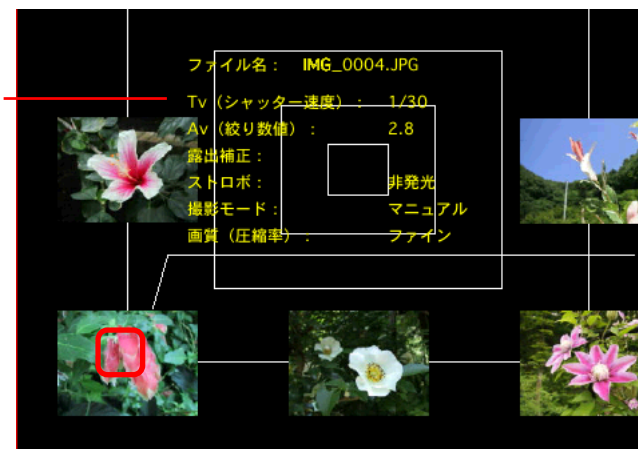
このTimeTunnelの画面では、次のような操作ができます。

赤色のライン上にある画像の撮影日時が表示されます。ここをダブルクリックすると、下のようなウィンドウが表示され、日時を指定して画像を表示させることができます。

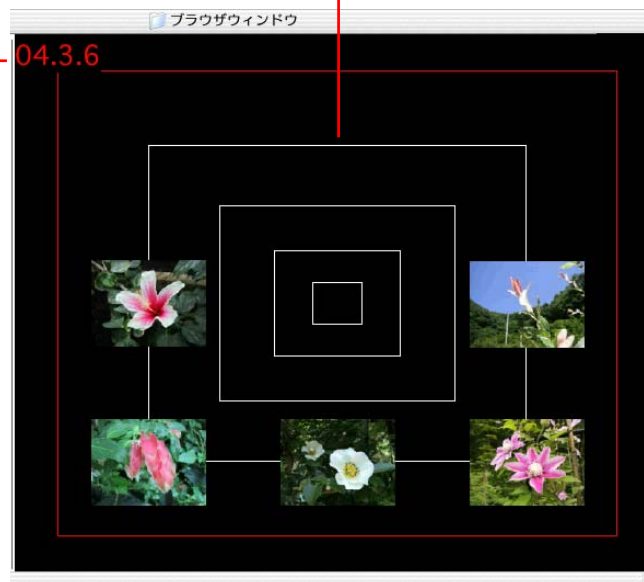


[アイテムを捜して表示する] にチェックマークを付けておくと、指定した日付に画像がなかった場合、一番近い日付の画像を表示します

画像にポインタを合わせて少し待つと、画像の情報が表示されます



画像をダブルクリックすると、その画像がウィンドウで表示されます



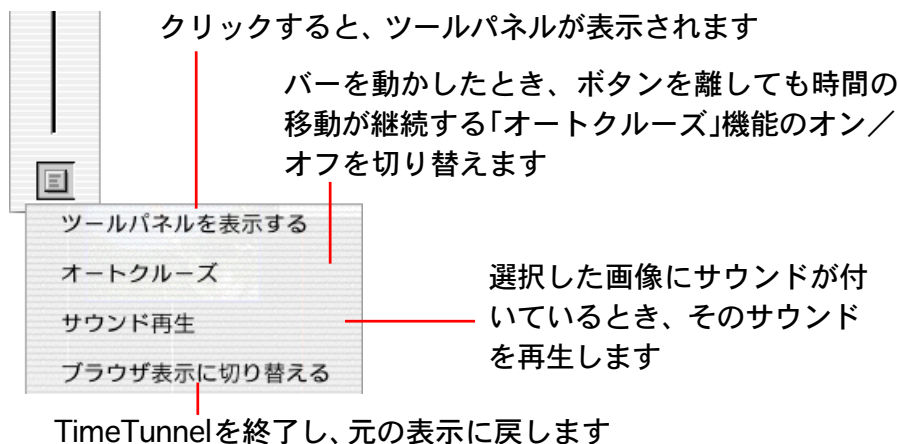
コントロールパネル

このバーを上ドラッグすると、トンネルが過去に進み、下ドラッグすると、現在に戻ります

クリックすると、メニューが表示されます (使い方については次ページで説明します)

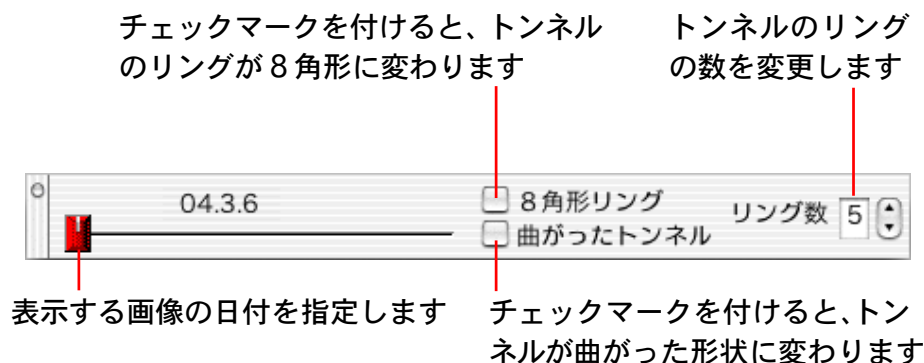
コントロールパネルのメニューの機能

TimeTunnelのコントロールパネルのメニューの機能です。



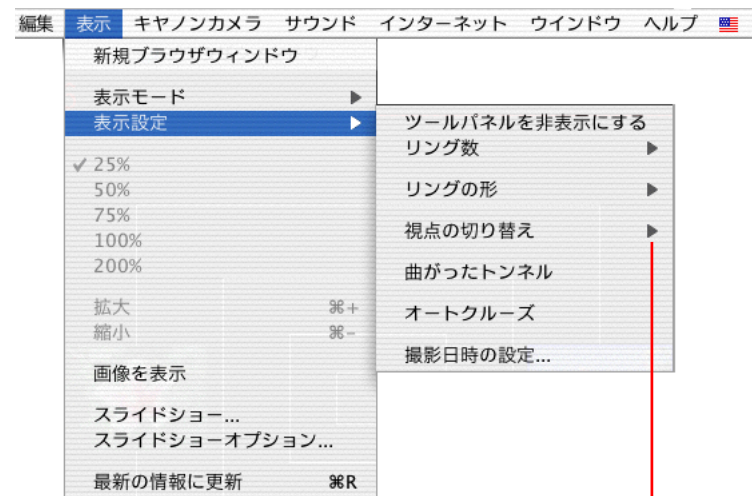
ツールパネルの機能

コントロールパネルのメニューから[ツールパネルを表示する]を選択すると、次のようなツールパネルが表示されます。



メニューから設定する

[表示]メニューの[表示設定]サブメニューから機能を設定することもできます。



このメニューで[マウスクリック位置]を選択すると、画面でクリックした位置が消失点（トンネルの向かう点）となります

動画を再生する

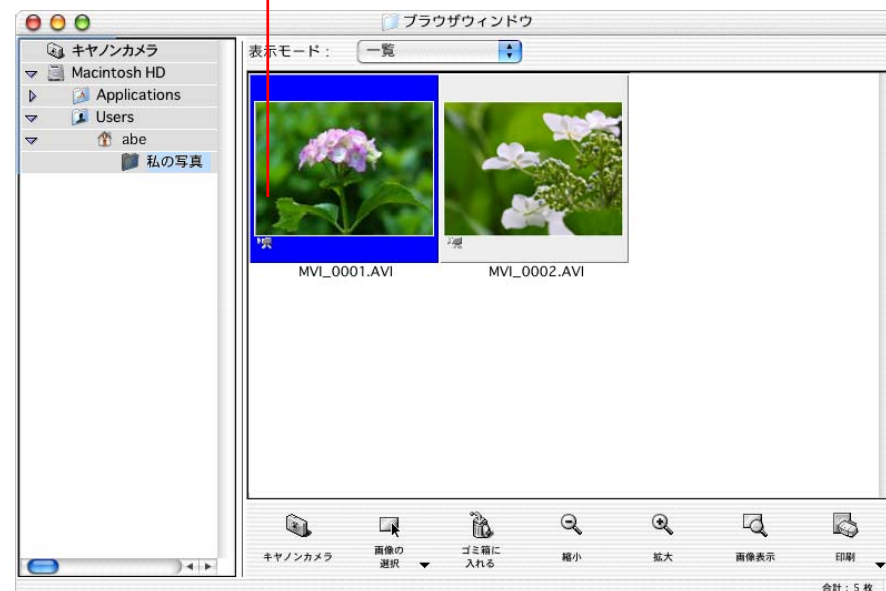
ImageBrowserで動画を扱うことができます。

動画の記録されているカメラをパソコンに接続しカメラウィンドウを開くと、カメラウィンドウには、動画ファイルの先頭のフレームの縮小画像(サムネイル)とビデオカメラのマークが表示されます。

この動画ファイルは、通常の画像のようにブラウザエリアに取り込むことができます。この場合、ブラウザエリアにはサムネイルとビデオカメラのマークが表示されます。

サムネイルをダブルクリックすると、QuickTime Playerが起動し、動画ファイルが再生されます。

サムネイルと動画を示すマーク



QuickTime Playerの
ウィンドウ

このボタンで再生します

パソコンに取り込んだ動画や静止画をつなげたり、タイトルなどの文字やBGMを挿入したり、さまざまな効果を付けたりして、動画を作成することができます。

動画を編集する操作

1 ブラウザエリアで編集したい画像(動画または静止画)を選択します。

複数の動画や静止画を選択できます。

2 [編集]メニューから[動画編集]を選択します。

3 画面中段のタブに表示される手順にしたがって、動画を編集し、最後に保存します。

各画面での機能や操作方法については次ページから説明していきます。

参 考

- ・ [MovieEdit Task] メニューから [環境設定] を選択すると、動画編集に関する初期設定を行うことができます。

この手順にしたがってタブを切り替えながら操作を進めていきます

ガイダンス

詳しい操作方法を知りたいときは、このボタンをクリックします



ストーリーボードエリアのサムネイルの大きさを変更することができます

トランジションボックス
となり合った画像と画像のつなぎ目に使われる
特殊効果のマークが表示されます

ストーリーボードエリア
選択した画像のサムネイルが表示されます
左端の画像から、右方向へ順番に画像がつながります

[1. 並び替え] 画面の機能

編集中の動画全体を再生します

選択した画像を、左または右に1つ動かします

画像を追加します

選択した画像のプロパティを表示します



選択した画像をストーリーボードから削除します

動画を選択してこのボタンをクリックした場合には、動画の再生範囲（再生開始と終了）を設定することができます

静止画を選択してこのボタンをクリックした場合には、静止画の表示時間を設定することができます

[2. 効果] 画面の機能

ストーリーボードエリアで選択した画像にタイトルなどの文字を書き込みます

文字のフォントを指定したり、表示時間、表示位置、文字のスクロールなどを設定することができます

ストーリーボードエリアで選択した動画または静止画を、セピア調やモノクロに変換したり、フィルムのようなノイズを加えたりすることができます



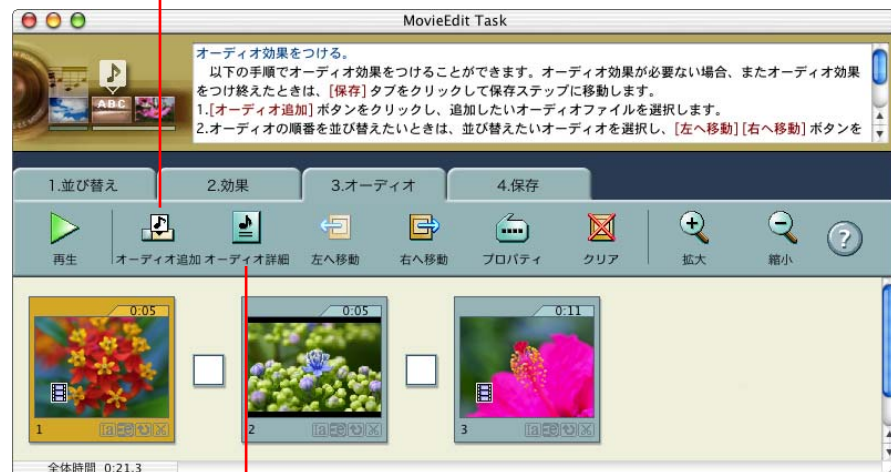
選択した画像を回転させたり、反転させたりすることができます

ストーリーボードエリアでトランジションボックスを選択してこのボタンをクリックすると、その前後の画像が切り替わる時の効果を設定することができます

[3. オーディオ] 画面の機能

MP3形式やAIFF形式、WAV形式の音声ファイルを、BGM(バックグラウンドミュージック)や効果音として追加することができます

この操作で音声ファイルを追加した場合にはストーリーボードエリアのサムネイルの下に音声ファイルの持続時間を示すバーが表示されます



動画、または追加した音声ファイルを選択してこのボタンをクリックすると、動画や音声ファイルの音量を調整したり、フェードイン(徐々に音量が上がる)やフェードアウト(徐々に音量が下がる)の設定を行うことができます

[4. 保存] 画面の機能

ファイル名、保存先を指定して保存を実行する画面に進みます



動画ファイルの詳細を設定することができます

動画のファイル形式を [Motion-JPEG AVI] または [QuickTime 形式] から選択します

最も一般的な設定で保存したい場合は、ここにチェックマークを付けます (ここにチェックマークを付けた場合は、[オプション] ボタンは使用できなくなります)

お使いのカメラが、RAW 画像に対応している場合には、より高画質な状態の画像を扱うことができます。

ただし、RAW 画像は特殊なファイル形式のため、そのままでは画像処理ソフトウェアなどで開いたりすることはできません。一般的な画像のファイル形式に変換するためには、「現像」という処理 (TIFF や JPEG 形式に変換して保存する処理) が必要になります。ここでは、現像の方法について説明します。

重要

- ・ お使いのカメラがRAW画像に対応しているかどうかについては、製品に付属の説明書をご確認ください。
- ・ お使いのカメラによっては、RAW 画像を現像するとき、ここで紹介しているソフトウェアと異なるソフトウェアが起動する場合があります。その場合は、お使いのカメラに付属のソフトウェアの説明書をご覧ください。

参考

- ・ RAW 画像は、圧縮処理による劣化がまったくない非常に高画質な画像です。

RAW 画像を現像する

- 1 ブラウザエリアでRAW 画像を選択します。
- 2 [ファイル] メニューから [RAW 画像の処理] を選択します。
次のような、メインウィンドウ、ナビゲータウィンドウ、画質調整ウィンドウが表示されます。

参考

- ・ ナビゲータウィンドウや画質調整ウィンドウが表示されない場合は、[表示] メニューの [ナビゲータ表示] または [画質調整ウィンドウ表示] をクリックします。

■ メインウィンドウ

このウィンドウで、現像処理を行います。



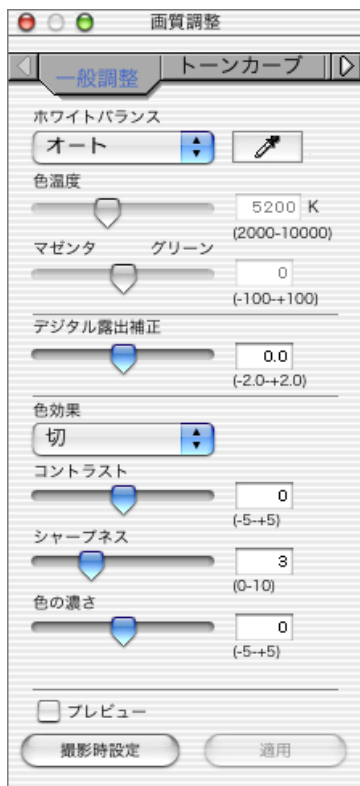
RAW 画像を現像する (2 / 4)

ナビゲータウィンドウ



メインウィンドウのプレビュー画像を拡大表示しているときに、この赤い枠をクリックしたまま移動すると、プレビューに表示される部分を変更することができます

画質調整ウィンドウ



RAW 画像を現像するときに、明るさやコントラスト、色合いなどを調整することができます。詳しくは、次ページの「画質調整ウィンドウの機能」で説明します。

3 必要に応じて、画質調整ウィンドウで画質を調整します。

4 メインウィンドウの [2. 保存] タブをクリックし、ファイル形式や保存先を設定した後、[保存] をクリックします。

同じ設定で保存する画像（すべての画像、またはメインウィンドウでチェックマークを付けた画像）を選択します

画像ファイルの形式を選択します

画像ファイルの保存先を設定します

画像ファイル名を変更することもできます



5 [3. 終了] タブをクリックし、[OK] をクリックします。

RAW 画像を現像する (3 / 4)

画質調整ウィンドウの機能

画質調整

一般調整 トーンカーブ

ホワイトバランス

オート

色温度 5200 K (2000-10000)

マゼンタ グリーン 0 (-100+100)

デジタル露出補正 0.0 (-2.0+2.0)

色効果 切

コントラスト 0 (-5+5)

シャープネス 3 (0-10)

色の濃さ 0 (-5+5)

プレビュー

撮影時設定 適用

ホワイトバランスを光源や色温度などで調整します

露出補正、色効果、コントラスト、色の濃さ、シャープネスを調整します

ここにチェックマークを付けておくと、上の設定を変更した後すぐにその結果が画面に反映されるようになります

すべての調整内容を撮影時の設定に戻します

[トーンカーブ] タブ
RGB 全チャンネル、または各チャンネルごとのレベルを調整することができます

[詳細調整] タブ
適応ノイズ制御、偽色緩和処理の設定や、出力する色空間の設定を行うことができます(三角マークをクリックすると表示されます)

あらかじめ用意されている色合いやマイカラーとして登録した色合いをここから選択します(マイカラーについては、次ページで説明します)

設定が、表示されている画像に反映されます

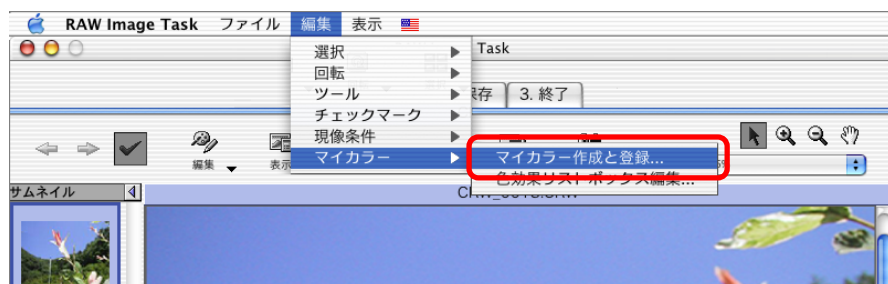
自分好みの色合い（マイカラー）を登録する

自分好みの色合いを「マイカラー」として登録しておく、RAW 画像の現像時に、他の画像にも簡単に適用することができます。

重要

- ・マイカラーを登録するためには、「色を調整する前の画像」と「色を調整した後の画像」という2枚の画像が必要です。ImageBrowserの画像編集などの機能を使って、あらかじめ2枚の画像を用意しておいてください。2枚の画像は、BMPまたはTIFF、JPEGの形式で保存しておきます。

- 1 [編集]メニューから[マイカラー]を選択します。
- 2 表示されたメニューから[マイカラー作成と登録]を選択し、[次へ]をクリックします。

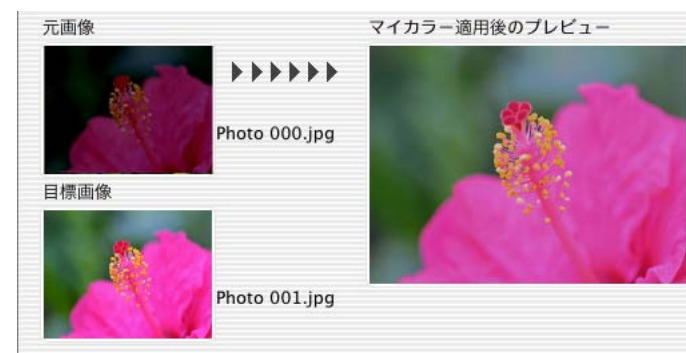


- 3 元画像の[選択]をクリックし、色を調整する前の画像（元画像）を選択し、[次へ]をクリックします。



- 4 目標画像の[選択]をクリックし、元画像を画像処理ソフトなどで自分好みの色合いに編集した後の画像（目標画像）を選択し、[作成]をクリックします。

元画像と目標画像の色合いの変化が計算されあらためて元画像にその計算結果が反映された画像が[マイカラー適用後のプレビュー]に表示されます。



- 5 [マイカラー適用後のプレビュー]を確認し、[次へ]をクリックします。
- 6 [登録する名前]や[コメント]を入力し、[完了]をクリックします。

参考

- ・登録したマイカラーは、画像調整ウィンドウの[色効果]メニューから選択し、他のRAW画像の現像時に適用することができます。

パソコン側から、接続されているカメラのシャッターを操作する「リモート撮影」について説明します。

重要

- ・お使いのカメラがリモート撮影に対応しているかどうかについては、製品に付属の説明書をご確認ください。
- ・リモート撮影を行う前に、カメラとパソコンが通信できる状態になっていることを確認してください。また、レンズカバーがあるカメラの場合は、レンズカバーを開いておいてください。
- ・リモート撮影は、必ずパソコンのスリープ設定を解除してから始めてください。お使いのパソコンがスリープ状態になるよう設定されていると、スリープ状態に入ってから動作は保証されません。
- ・リモート撮影を行うときは、カメラウィンドウを閉じてください。
- ・リモート撮影でカメラをコントロールしている間ズームも含め、シャッターボタン以外のボタンやスイッチは使えません。
- ・リモート撮影は、通常のカメラでの撮影に比べ、シャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間が若干長くなります。

参考

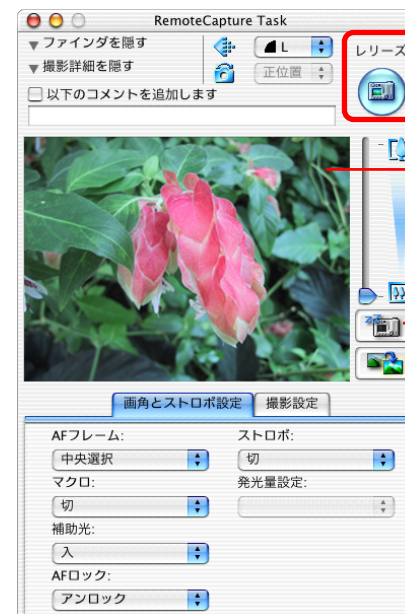
- ・リモート撮影の詳しい操作方法については、ヘルプ(リモート撮影のウィンドウの[ヘルプ]メニューから開きます)をご覧ください。
- ・リモート撮影で撮影された画像は、リモート撮影をはじめた時点で選択されていたフォルダに保存されます。

リモート撮影の操作

カメラとパソコンとの接続、およびカメラが通信可能な状態になっていることを確認した後、[編集]メニューから[RemoteCapture]を選択します。



次のようなりモート撮影のウィンドウが表示されます。このウィンドウの[リリース]ボタンをクリックすると、撮影が実行されます。



ここには、カメラのとらえている映像が表示されます

この表示のオン/オフは、このボタンで切り替えます

リモート撮影のウィンドウの機能

撮影する画像のサイズと画質を選択します

撮影する画像の回転を設定します
お使いのカメラで [縦横自動回転] 機能を [入] にした場合は、
この項目の設定はできません。

ビューファインダーや詳細設定の部分
の表示/非表示を切り替えます

ここにチェックマークを付け、下の欄
に文字を入力することで、画像にコメ
ントを付けることができます



シャッターを切ります(カメラのシャッターボタンまたは
キーボードのスペースキーを押しても撮影できます)

ビューファインダー

カメラのズームを設定します

ビューファインダー表示のオン/オフを切り替えます

露出、ピント、ホワイトバランスを取り直します (このボタンを
クリックしないかぎり、露出、ピント、ホワイトバランスは固定
されたままとなります)

撮影に関する設定を行います
[画角とストロボ設定] タブと [撮影設定] タブに分かれています
(表示される項目は、お使いのカメラによって異なります)

リモート撮影のその他の機能

■ インターバルタイマー撮影

インターバルタイマー撮影とは、一定間隔の時間を置いて、指定した枚数を撮影する撮影方法のことです。

[編集] メニューから [インターバルタイマー撮影] を選択すると、左のようなウィンドウが表示されます。各数値を設定して [開始] をクリックします。なお、撮影間隔の設定範囲は、5 秒から 60 分です。



参 考

- ・ インターバルタイマー撮影で撮影間隔の時間設定が短いと画像の転送や保存が間に合わず設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。

■ タイマー撮影

タイマー撮影とは、何秒後に撮影するかを指定して撮影する撮影方法のことです。

[編集] メニューから [タイマー撮影] を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。秒数を設定して [開始] をクリックします。なお、タイマー設定範囲は、2 秒から 30 秒です。



■ 撮影設定の保存と呼び出し

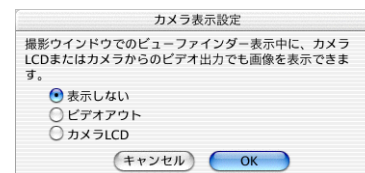
[ファイル] メニューから [撮影設定値を保存] を選択すると、その時点のズームの設定や [画角とストロボ設定] タブや [撮影設定] タブの各設定が保存されます。

後で、その設定を呼び出したいときは、[ファイル] メニューから [一括撮影設定] を選択します。

■ カメラの液晶モニターに被写体を表示する

カメラの液晶モニターやカメラに接続したテレビに被写体を表示した状態でリモート撮影ができます。

[ファイル] メニューから [カメラ表示設定] を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。



[カメラLCD] または [ビデオアウト] を選択し、[OK] をクリックします。

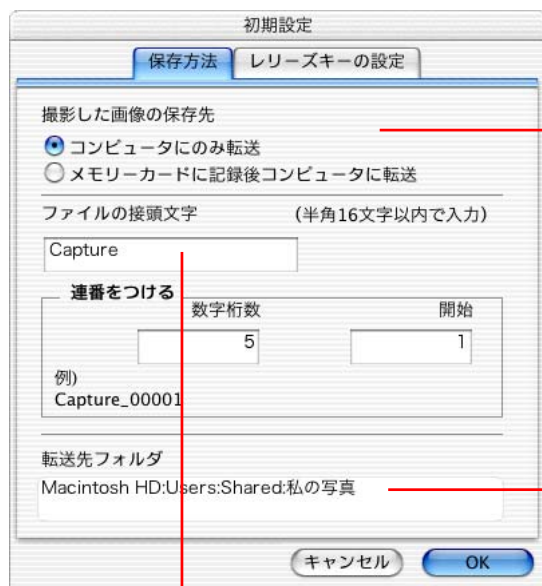
参 考

- ・ カメラとテレビの接続については、「カメラユーザーガイド」をご覧ください。

リモート撮影の初期設定

[RemoteCapture Task] メニューから [環境設定] (Mac OS 9の場合は [ファイル] メニューから [初期設定]) を選択すると、初期設定のウィンドウが表示されます。

■ [保存方法] タブの設定項目



撮影した画像をパソコンだけに保存するか、カメラ内のメモリーカードにも保存するかを設定します

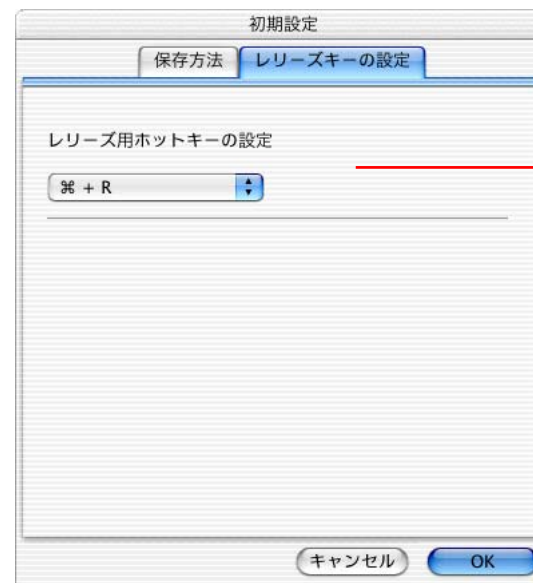
撮影した画像が保存されるフォルダ (リモート撮影を開始した時点で選択されていたフォルダです)

画像を保存するときのファイル名を設定します
たとえば「Capture」と入力すると、保存されるファイル名には「Capture_00001.jpg」から始まる連番のファイル名が、自動的に付けられます
また、連番の桁数や開始番号も変更できます

参考

- ・「撮影した画像の保存先」で [コンピュータにのみ転送] を選択すると、カメラにメモリーカードを入れていない状態や、カメラ内のメモリーカードがいっぱいで画像を記録できない状態でも、撮影できます。

■ [リリースキーの設定] タブの設定項目



ここで指定したキーでリリースすることができます

パノラマ画像を合成する – PhotoStitch

ここからは、ImageBrowserから呼び出して利用するソフトウェアについて説明していきます。

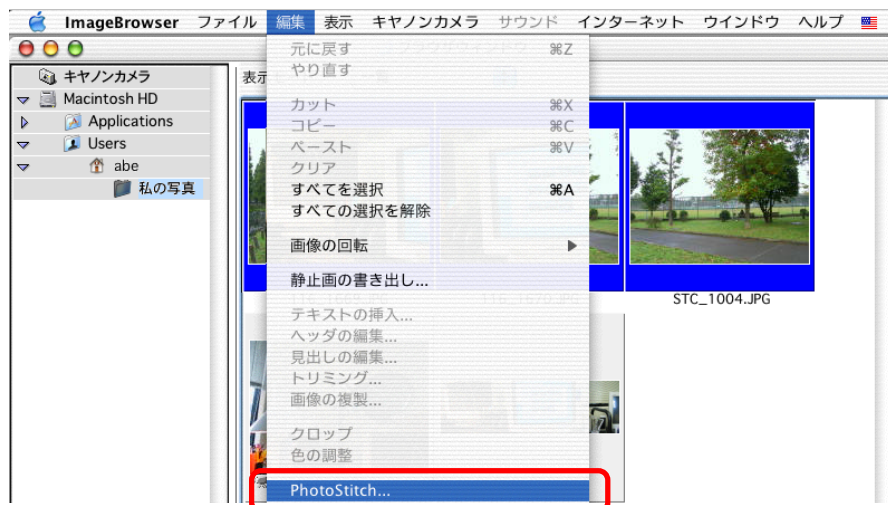
ここでは、少しずつ方向をずらして撮影した複数枚の画像を合成し、ワイドなパノラマ画像を作成する「PhotoStitch」（フォースティッチ）を紹介します。

参 考

- ・ PhotoStitchの操作方法の詳細については、PhotoStitchのヘルプ（[ヘルプ]メニューから開きます）をご覧ください。
- ・ カメラの「スティッチアシストモード」を使用すると、より簡単にスティッチ合成用の画像を撮影することができます。

PhotoStitch を呼び出す

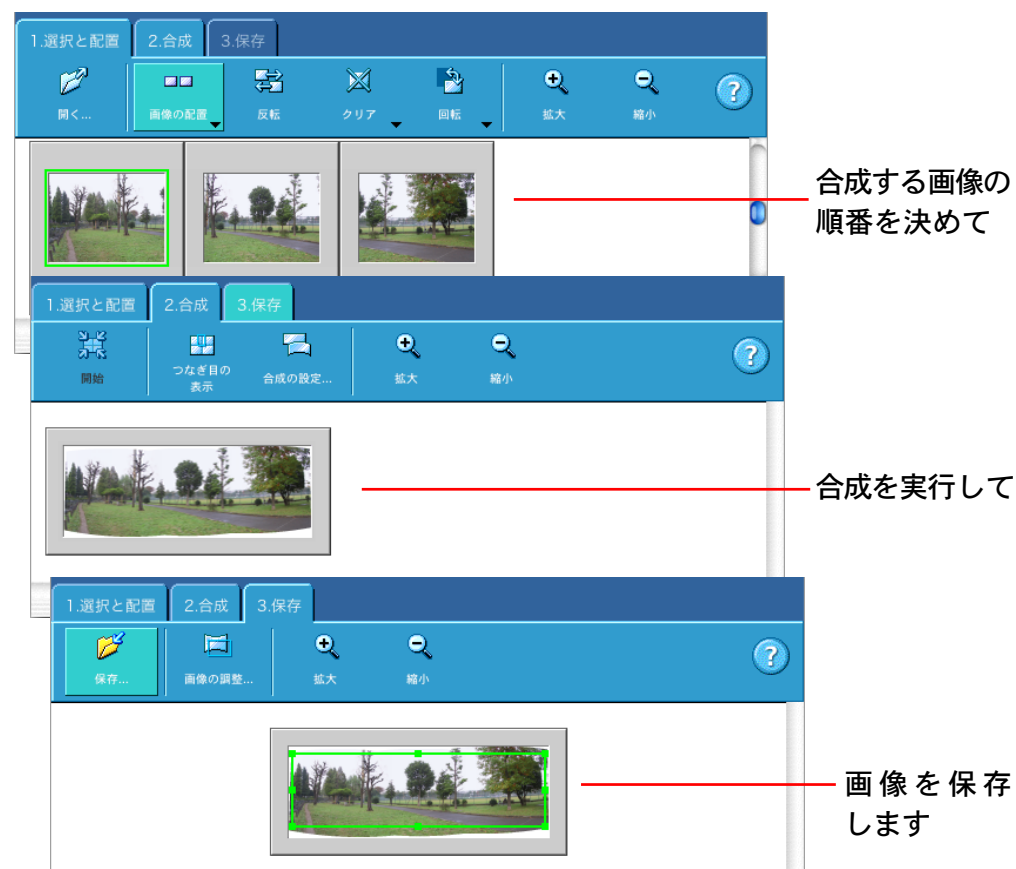
ブラウザエリアで、合成する一連の画像を選択した後、[編集]メニューから [PhotoStitch] を選択します。



参 考

- ・ カメラウィンドウ上で、スティッチアシストモードで撮影した画像を示すマーク（波線）をクリックすることでも、PhotoStitchを起動することができます。

あとは、PhotoStitchのウィンドウの上部に表示されるガイダンスにしたがって操作するだけで、簡単に画像の合成が行えます。



この章では、インターネットに接続して、オンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」を活用する方法を説明します。

CANON iIMAGE GATEWAY は、本製品を購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

<http://www.imagegateway.net/>

サービス内容は、お使いの「カメラユーザーガイド」でご確認ください。なお、サービス内容は随時更新されており、上記のサイトでご確認いただけます。

参 考

- ・ここで紹介している画面は、最新の画面表示と異なることがあります。

重 要

- ・オンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet ExplorerやNetscape Communicatorなど）のバージョンや設定条件については、「CANON iIMAGE GATEWAY」（<http://www.imagegateway.net/>）でご確認ください。
- ・インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- ・プロバイダとの接続料金およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iIMAGE GATEWAY を利用するには

画像のアップロード、マイカメラコンテンツのダウンロード、「CANON iIMAGE GATEWAY」への会員登録には ImageBrowser を使います。（会員登録は、製品に付属のキヤノン製 CD-ROM のインストーラーパネルからも行えます）

詳しい操作については、次のページから説明していきます。

会員登録をする (1 / 2)

インターネットに接続して「CANON iMAGE GATEWAY」を使う上で、まず行わなければならないこと、それは「会員登録」です。

重要

- ・ここでは、プロバイダとの契約や各種回線接続が完了済みで、インターネットへ接続するためのソフトウェアやインターネット上のホームページを見るためのソフトウェア（Microsoft Internet ExplorerやNetscape Communicatorなど）があらかじめインストールされていることを前提に説明を進めていきます。
- ・会員登録は無料ですが、プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの電話料金は、別途かかります。

ImageBrowser を使って登録する

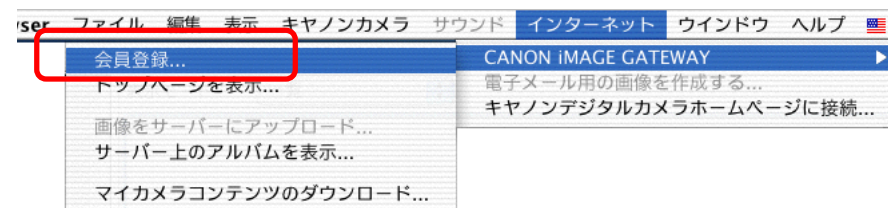
ImageBrowser のメニューから、会員登録をします。

- 1 カメラを用意し、本体の底面などにあるシリアル番号を確認します。

重要

- ・会員登録にはカメラのシリアル番号が必要です。

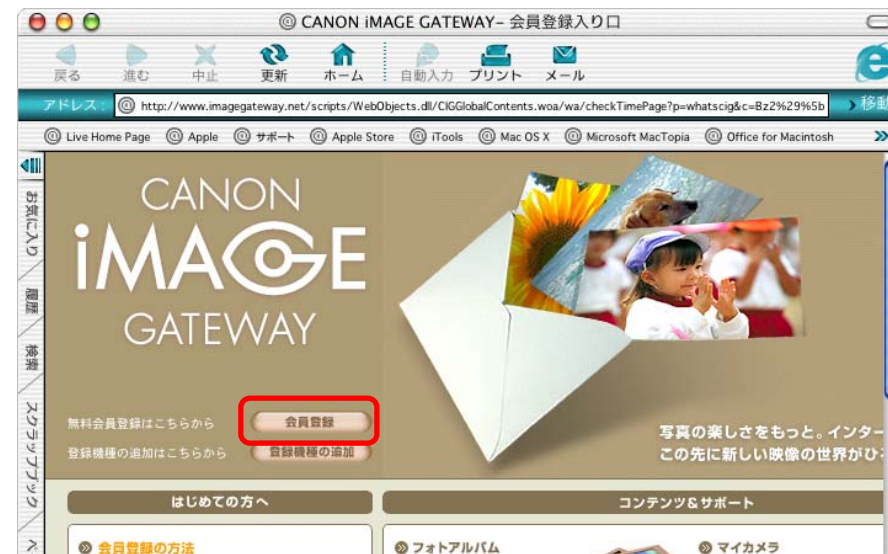
- 2 [インターネット] メニューの [CANON iMAGE GATEWAY] のサブメニューから [会員登録] を選択します。



インターネットへの接続が開始されます。お使いのインターネットの接続環境によっては接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いの Web ブラウザが起動し、CANON iMAGE GATEWAY のトップページが表示されます。

3 [会員登録] ボタンをクリックします。



会員登録のページが表示されます。

参 考

- ・ CANON iIMAGE GATEWAY の画面は随時更新されます。そのため、この画面例とは異なる場合があります。

4 表示されるメッセージにしたがって、必要事項を入力します。

入力の前には、必ず利用規約を確認してください。

重 要

- ・ 氏名やメールアドレスは間違えないように正しく入力してください。特に、メールアドレスを間違えると、登録完了の電子メールを受け取ることができません。必ず、受け取ることができるメールアドレスを、半角で正しく入力してください。
- ・ ここで入力したメールアドレスが、ログイン名になります。
- ・ シリアル番号の項目には、カメラの底面などにあるシリアル番号を入力します。

会員登録が終了したら、必要に応じて、Web ブラウザを終了したり、インターネットの接続を切断してください。

重 要

- ・ 会員登録の手続きが完了すると、電子メールで、パスワードが送られてきます。ログイン名は、手順4で入力したメールアドレスになります。
- ・ パスワードは「CANON iIMAGE GATEWAY」を利用するときに使いますので、なくさないようにしてください。また、パスワードは大切なものです他人の目にふれないようにしっかり管理してください。
- ・ パスワードは、「CANON iIMAGE GATEWAY」のトップページで変更できます。安全のため、受け取ったパスワードを早めに変更することをおすすめします。

参 考

- ・ この操作を行ったときに起動する Web ブラウザは、システム環境設定の [インターネット] の [Web] タブで変更できます。Mac OS 9 の場合は、[編集] メニューの [プレファレンス] の [WWW ブラウザ] で変更できます。
- ・ 製品に付属のキヤノン製 CD-ROM を使って、会員登録をすることもできます。この場合は、インストーラーパネルの CANON iIMAGE GATEWAY の [会員登録] をクリックします。

ImageBrowserで保管している画像を、「CANON IMAGE GATEWAY」へアップロードする方法を説明します。

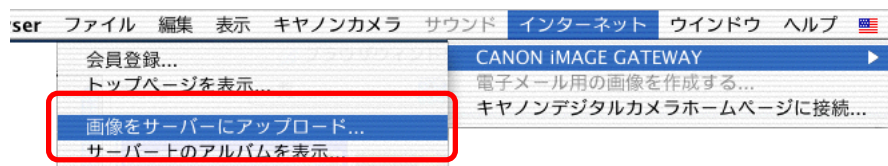
重要

- ・ 画像をアップロードするには、あらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。
- ・ アップロードできるのは、JPEG形式の静止画と動画だけです。動画の場合は、追加のソフトウェア（無料）をCANON IMAGE GATEWAYからダウンロードして、あらかじめパソコンにインストールしておく必要があります。操作方法については、CANON IMAGE GATEWAYでご確認ください。

画像をアップロードする

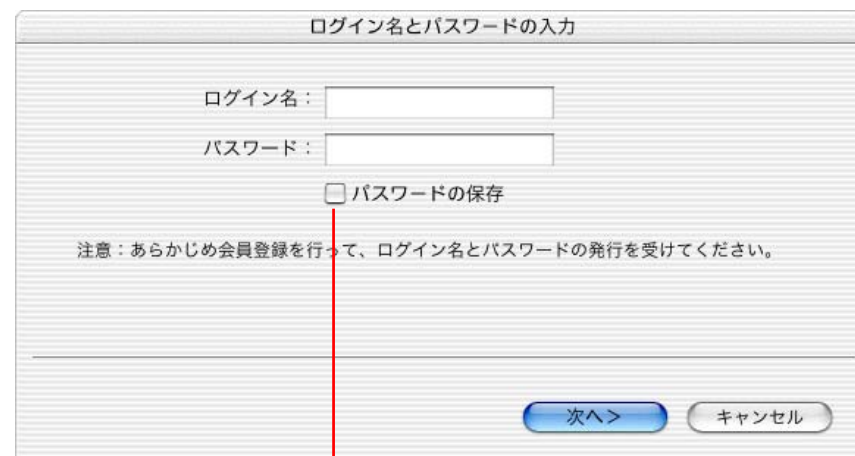
1 ブラウザエリアで送信したい画像を選択します。
[shift] キーまたは [option] + [shift] キーを使って複数の画像を選択することもできます。

2 [インターネット] メニューの [CANON iMAGE GATEWAY] のサブメニューから [画像をサーバーにアップロード] を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

3 ログイン名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



入力したパスワードをパソコンに覚えさせておきたいときにチェックマークを入れます（毎回パスワードを入れなくて済むので便利です）

参考

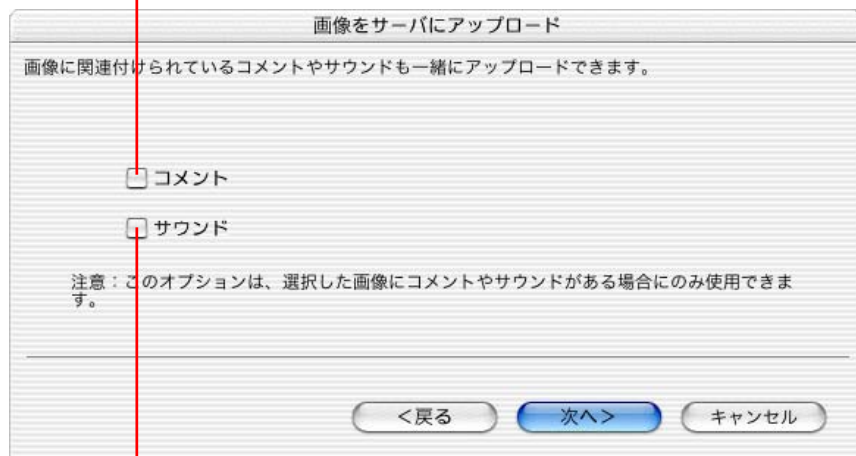
- ・ ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・ パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ ログイン名やパスワードを入力するときは大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

4 画像に加えられているコメントや音を、画像と一緒に送信する場合は、チェックマークを付けます。

コメントを送信するときに
チェックマークを付けます



音を送信するときにチェック
マークを付けます

参 考

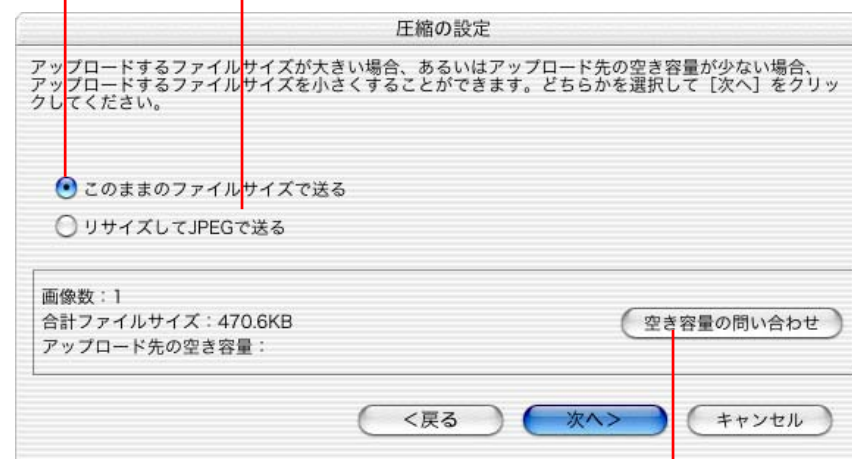
- ・ 画像にコメントや音が付いていないときは、選択できません。

5 [次へ] をクリックします。 圧縮を設定するウィンドウが表示されます。

6 送信の方法を選びます。

プリントするために、画質を保持したい
場合などにはこちらを選びます

アップロード時間を短くしたり、大量の画像を
保存する場合などは、こちらを選びます



アップロード先の空き容量を確認
するときにクリックします

参 考

- ・ アップロードできる容量には制限があります。[空き容量の問い合わせ]をクリックすると、インターネットへの接続が開始され、空き容量を確認することができます。

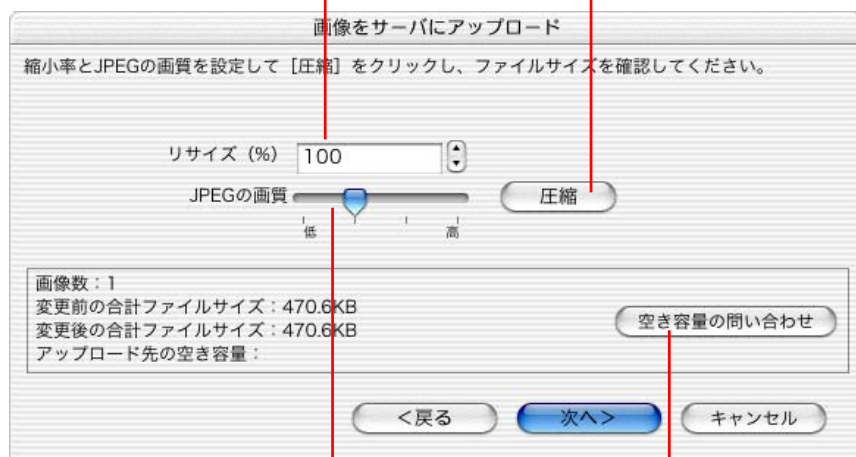
画像をアップロードする (3 / 4)

7 [次へ] をクリックします。
画質を指定するウィンドウが表示されます。ただし、手順6で [このままのファイルサイズで送る] を選択した場合は、手順9に進んでください。

8 縮小率と画質を設定します。

実際に圧縮したときのファイルサイズを確認するときに使います (ファイルサイズは「変更後の合計ファイルサイズ」に表示されます)

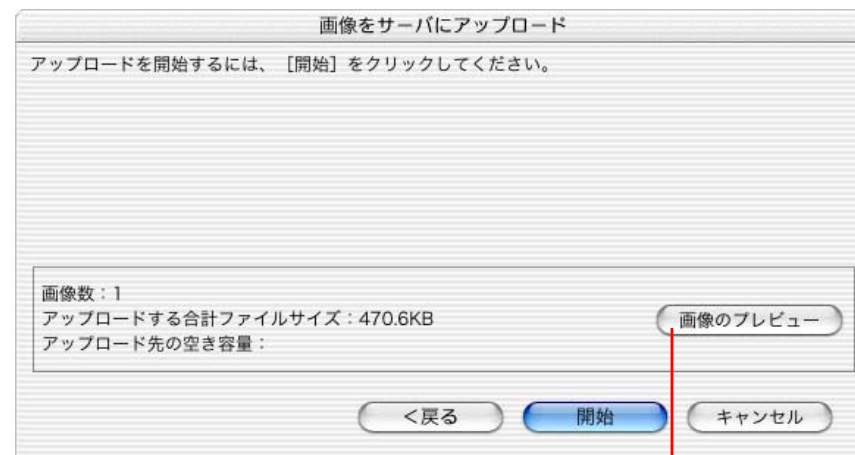
元の画像に対する縮小率を設定します (50%で縦横とも半分の大きさとなります)



画質を設定します (低くするほど画像は粗くなりますが、ファイルサイズは小さくなります)

アップロード先の空き容量を確認するときにクリックします

9 [次へ] をクリックします。



実際に圧縮したときの画質を確認するときに使います (プレビュー画像が表示されます)

10 [開始] をクリックします。
インターネットへの接続が開始されます。
お使いのインターネットの接続環境によっては接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

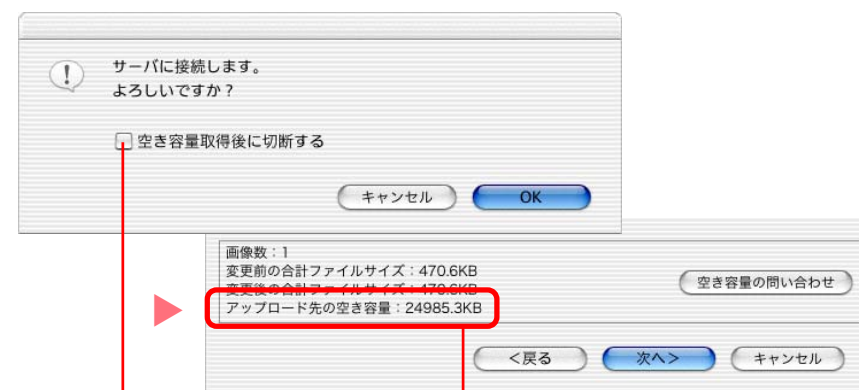
接続が完了すると、画像が「CANON IMAGE GATEWAY」へ送信されます。

送信が終了すると、お使いのWebブラウザが起動し、画像の保存先のアルバムを選択する画面が表示されます。メッセージにしたがって、あなたのアルバムを作成してください。

操作を終了するときは、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参 考

- ・ Mac OS 9の場合は、カメラ側で送信設定された画像を自動でImageBrowserに取り込み、すぐに「CANON IMAGE GATEWAY」へアップロードすることもできます。詳しい操作については、付録の「起動時の自動実行機能 (Mac OS 9の場合のみ)」で説明しています。
- ・ 手順6または手順8の [空き容量の問い合わせ] をクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。[OK] をクリックすると、インターネットへの接続が開始されます。アップロード先の空き容量は、元のウィンドウに表示されます。
- ・ 空き容量の確認後、すぐにインターネットの接続を切断する場合は、[空き容量取得後に切断する] にチェックマークを付けます。



空き容量の確認後、すぐにインターネットの接続を切断するときにチェックマークを付けます

空き容量が表示されます

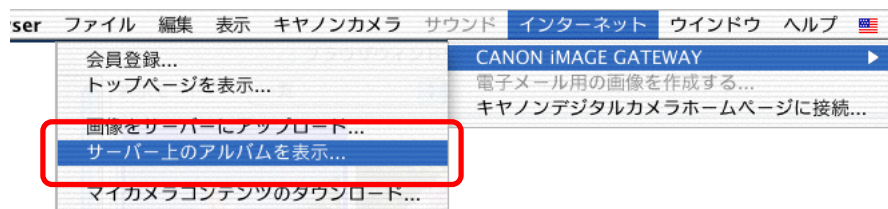
「CANON iMAGE GATEWAY」に画像をアップロードしたら、あなたのアルバムを表示して編集してみましょう。

重要

- ・アルバムを表示するには、あらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。

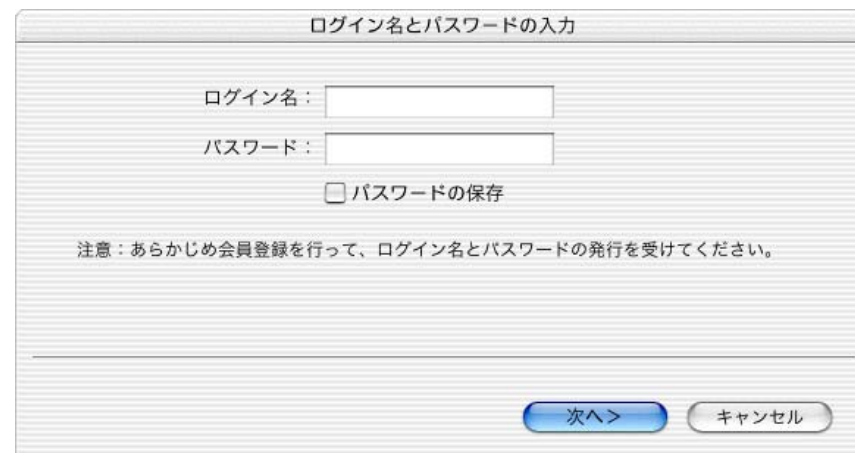
アルバムを表示する

- 1 [インターネット] メニューの [CANON iMAGE GATEWAY] のサブメニューから [サーバー上のアルバムを表示] を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 ログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



参考

- ・ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ログイン名やパスワードを入力するときは大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

インターネットへの接続が開始されます。
お使いのインターネットの接続環境によっては接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いのWebブラウザが起動し、あなたのアルバムが表示されます。

操作を終了するときは、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参 考

- ・アルバムを表示するのと同じような操作で、「CANON iMAGE GATEWAY」の会員のトップページを表示することもできます。表示するときは、[インターネット] メニューの [CANON iMAGE GATEWAY] のサブメニューから [トップページを表示] を選択します。

アルバムについて

アップロードした画像は、次のように活用することができます。詳しい操作については、「CANON iMAGE GATEWAY」のヘルプをご覧ください。

- ・アップロードした画像を編集してオリジナルアルバムを作成することができます。
- ・自分だけでなく、お友達やご家族にも公開することができます。
- ・アルバムの画像を指定して、オンラインプリントサービスに注文することができます。(有料)
- ・オンラインでアルバムの画像を指定してオリジナル写真集を注文することができます。(有料)

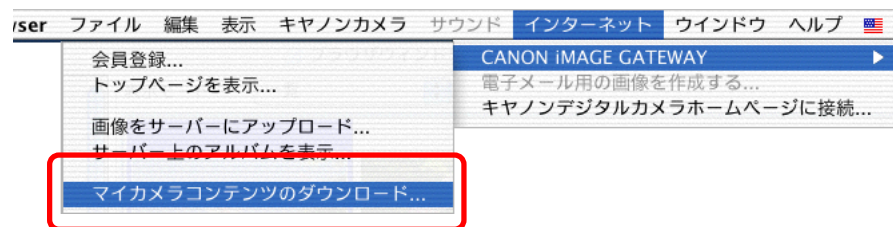
「CANON iMAGE GATEWAY」には、マイカメラコンテンツに利用する起動画面や起動音、シャッター音や、それらを組み合わせたセットのファイルが用意されています。ここでは、そのファイルを ImageBrowser にダウンロードする方法を説明します。

重要

- ・ 画像や音声ファイルをダウンロードするにはあらかじめ会員登録をしておく必要があります。会員登録については「会員登録をする」で説明しています。

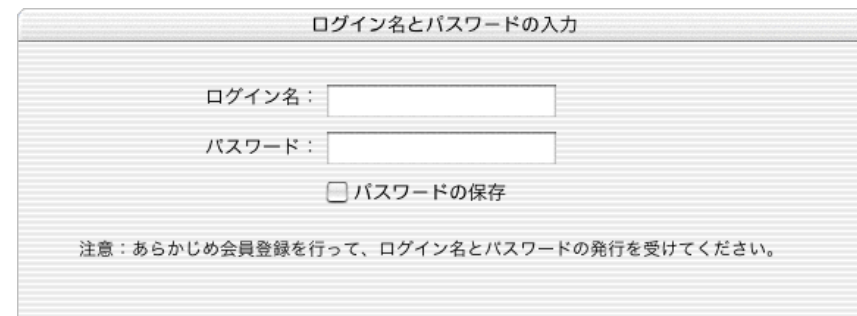
ファイルをダウンロードする

- 1 [インターネット] メニューの [CANON iMAGE GATEWAY] のサブメニューから [マイカメラコンテンツのダウンロード] を選択します。



ログイン名とパスワードを確認するウィンドウが表示されます。

- 2 ログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



参考

- ・ ログイン名は、登録したメールアドレスになります。
- ・ パスワードは、会員登録が完了したときに電子メールで送られてきたものです。パスワードを変更したときは、変更後のパスワードを入力します。

重要

- ・ ログイン名やパスワードを入力するときは大文字と小文字を間違えないようにご注意ください。

インターネットへの接続が開始されます。

お使いのインターネットの接続環境によっては接続のためのダイアログが表示されることがあります。その場合は、メッセージにしたがって、接続を行います。

接続が完了すると、お使いの Web ブラウザが起動し、マイカメラコンテンツのダウンロードページが表示されます。

3 表示されるメッセージにしたがって、ダウンロードしたい画像や音声ファイル、セットを選択します。

4 ページ上にある[ダウンロード]というボタンをクリックします。
ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが終了すると、自動的にマイカメラウィンドウが表示されます。ダウンロードされたファイルはコンテンツとして、「コンピュータ」の一覧に表示されます。



ダウンロードしたファイルが
ここに表示されます

操作を終了するときには、[ログアウト] ボタンをクリックして、ログアウトします。必要に応じて、インターネットの接続を切断します。

参考

- ・ダウンロードしたファイルはコンテンツとしてカメラに登録することができます。カメラへの登録については、第6章の「カメラにマイカメラコンテンツを登録する」で説明しています。

対応しているファイル形式

ImageBrowserの対応しているファイル形式です。

読み込み可能なファイル形式

ImageBrowserでは、次の形式のファイルを読み込むことができます。

■ JPEG 形式

ほとんどのカメラで利用されているファイル形式です人間の眼の特性を利用して高い圧縮率を実現していますただし、圧縮は「不可逆圧縮」（圧縮時にデータの一部を失う圧縮方法）ですので、何回も加工と保存をくり返すと、少し画像が荒れる場合があります。

なお、「Exif JPEG 形式」は、この JPEG 形式の画像ファイルに、撮影データなどの情報を付加したものです。

■ RAW 形式

デジタルカメラの撮像素子の出力を劣化させることなく記録したキヤノン独自のファイル形式です。カメラによって、この形式で記録できるものと、できないものがあります。

■ PICT 形式

Macintosh標準のファイル形式です。Macintosh上で動作するほとんどのソフトウェアが対応しています。

■ TIFF 形式

比較的汎用性の高いファイル形式です。Macintosh以外のパソコン（Windowsなど）用ソフトウェアでも多くが対応しています。

■ BMP 形式（Windows ビットマップ形式）

Windows標準のファイル形式です。Windows上で動作するほとんどのソフトウェアが対応しています。

■ QuickTime 形式

動画のファイル形式です。ブラウザエリアでは、ビデオカメラのマークが表示されます。アイコンまたは縮小画像（サムネイル）をダブルクリックすると、QuickTime Player が起動し、動画の再生が行われます。

ImageBrowserを自動起動する (Mac OS Xの場合のみ)

カメラをパソコンに接続したとき、iPhotoまたはイメージキャプチャを起動せずに、ImageBrowserを自動起動するようにする方法です。

■ Mac OS X (v10.2/v10.3) の場合

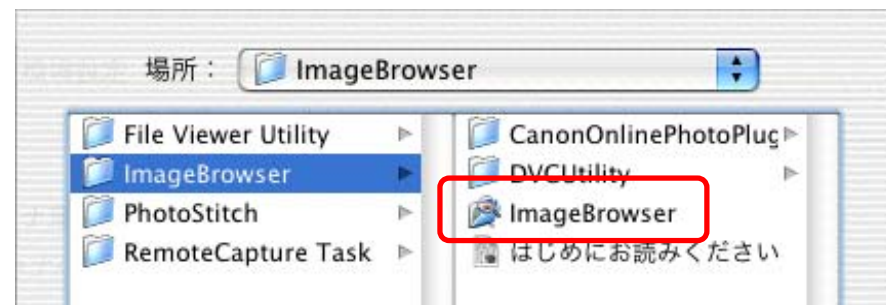
(※v10.3の場合、若干画面例が異なります)

1 イメージキャプチャを起動し、[イメージキャプチャ]メニューから[環境設定]を選択します。

2 [カメラを接続したときに起動する項目]のリストボックスから[その他]を選択します。



3 アプリケーションを選択するウィンドウで [ImageBrowser] を選択します。



4 イメージキャプチャを終了します。
次回の接続から、ImageBrowserが自動的に起動します。

■ Mac OS X (v10.1) の場合

1 イメージキャプチャを起動し、イメージキャプチャウィンドウの[ホットプラグ時の動作]のリストボックスから[その他]を選択します。


2 アプリケーションを選択するウィンドウで [ImageBrowser] を選択します。

3 イメージキャプチャを終了します。
次回の接続から、ImageBrowserが自動的に起動します。

自動起動を解除する (Mac OS 9 の場合のみ)

カメラをパソコンに接続したとき、自動的にImageBrowserが起動しないようにする方法です。

自動起動を解除する

 (アップルメニュー)の[コントロールパネル]サブメニューから、[Canon ImageBrowser Auto Launch] を選択します。表示されたウィンドウで、[カメラ接続時に以下のアプリケーションを起動する]のチェックマークを外します。

このチェック
マークを外し
ます



設定が終わったら、クローズボックスをクリックしてウィンドウを閉じます。

参考

- ・カメラをパソコンに接続し、通信可能な状態にしたとき、ImageBrowserのかわりに、他のソフトウェアを自動起動するように設定することができます。「アプリケーション」の右側のポップアップメニューから、自動起動したいソフトウェアを選択してください。ただし、カメラに対応するソフトウェアがインストールされていない場合には、ImageBrowser以外に何もソフトウェアが表示されない場合もあります。

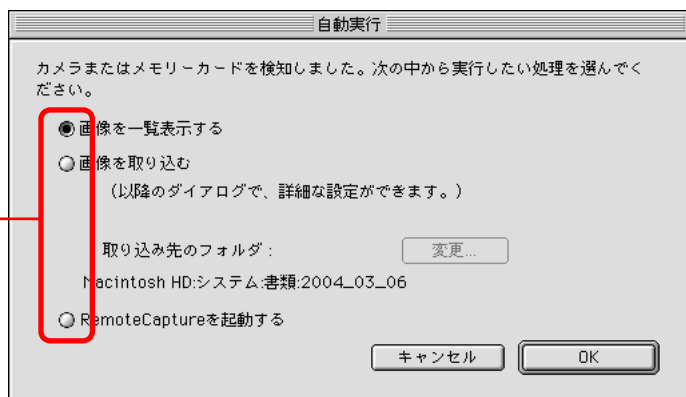
ImageBrowserが自動起動したときに、続けて行いたい自動処理を設定することができます。

重要

- ・自動処理を設定する前にカメラがパソコンと通信できる状態になっているか確認してください。

ImageBrowser 起動時の動作を使いやすいように設定する

起動時の動作は、次のようなウィンドウで設定します。



設定したい処理を選びます

参考

- ・メモリーカードリーダーをお使いの場合には、上記のウィンドウが表示されません。自動処理を設定する場合は、カメラをパソコンに接続して、上記のウィンドウを表示してください。

■ 画像を一覧表示する

ImageBrowserが起動した後、カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像がウィンドウに表示されます。

■ 画像を取り込む

ImageBrowserが起動した後、カメラウィンドウが開き、カメラ内の画像が自動でImageBrowserに取り込まれます。

(この処理を選択した場合は、さらに詳細な設定を行います。詳しい操作については、次ページで説明します)

■ RemoteCapture を起動する

ImageBrowserが起動した後、リモート撮影のウィンドウが表示されます。

設定ウィンドウを表示する方法

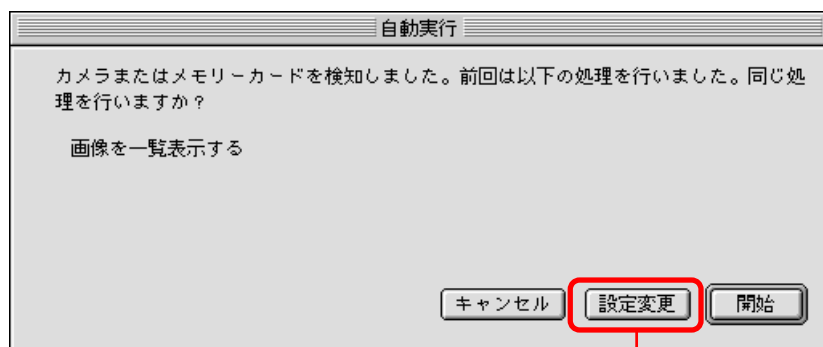
自動処理を設定するウィンドウは次の操作で表示することができます。

■ はじめて ImageBrowser を起動したとき

自動的に設定ウィンドウが表示されます。

■ 2 回目以降に ImageBrowser を起動したとき

表示された次のようなウィンドウで、[設定変更] をクリックします。

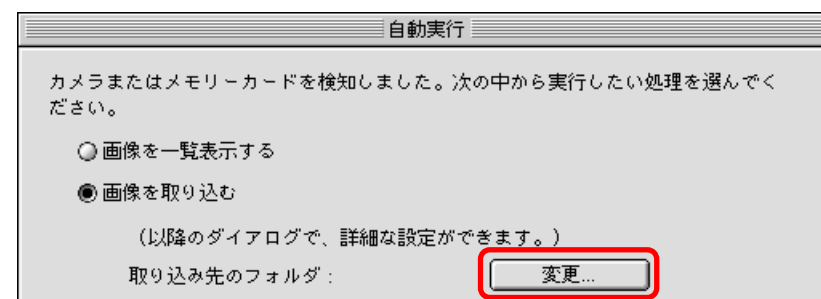


ここをクリック

[画像を取り込む] を選択したとき

画像の取り込み先となるフォルダや取り込む画像の種類取り込んだ画像をどのように処理するかなどを設定します。

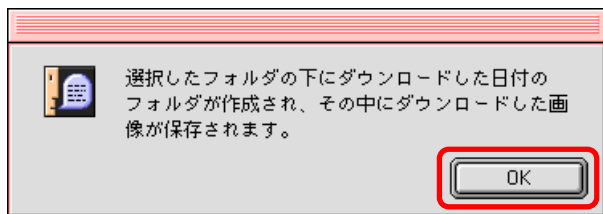
1 [変更] をクリックします。



次のようなウィンドウが表示されます。

2 画像を取り込むフォルダを選択します。
ドライブやフォルダはダブルクリックすることで開きます。

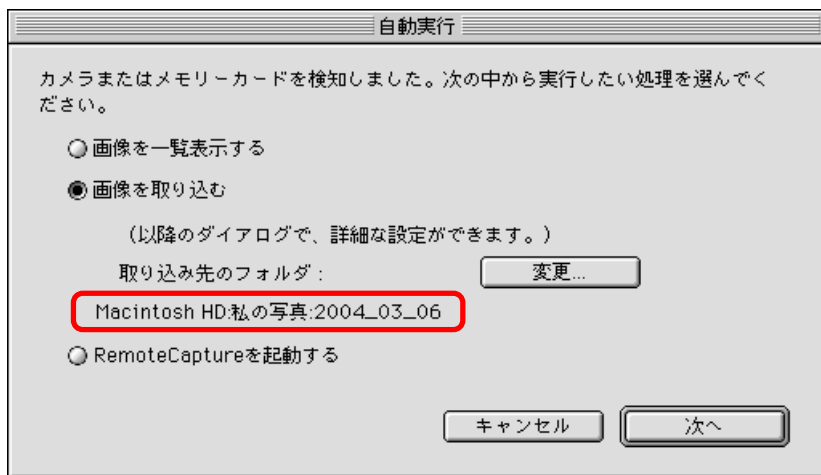
3 次のようなウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックします。



参考

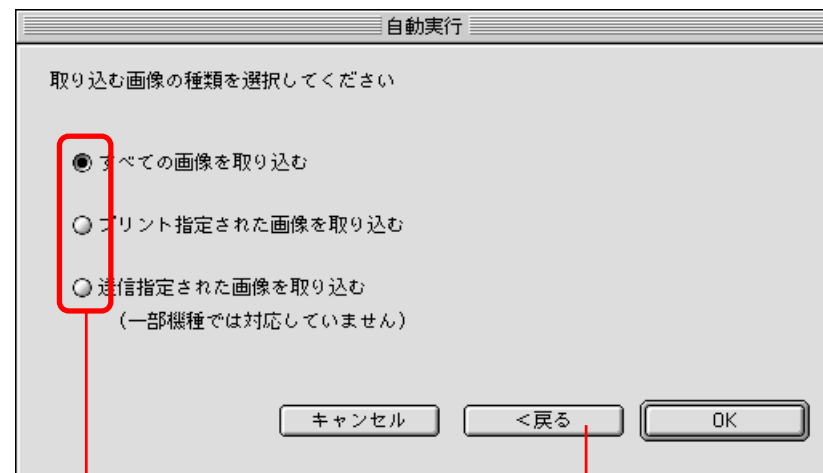
- ・手順2で選択したフォルダの下に今日の日付のフォルダが自動的に作成されます。このフォルダの中に画像が取り込まれます。

選択したフォルダがもとのウィンドウに表示されます。



4 [次へ] をクリックします。

5 取り込みたい画像の種類を選択します。



取り込む画像の種類をクリック

前のウィンドウに戻るときをクリック

■ すべての画像を取り込む

カメラ内の画像をすべて取り込みます。

■ プリント指定された画像を取り込む

プリント指定がされている画像だけを取り込みます。

■ 送信指定された画像を取り込む

送信指定がされている画像だけを取り込みます。

参 考

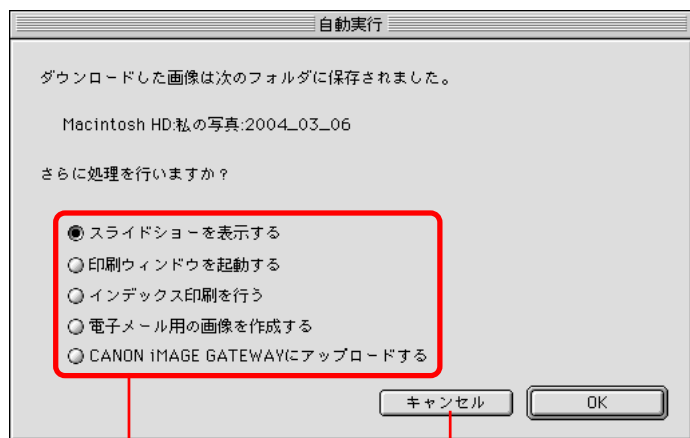
- ・プリント指定は、メモリーカードにプリントする画像やプリント枚数などのプリント情報を記録する操作です。
- ・送信指定の操作は、カメラ側で行います。(一部の機種では対応していません)
- ・プリント指定や送信指定についての詳細はカメラの説明書をご覧ください。

6 [OK] をクリックします。

カメラウィンドウが表示され、カメラ内の画像がImageBrowserに取り込まれます。

取り込みが完了すると、取り込んだ画像の処理方法を選択するウィンドウが表示されます。

7 処理を選択します。



取り込んだ画像の処理をクリック

何も処理をしないときにクリック

■ スライドショーを表示する

取り込んだ画像を使って、スライドショーが始まります。

■ 印刷ウィンドウを起動する

レイアウト印刷を行うウィンドウが表示されます。

■ インデックス印刷を行う

インデックス印刷を行うウィンドウが表示されます。

■ 電子メール用の画像を作成する

電子メール用の画像を作成するウィンドウが表示されます。

■ CANON iIMAGE GATEWAYにアップロードする

オンラインフォトサービス「CANON iIMAGE GATEWAY」に画像をアップロードするためのウィンドウが表示されます。

8 [OK] をクリックします。
選択した処理が実行されます。

重 要

- ・「CANON iIMAGE GATEWAY」はインターネット上にあるオンラインフォトサービスです。「CANON iIMAGE GATEWAYにアップロードする」を選択する前に、あらかじめパソコンがインターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- ・「CANON iIMAGE GATEWAY」については、第7章で詳しく説明しています。

環境設定について (1 / 3)

「環境設定」(Mac OS 9では「プレファレンス」)を変更することで、ImageBrowserのさまざまな動作を「あなたが使いやすい」ように設定することができます。ここでは、環境設定で設定可能なおもな機能を紹介します。

環境設定の画面を開く

次の操作で、環境設定(プレファレンス)の画面を表示します。

■ Mac OS X の場合

[ImageBrowser]メニューから[環境設定]を選択すると、環境設定の画面が表示されます。この画面で、任意のウィンドウを切り替えて設定項目を変更します。

■ Mac OS 9 の場合

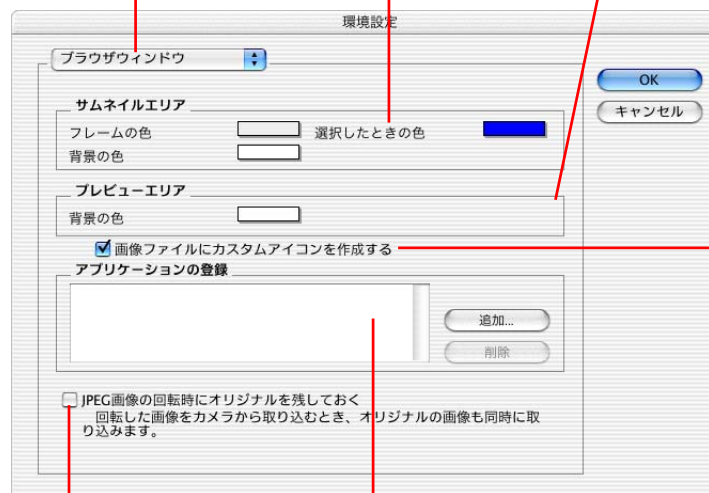
[編集]メニューから[プレファレンス]を選択すると、プレファレンスの画面が表示されます。この画面で、任意のウィンドウを切り替えて設定項目を変更します。

【ブラウザウィンドウ】

ここでウィンドウを切り替えます

ブラウザエリアの各部分の色を設定します

プレビュー表示の背景の色を設定します



チェックマークが付いている場合、ImageBrowserで画像を表示すると、自動的に画像ファイルに、画像を縮小したアイコンが付けられます

[編集]メニューの[登録したアプリケーションを起動]のサブメニューに表示されるソフトウェアを指定します
右の[追加]ボタンでソフトウェアを追加します

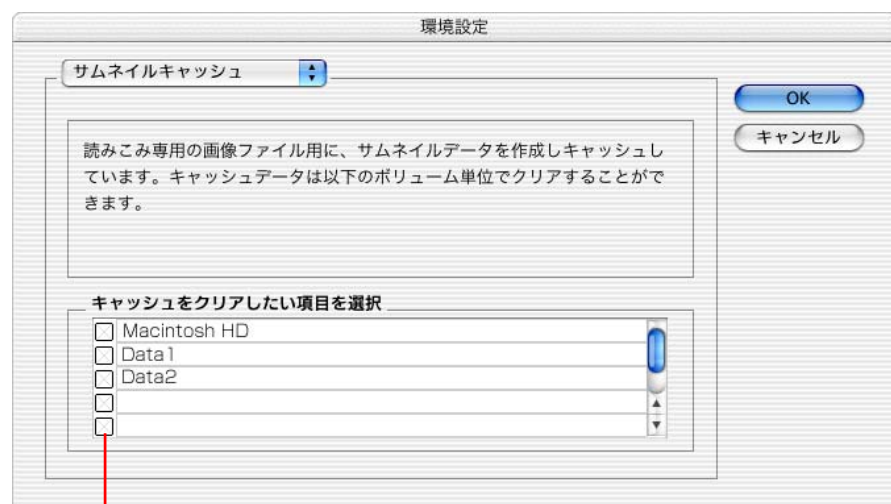
ブラウザウィンドウでJPEG画像を回転したとき、オリジナルの画像を残しておきたい場合にチェックマークを付けます
また、カメラウィンドウで回転した画像をブラウザウィンドウに取り込むときは、オリジナルの画像と回転した画像の両方を取り込みます

[サムネイルキャッシュ]

エクスプローラビューで、CD-ROMやCD-Rなど読み込み専用のメディアに入っているフォルダを選択した場合ImageBrowserは、ブラウザエリアに表示する縮小画像(サムネイル)のデータをImageBrowserのフォルダ内に作成します。

しかし、大量のCD-ROMやCD-Rを閲覧していくと、この縮小画像が膨大になり、ディスクを大きく消費することになります。このような場合に、無駄な縮小画像(一度見ただけで、多分二度と見ないCD-ROMやCD-Rの縮小画像)を削除するのが、この機能です。

この画面で「読み込み専用」のメディア(ディスク)を選択すると、そのメディアの画像ファイルに対応する「縮小画像」が消去されます。(実際の消去は、次回の起動時に行われます)



ディスクを選択します

[カメラウィンドウ]

カメラウィンドウで画像を選択したときの枠の色を設定します



環境設定について (3 / 3)

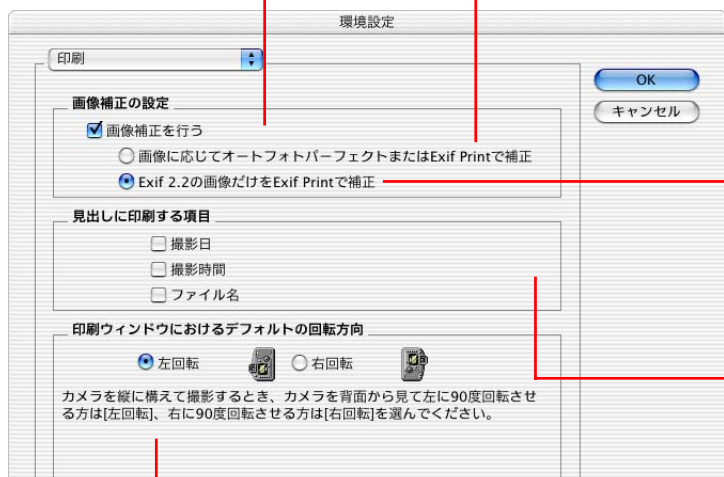
[印刷]

より美しいプリント仕上がりを得るための「画像補正」機能の有無を選択します（Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像は、さらに高品位な画像補正が可能です）

Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像や、その他の画像に対して自動補正をかけるときに選択します

Exif 2.2 対応のカメラで撮影した画像だけに自動補正をかけるときに選択します

印刷ウィンドウを開いたとき、各画像の「見出し」として表示させる情報を選択します



プリントモードによっては、横長の画像を選んだとき、画像が自動的に 90° 回転して印刷ウィンドウに表示されます
このときの回転方向をここで指定します

参 考

- Mac OS 9 をお使いの場合は、[マシン目入り用紙のはみ出し量] という項目が表示されます。この項目では、マシン目入り用紙を使ってプリントするときに紙の端からどのくらいの量をはみ出してプリントするかを選択します。

[単位]



印刷ウィンドウなどで表示される用紙サイズの単位を設定します

参 考

- Mac OS 9 をお使いの場合は、インターネットに接続するときにご使用になる Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer または Netscape Communicator）を [WWW ブラウザ] で選択することができます。（Mac OS X をお使いの場合は、システム環境設定の [インターネット] の [Web] タブの画面で変更できます）



ご使用になる Web ブラウザを選択します

カメラ上でのスライドショーの設定

お使いのカメラが、スライドショー機能を搭載している場合には、ImageBrowserを使って、そのスライドショーを編集することができます。

重要

- ・この操作を行う前に、カメラとパソコンがインターフェースケーブルで接続され、通信可能な状態になっていることを確認しておいてください。

参考

- ・スライドショーの利用方法や再生方法などについてはカメラの説明書をご覧ください。

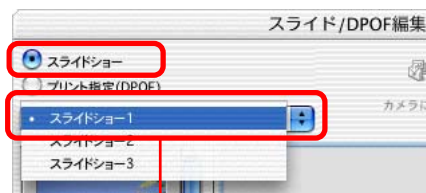
スライドショーを設定する

カメラウィンドウで、 (スライド/DPOF) をクリックします。



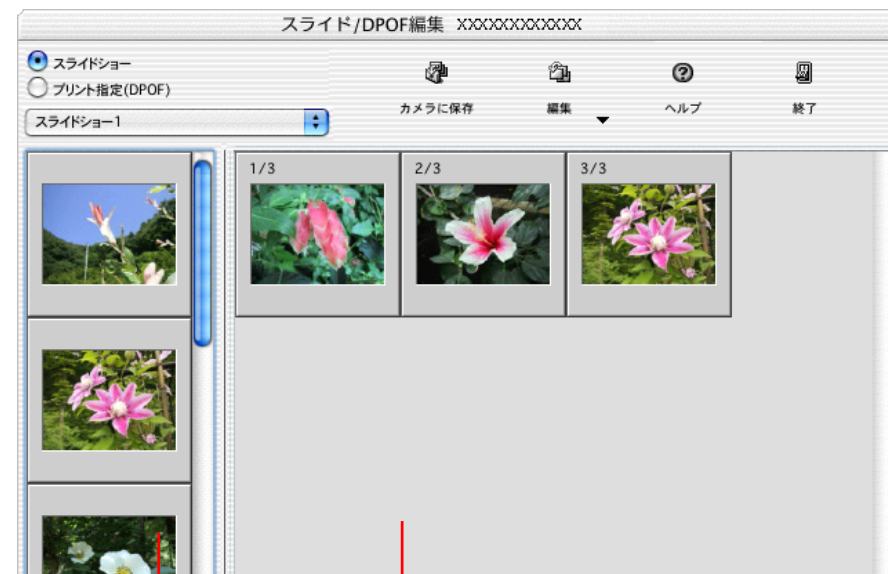
これをクリック

表示されたウィンドウの左上端の「スライドショー」のボタンをクリックし、その下の部分で、編集するスライドショーの番号を選択します。



スライドショーの番号を選択

左側の画像一覧から、右側の部分に画像をドラッグアンドドロップして、画像を並べていきます。



左側の一覧から、右側の部分に画像をドラッグアンドドロップして、スライドショーに使う画像を並べていきます

並べ終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これでスライドショーの設定が完了します。

参考

- ・画像の順番を入れ替えるときは右側の部分で画像をドラッグアンドドロップします。
- ・スライドショーから画像を外したいときは、その画像を選択し、[編集] から [クリア] を選択します。

プリント指定 (1 / 2)

ImageBrowser を使って、プリントする画像や枚数をメモリーカードに記録することができます。


重要

- ・ RAW 画像は、プリント指定できません。RAW 画像をプリントしたい場合には、一旦現像してから、カメラに追加し、プリント指定してください。
- ・ この操作を行う前に、カメラとパソコンがインターフェースケーブルで接続され、通信可能な状態になっていることを確認しておいてください。

参考

- ・ DPOF は、メモリーカードに、プリントする画像やプリント枚数などのプリント情報を記録する規格です。この DPOF の指定を行った後、カメラ店や DPE 店に CF カードや PC カードを持ち込めば、指定した通りにプリントされます。
- ・ DPOF の詳細については、カメラの説明書をご覧ください。

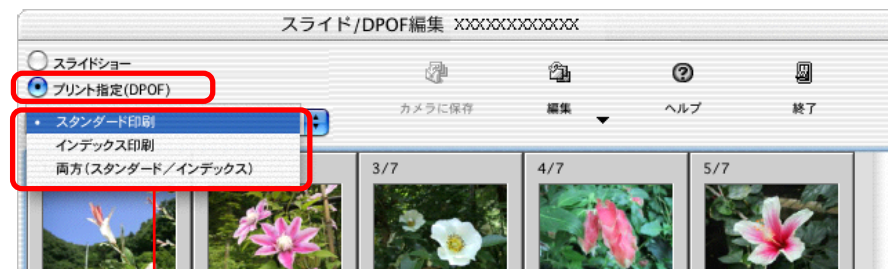
DPOF を設定する

カメラウィンドウで、 (スライド/DPOF) をクリックします。



これをクリック

表示されたウィンドウの左上端の「プリント指定 (DPOF)」のボタンをクリックし、その下の部分で、プリントタイプを選択します。



プリントタイプを選択

■ スタンダード印刷

指定した画像を、指定した枚数だけプリントします。

■ インデックス印刷

指定した画像を縮小画像の一覧の状態で見出し印刷します。

■ 両方 (スタンダード/インデックス)

指定した画像を、指定した枚数だけプリントします。さらにプリントした全画像を縮小画像の一覧の状態で見出し印刷します。

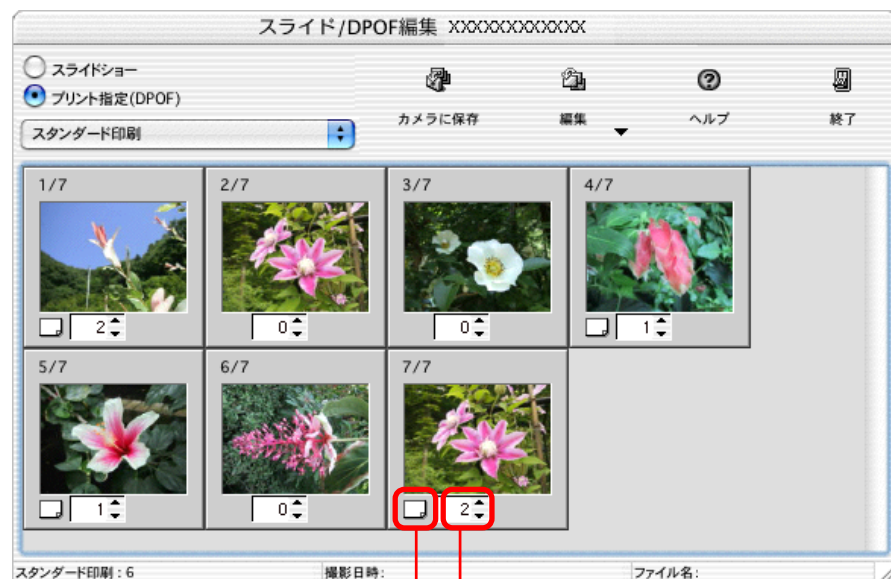
参考

- ・ [編集] ボタンから [属性印刷] を選択すると、撮影した日付やファイル番号をプリントすることができます。

プリント指定 (2 / 2)

スタンダード印刷の指定

画像の下の数字がプリント枚数です。[▲][▼]をクリックして、プリントしたい枚数を指定します。



プリント枚数を指定すると、
[スタンダード印刷] を示す
アイコンが表示されます

プリント枚数を指定

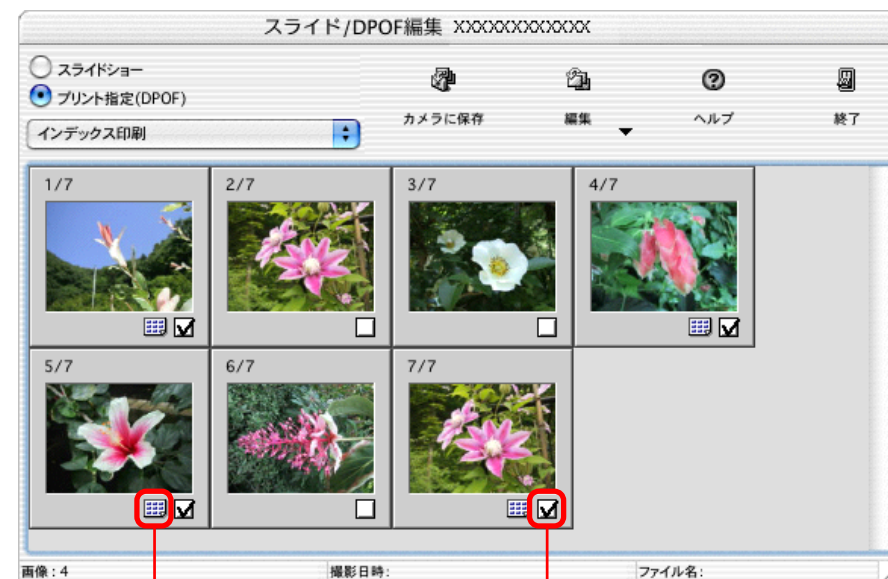
指定が終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これで
プリントの指定が完了します。

参 考

- ・プリントタイプで [両方 (スタンダード/インデックス)] を
選択した場合も、同様の方法で設定します。

インデックス印刷の指定

画像の下のボタンにチェックマークを付けるとその画像がイン
デックスプリントされます。



画像にチェックを付けると、
[インデックス印刷] を示す
アイコンが表示されます

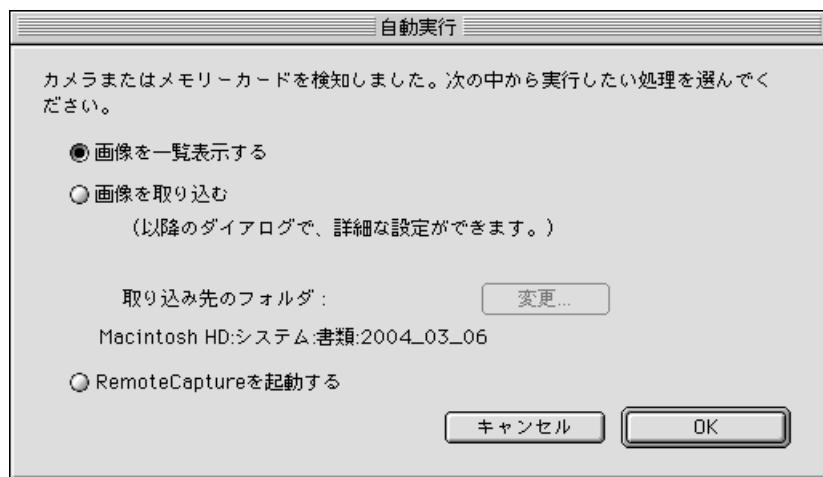
インデックスプリントに含める
画像にチェックを付けます

指定が終わったら、[カメラに保存] をクリックします。これで
プリントの指定が完了します。

ここでは、トラブルに対する対処法を説明します。

カメラが検出されない・認識されない

- ・カメラから画像を取り込もうとしたときなどは「カメラが検出されません」などとメッセージが表示された。
- ・カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して通信できる状態にしたのに、下のような画面が表示されない。あるいは、通信できる状態にしたのにImageBrowserが起動しない。(Mac OS 9 の場合のみ)



こんな場合は、次の順番に状況を確認し、対処してください。

■ パソコンの確認

ImageBrowserは、「USBポートを標準で搭載したMacintosh」のみをサポートの対象としています。「USBポートを標準で搭載したMacintosh」以外のMacintoshでのご使用はサポート外となります。

■ カメラとパソコンの接続の確認

カメラとパソコンが、インターフェースケーブルで正しく接続されているかどうか確認してください。接続方法については、製品に付属の説明書をご覧ください。

■ カメラの状態の確認

カメラがパソコンと通信できる状態になっているか確認してください。カメラとパソコンを通信できる状態にする方法についてはカメラによって異なりますので、製品に付属の説明書をご覧ください。

■ バッテリーの確認

カメラをパソコンに接続する場合、カメラの電源には、家庭用電源をお使いになることをおすすめします。家庭用電源がお使いにならない場合は、必ずフル充電されたバッテリーをお使いください。

索引 (1 / 2)

英数字

Adobe RGB 色空間	12, 18
AIFF 形式	59
ArcSoft VideoImpression	66
BMP 形式	106
CANON iIMAGE GATEWAY	95
DPOF	117
Exif 2.2 (Exif Print)	78
ImageBrowser の終了	14
JPEG 形式	106
PhotoStitch	94
PICT 形式	106
QuickTime Player	82
QuickTime 形式	106
RAW 画像の現像	86
RAW 形式	106
RAW モード	44
SimpleSound	65
TIFF 形式	106
TimeTunnel	80
Windows ビットマップ形式	106
WWW ブラウザ	115

ア行

アルバムの表示	102
移動	23

色の調整	39
印刷	12, 71
印刷ウィンドウ	12, 71, 78
印刷解像度	79
インターバルタイマー撮影	92
インデックス印刷 (DPOF)	118
インデックス印刷 (画像)	72, 78
エクスプローラビュー	5, 10, 18
音声ファイルの秒数の目安	65
音声メモ	44

カ行

会員登録	96
回転 (画像)	27
回転 (カメラの画像)	46
拡大	36
画像のアップロード	98
画像の書き出し	53
画像の追加	47
画像の取り込み	10, 43
画像のファイル名	18
画像の編集	37
画像の保存場所	17
画像を開く	35
カメラウィンドウ	9, 42
カメラの設定	49

環境設定	113
起動	4
キヤノンカメラ	5, 42
キヤノン純正ミシン目入り用紙に印刷	72
行揃え	75
クリア	73
クロップ (切り抜き)	38
固定サイズで印刷	72
コピー	23
ゴミ箱に入れる	26, 33
コメント	21
コンテキストメニュー	22
コントロールパネル	18, 20, 21

サ行

最新の情報に更新	23
再生	58
彩度	39
サウンド	58
サウンドパネル	20, 21, 59
削除	26, 33
削除 (カメラの画像)	45
撮影情報	21, 30
サムネイル	19
色相	39
自動起動解除 (Mac OS 9)	108

索引 (2 / 2)

自動起動設定 (Mac OS X)	107
自動再生	55
自動実行機能 (Mac OS 9)	109
自由に並べて印刷	72
終了	14
縮小	36
情報表示パネル	20
情報を見る	30
初期化	49
所有者名	49
新規フォルダ	31
スタンダード印刷	118
スティッチアシストモード	44, 94
すべてを選択	25
スライドショー	55
スライドショーオプション	55
スライドショー (カメラ側)	116
設定	49
セット	61
属性印刷	117

タ行

タイマー撮影	92
タイムトンネル	80
タイル状に敷きつめて印刷	72
ツールパネル	81

通信設定	50
テキストの挿入	76
テキストの編集	76
電子メール用画像の作成	51
動画	44, 82
動画の編集	83
取り込み	10, 43
トリミング	77

ハ行

ヒストグラム	21
表示倍率	36
表示モード	20
ファイル名の変更	29
フォーマット	49
フォトスティッチ	94
フォルダの開閉	34
フォルダの作成	31
フォルダの選択	34
フォルダ名の変更	32
フォント	75
複製	28
ブラウザウィンドウ	10, 18
ブラウザエリア	10, 18
プリント	12, 71
プリント指定	117

プレビュー	21
プレファレンス	113
分割印刷	79
分割印刷オプション	79
ヘッダ	77
ヘルプ	14
編集	37
保存	40

マ行

マイカメラウィンドウ	60
マイカメラコンテンツ	60
マイカメラコンテンツのダウンロード ..	69, 104
マイカメラコンテンツ用ファイルの作成 ..	65
見出し	75
明度	39
文字サイズ/修飾/色/間隔	75
文字入力	76
元に戻す/やり直す	37

ラ行

リモート撮影	90
レイアウト印刷 (画像)	71
レイアウト選択ウィンドウ	12, 71
録音	58, 65

ImageBrowser ソフトウェアガイド

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期していますが、万一、不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。
4. このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- ・ Canon および PowerShot はキヤノン株式会社の商標です。
- ・ CANON iIMAGE GATEWAY および iIMAGE GATEWAY は、日本国内において商標登録出願中です。
- ・ ArcSoft、ArcSoft ロゴ、ArcSoft PhotoStudio、ArcSoft PhotoImpression および ArcSoft VideoImpression は ArcSoft,Inc. の商標または登録商標です。
- ・ CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は SanDisk Corporation の商標です。
- ・ Macintosh および QuickTime は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- ・ Netscape、Netscape Navigator は、Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Netscape Communicator は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。